

令和 6 年度 県民意識調査報告書

令和 6 年 8 月

秋 田 県

目 次

第1部 調査の概要

1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査の設計	3
4	回収結果	3
5	集計・分析に当たって	3
6	統計表	3
7	有効回答者の属性	4
8	標本抽出方法	6

第2部 調査結果の概要

1	第1章 「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について	11
2	第2章 県政の重要課題について	13
3	第3章 県の特定期課題について	13
4	第4章 県政への自由意見について	14

第3部 調査結果の詳細

第1章 「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について

1 各戦略の施策に関連する項目についての満足度（問1、問2）

（1）戦略1 産業・雇用戦略について

ア	産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化	17
イ	地域資源を生かした成長産業の発展	18
ウ	歴史と風土に培われた地域産業の活性化	19
エ	産業振興を支える投資の拡大	20

（2）戦略2 農林水産戦略について

ア	農業の食料供給力の強化	21
イ	林業・木材産業の成長産業化	22
ウ	水産業の持続的な発展	23
エ	農山漁村の活性化	24

（3）戦略3 観光・交流戦略について

ア	「何度でも訪れたくなるあきた」の創出	25
イ	「美酒・美食のあきた」の創造	26
ウ	文化芸術の力による魅力ある地域の創生	27
エ	活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現	28
オ	国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築	29

(4) 戦略4 未来創造・地域社会戦略について	
ア 新たな人の流れの創出	30
イ 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現	31
ウ 女性・若者が活躍できる社会の実現	32
エ 変革する時代に対応した地域社会の構築	33
オ 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成	34
カ 行政サービスの向上	35
(5) 戦略5 健康・医療・福祉戦略について	
ア 健康寿命日本一の実現	36
イ 安心で質の高い医療の提供	37
ウ 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化	38
エ 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現	39
(6) 戦略6 教育・人づくり戦略について	
ア 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成	40
イ 確かな学力の育成	41
ウ グローバル社会で活躍できる人材の育成	42
エ 豊かな心と健やかな体の育成	43
オ 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化	44
カ 生涯にわたり学び続けられる環境の構築	45
(7) 選択・集中プロジェクトなどの重点施策について	
ア 賃金水準の向上	46
イ カーボンニュートラルへの挑戦	47
ウ デジタル化の推進	48
エ 若者・女性の県内定着・回帰	49
オ 魅力的な働く場の確保	50
2 (参考) 各戦略の施策に関連する項目についての満足度の平均値	51
第2章 県政の重要課題について	54
第3章 県の特定課題について	
1 県の広報活動について	
(1) 県が発信する情報の取得方法	59
(2) 広報活動の現状評価	61
2 家庭での防災活動について	
(1) 家庭での災害時に備えた備蓄状況	62
(2) 災害に備えた家庭での防災活動の状況	63

3	差別等について	
(1)	差別等を感じる機会の有無	64
(2)	感じる差別等の種類	65
4	男女共同参画について	
	「男は仕事、女は家庭」の考え方	67
5	社会活動・地域活動について	
	社会活動・地域活動への取組の頻度	68
6	文化芸術の鑑賞・活動について	
(1)	文化芸術の鑑賞の頻度	69
(2)	文化芸術の活動の頻度	70
7	読書活動について	
(1)	読書への興味	71
(2)	1日の平均読書時間	72
8	環境保全活動について	
	環境保全活動への参加状況	73
9	食品ロス問題について	
(1)	食品ロスに関する認知度	75
(2)	食品ロスへの取組	76
10	自転車の安全で適正な利用について	
	自転車損害賠償責任保険等への加入状況	77
11	高齢者の社会参加について	
	60歳以上の方の仕事や社会活動等への参加状況（令和5年度）	78

第4章	県政への自由意見について	79
-----	--------------	----

付属資料	調査票	91
------	-----	----

第 1 部 調査の概要

1 調査の目的

- (1) 県政に対する県民意識を把握し、新秋田元気創造プランの進行管理に活用する。
- (2) 政策等の評価において、県民意識を取り入れる手法の一つとして活用する。
- (3) 県民の提案や要望を把握し、政策立案や問題解決、計画の策定に反映させる。
- (4) 特定課題に関する県民意識を把握し、取組の推進に活用する。

2 調査の内容

- (1) プランに掲げた戦略の施策に関する項目についての満足度（選択式）
- (2) 選択・集中プロジェクトなど重点的に取り組む施策に関する項目についての満足度（選択式）
- (3) 県の重要課題について（選択式）
- (4) 県の特定課題について（選択式）
 - ① 県の広報活動について
 - ② 家庭での防災活動について
 - ③ 差別等について
 - ④ 男女共同参画について
 - ⑤ 社会活動・地域活動について
 - ⑥ 文化芸術の鑑賞・活動について
 - ⑦ 読書活動について
 - ⑧ 環境保全活動について
 - ⑨ 食品ロス問題について
 - ⑩ 自転車の安全で適正な利用について
 - ⑪ 高齢者の社会参加について
- (5) 県に力を入れてほしいことなどについて（自由記述式）
- (6) 回答者の属性について（選択式）

3 調査の設計

- (1) 調査対象： 秋田県に居住する満 18 歳以上の男女
- (2) 標本数： 5,000 人
- (3) 標本抽出方法： 全県 25 市町村の選挙人名簿を基にした層化抽出法
- (4) 調査手法： ア 郵送による調査票の配付
イ 郵送回答とインターネット回答の併用
- (5) 調査期間： 令和 6 年 5 月 15 日(水)～6 月 3 日(月)
- (6) 調査機関： 株式会社フィデア情報総研

4 回収結果

- (1) 調査票回収数 2,195 人(回収率 43.9%)
- (2) 有効回答数 2,193 人(有効回答率 43.9%)

5 集計・分析に当たって

- (1) 比率(%)は、小数点以下第 2 位を四捨五入して表示する。このため、各回答の比率の合計が 100%にならないこと(99.9%、100.1%など)がある。満足度の平均点は、小数点以下第 3 位を四捨五入して算出する。
- (2) 18～19 歳を 10 歳代として集計する。

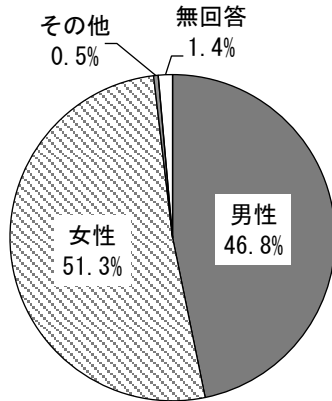
6 統計表

各設問の回答に関する統計データは、県の公式ウェブサイト「美の国あきたネット」(<https://www.pref.akita.lg.jp>)に掲載している。

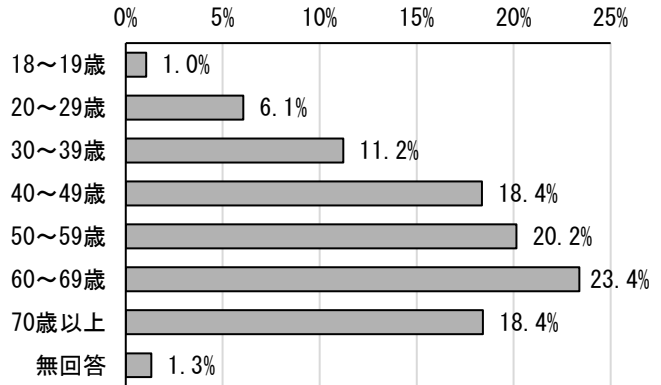
7 有効回答者の属性

属 性		有効回答者数		推計人口（R5. 10. 1 現在）	
		客体数	構成比	18 歳以上人口	構成比
合 計		2, 193	100. 0%	808, 481	100. 0%
① 性別	男性	1, 026	46. 8%	377, 932	46. 7%
	女性	1, 126	51. 3%	430, 549	53. 3%
	その他	10	0. 5%	—	—
	無回答	31	1. 4%	—	—
② 年齢	18～19 歳	23	1. 0%	13, 761	1. 7%
	20～29 歳	133	6. 1%	58, 167	7. 2%
	30～39 歳	246	11. 2%	77, 571	9. 6%
	40～49 歳	403	18. 4%	114, 067	14. 1%
	50～59 歳	442	20. 2%	120, 445	14. 9%
	60～69 歳	513	23. 4%	143, 391	17. 7%
	70 歳以上	404	18. 4%	281, 079	34. 8%
	無回答	29	1. 3%	—	—
③ 18 歳未満の子の有無	養育している	448	20. 4%	—	—
	養育していない	1, 644	75. 0%	—	—
	無回答	101	4. 6%	—	—
④ 出身	秋田県の出身	2, 016	91. 9%	—	—
	秋田県以外の出身	147	6. 7%	—	—
	無回答	30	1. 4%	—	—
⑤ 居住地域	鹿角地域	79	3. 6%	27, 914	3. 5%
	北秋田地域	226	10. 3%	85, 294	10. 5%
	山本地域	163	7. 4%	62, 878	7. 8%
	秋田地域	913	41. 6%	328, 752	40. 7%
	由利地域	207	9. 4%	82, 543	10. 2%
	仙北地域	262	11. 9%	100, 837	12. 5%
	平鹿地域	171	7. 8%	71, 187	8. 8%
	雄勝地域	139	6. 3%	49, 076	6. 1%
	無回答	33	1. 5%	—	—
⑥ 職業	農業	127	5. 8%	—	—
	林業	10	0. 5%	—	—
	漁業	5	0. 2%	—	—
	建設業	140	6. 4%	—	—
	製造業	194	8. 8%	—	—
	情報通信業	26	1. 2%	—	—
	運輸業・郵便業	68	3. 1%	—	—
	卸売業・小売業（観光関連）	21	1. 0%	—	—
	卸売業・小売業（観光関連以外）	150	6. 8%	—	—
	宿泊業	5	0. 2%	—	—
	飲食サービス業	83	3. 8%	—	—
	学術研究・学校教育・学習支援	71	3. 2%	—	—
	医療・保健	140	6. 4%	—	—
	福祉	133	6. 1%	—	—
	公務（上記以外）	107	4. 9%	—	—
	その他の業種	300	13. 7%	—	—
	学生	38	1. 7%	—	—
	無職	525	23. 9%	—	—
	無回答	50	2. 3%	—	—

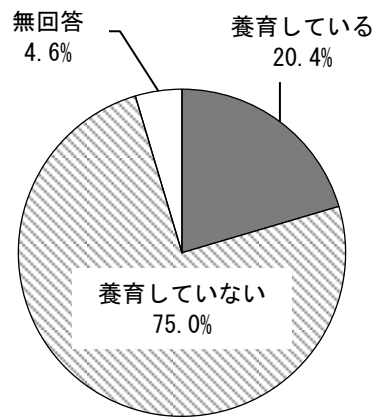
①性別



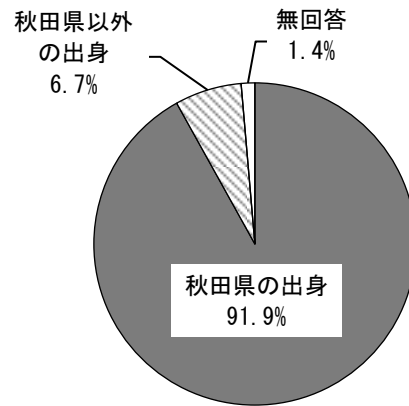
②年齢



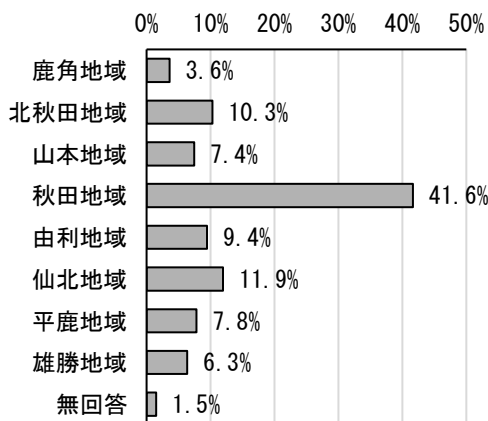
③18歳未満の子の有無



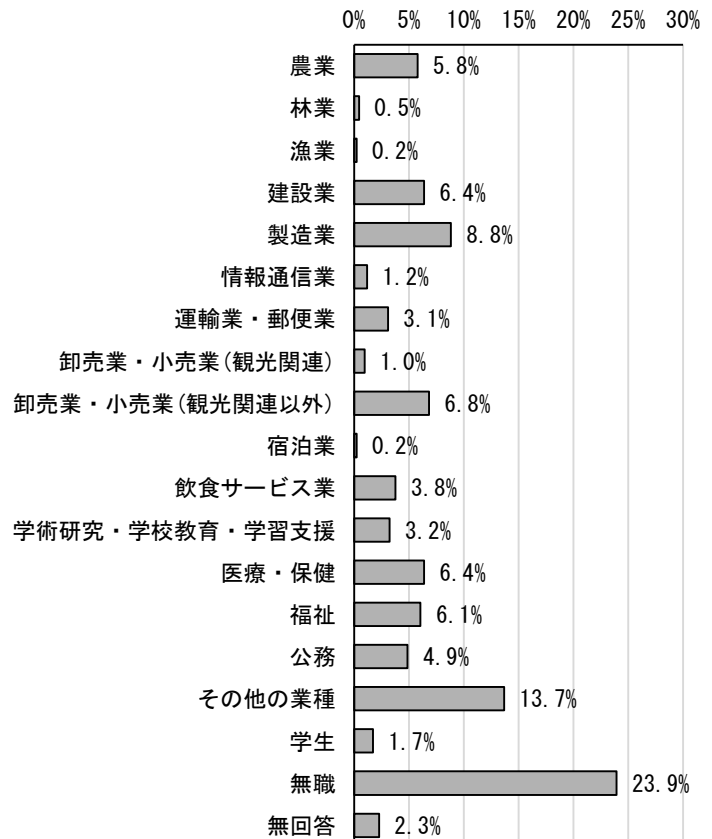
④出身



⑤居住地域



⑥職業



8 標本抽出方法

(1) 層化及び標本数の配分

調査対象を県内 25 市町村で層化し、各市町村の満 18 歳以上の人口（令和 5 年 10 月 1 日現在）の構成比に応じて 5,000 の標本を比例分配した。

地域名	NO	市町村名	18 歳以上人口 (R5. 10. 1 現在)	18 歳以上人口 構成比	調査地点 人口按分
		県 計	808, 481	100. 0%	5, 000
鹿角地域	1	鹿角市	23, 865	3. 0%	148
	2	小坂町	4, 049	0. 5%	25
北秋田地域	3	大館市	58, 337	7. 2%	361
	4	北秋田市	25, 245	3. 1%	156
	5	上小阿仁村	1, 712	0. 2%	11
山本地域	6	能代市	42, 170	5. 2%	261
	7	藤里町	2, 402	0. 3%	15
	8	三種町	12, 750	1. 6%	79
	9	八峰町	5, 556	0. 7%	34
秋田地域	10	秋田市	262, 221	32. 4%	1, 622
	11	男鹿市	21, 110	2. 6%	131
	12	潟上市	27, 137	3. 4%	168
	13	五城目町	7, 154	0. 9%	44
	14	八郎潟町	4, 755	0. 6%	29
	15	井川町	3, 902	0. 5%	24
	16	大潟村	2, 473	0. 3%	15
由利地域	17	由利本荘市	62, 955	7. 8%	389
	18	にかほ市	19, 588	2. 4%	121
仙北地域	19	大仙市	64, 946	8. 0%	402
	20	仙北市	20, 441	2. 5%	126
	21	美郷町	15, 450	1. 9%	96
平鹿地域	22	横手市	71, 187	8. 8%	440
雄勝地域	23	湯沢市	35, 308	4. 4%	218
	24	羽後町	11, 424	1. 4%	71
	25	東成瀬村	2, 344	0. 3%	14

(2) 報告書の見方

母集団全体の中から一部を抽出する標本調査では、母集団全体を対象に行った調査と比べ、何らかの誤差が生ずる。本調査では信頼係数を95%と設定しており、誤差は以下の式で得られる。第3部では点推定値を掲載しているが、以上のような誤差をもっている。

①回答割合の誤差	N=母集団数
標本誤差= $1.96 \times \sqrt{p(1-p)/n}$	n=標本数
②回答結果の平均値の誤差	s=標本標準偏差
標本誤差= $1.96 \times s/\sqrt{n}$	p=回答比率

①の回答割合に関しては、本調査における誤差の早見表を以下に記載する。この表では、例えば、「全体」の50%から「十分」という回答比率が得られた間について、繰り返し標本を抽出し推定を何度も行った場合、95%の確率で母割合（全県民が「十分」と考える割合）を50%±2.1%の範囲内に含むことを表している。また、100回中95回は誤差を含めた範囲内に母割合を含むが、5回は含まないときがある。

回答割合の誤差の早見表

項目名	N：母集団数 (人)	n：回答者数 (人)	p：回答比率 (%)				
			10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
全体	808,481	2,193	1.3	1.7	1.9	2.1	2.1
年代別							
18～39歳	149,499	402	2.9	3.9	4.5	4.8	4.9
40～59歳	234,512	845	2.0	2.7	3.1	3.3	3.4
60歳以上	424,470	917	1.9	2.6	3.0	3.2	3.2

※無回答の29人を含むため、年代別の計と一致しない。

②の回答結果の平均値に関し、誤差を考慮した区間推定結果を以下に掲載する。この推定の精度は、繰り返し標本を抽出し推定を何度も行った場合に95%の確率で母平均（母集団である全県民の回答の平均値）をその範囲内に含む程度であり、100回中95回は信頼区間の中に母平均を含むが、5回は含まないときがある。

回答結果の平均値の区間推定

質問No.	全体		年代別					
			18～39歳		40～59歳		60歳以上	
	標本平均値	信頼区間	標本平均値	信頼区間	標本平均値	信頼区間	標本平均値	信頼区間
1-1	2.24	2.21 ～ 2.28	2.37	2.06 ～ 2.67	2.17	2.09 ～ 2.25	2.26	2.17 ～ 2.35
1-2	2.53	2.50 ～ 2.57	2.45	2.16 ～ 2.75	2.51	2.44 ～ 2.59	2.59	2.51 ～ 2.67
1-3	2.21	2.18 ～ 2.24	2.27	2.01 ～ 2.53	2.15	2.08 ～ 2.22	2.24	2.16 ～ 2.32
1-4	2.24	2.21 ～ 2.27	2.28	2.02 ～ 2.55	2.21	2.14 ～ 2.28	2.26	2.18 ～ 2.34
1-5	2.48	2.44 ～ 2.51	2.62	2.32 ～ 2.92	2.47	2.40 ～ 2.54	2.42	2.34 ～ 2.50
1-6	2.66	2.63 ～ 2.69	3.02	2.66 ～ 3.38	2.67	2.59 ～ 2.74	2.50	2.41 ～ 2.58
1-7	2.55	2.52 ～ 2.58	2.68	2.35 ～ 3.02	2.54	2.46 ～ 2.62	2.50	2.41 ～ 2.59
1-8	2.38	2.35 ～ 2.41	2.67	2.36 ～ 2.98	2.39	2.32 ～ 2.46	2.23	2.15 ～ 2.31
1-9	2.46	2.43 ～ 2.49	2.54	2.26 ～ 2.82	2.43	2.37 ～ 2.50	2.45	2.37 ～ 2.52
1-10	3.07	3.04 ～ 3.10	3.37	3.02 ～ 3.73	3.05	2.99 ～ 3.12	2.96	2.89 ～ 3.03
1-11	2.56	2.53 ～ 2.59	2.65	2.36 ～ 2.94	2.50	2.43 ～ 2.56	2.59	2.52 ～ 2.67
1-12	2.68	2.65 ～ 2.71	2.77	2.47 ～ 3.08	2.66	2.59 ～ 2.72	2.66	2.59 ～ 2.73
1-13	2.24	2.21 ～ 2.27	2.23	1.98 ～ 2.48	2.20	2.13 ～ 2.27	2.29	2.21 ～ 2.36
1-14	1.61	1.58 ～ 1.64	1.55	1.37 ～ 1.72	1.55	1.49 ～ 1.62	1.69	1.62 ～ 1.77
1-15	1.84	1.81 ～ 1.87	1.93	1.71 ～ 2.15	1.84	1.77 ～ 1.90	1.80	1.72 ～ 1.87
1-16	2.13	2.10 ～ 2.16	2.24	1.99 ～ 2.49	2.14	2.08 ～ 2.21	2.08	2.00 ～ 2.16
1-17	2.49	2.46 ～ 2.52	2.61	2.32 ～ 2.91	2.47	2.41 ～ 2.54	2.47	2.39 ～ 2.55
1-18	2.41	2.38 ～ 2.45	2.48	2.19 ～ 2.78	2.40	2.32 ～ 2.47	2.40	2.32 ～ 2.48
1-19	2.50	2.47 ～ 2.53	2.52	2.24 ～ 2.81	2.53	2.46 ～ 2.60	2.48	2.40 ～ 2.56
1-20	2.66	2.63 ～ 2.70	2.72	2.41 ～ 3.02	2.58	2.51 ～ 2.65	2.72	2.65 ～ 2.80
1-21	2.22	2.19 ～ 2.25	2.22	1.97 ～ 2.47	2.05	1.98 ～ 2.11	2.37	2.30 ～ 2.45
1-22	2.49	2.46 ～ 2.52	2.57	2.27 ～ 2.86	2.38	2.31 ～ 2.45	2.55	2.48 ～ 2.63
1-23	2.39	2.36 ～ 2.42	2.44	2.16 ～ 2.72	2.25	2.18 ～ 2.32	2.49	2.41 ～ 2.56
1-24	2.76	2.73 ～ 2.79	2.82	2.50 ～ 3.14	2.75	2.68 ～ 2.82	2.73	2.65 ～ 2.82
1-25	2.85	2.82 ～ 2.89	2.84	2.50 ～ 3.19	2.84	2.76 ～ 2.92	2.86	2.77 ～ 2.95
1-26	2.65	2.62 ～ 2.68	2.72	2.40 ～ 3.04	2.64	2.57 ～ 2.72	2.62	2.53 ～ 2.71
1-27	2.87	2.84 ～ 2.91	2.91	2.58 ～ 3.24	2.88	2.80 ～ 2.95	2.85	2.77 ～ 2.94
1-28	2.78	2.75 ～ 2.82	2.94	2.58 ～ 3.31	2.80	2.71 ～ 2.89	2.71	2.61 ～ 2.80
1-29	2.75	2.72 ～ 2.78	2.90	2.57 ～ 3.22	2.71	2.63 ～ 2.78	2.72	2.64 ～ 2.81
2-1	1.65	1.62 ～ 1.68	1.69	1.50 ～ 1.88	1.59	1.52 ～ 1.65	1.68	1.61 ～ 1.76
2-2	2.44	2.41 ～ 2.48	2.50	2.18 ～ 2.81	2.41	2.33 ～ 2.50	2.45	2.35 ～ 2.54
2-3	2.56	2.53 ～ 2.59	2.60	2.31 ～ 2.88	2.53	2.46 ～ 2.60	2.59	2.51 ～ 2.67
2-4	1.65	1.62 ～ 1.68	1.69	1.50 ～ 1.88	1.60	1.53 ～ 1.67	1.67	1.59 ～ 1.74
2-5	1.84	1.81 ～ 1.87	1.94	1.72 ～ 2.16	1.78	1.72 ～ 1.85	1.85	1.77 ～ 1.93

第 2 部 調査結果の概要

1 第1章「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について (P17～53)

「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」の6つの戦略の各施策に関連する項目について、「十分（5）」、「おおむね十分（4）」、「ふつう（3）」、「やや不十分（2）」、「不十分（1）」及び「わからない（N）」の中から1つを選択する形式で満足度の状況等を調査した。

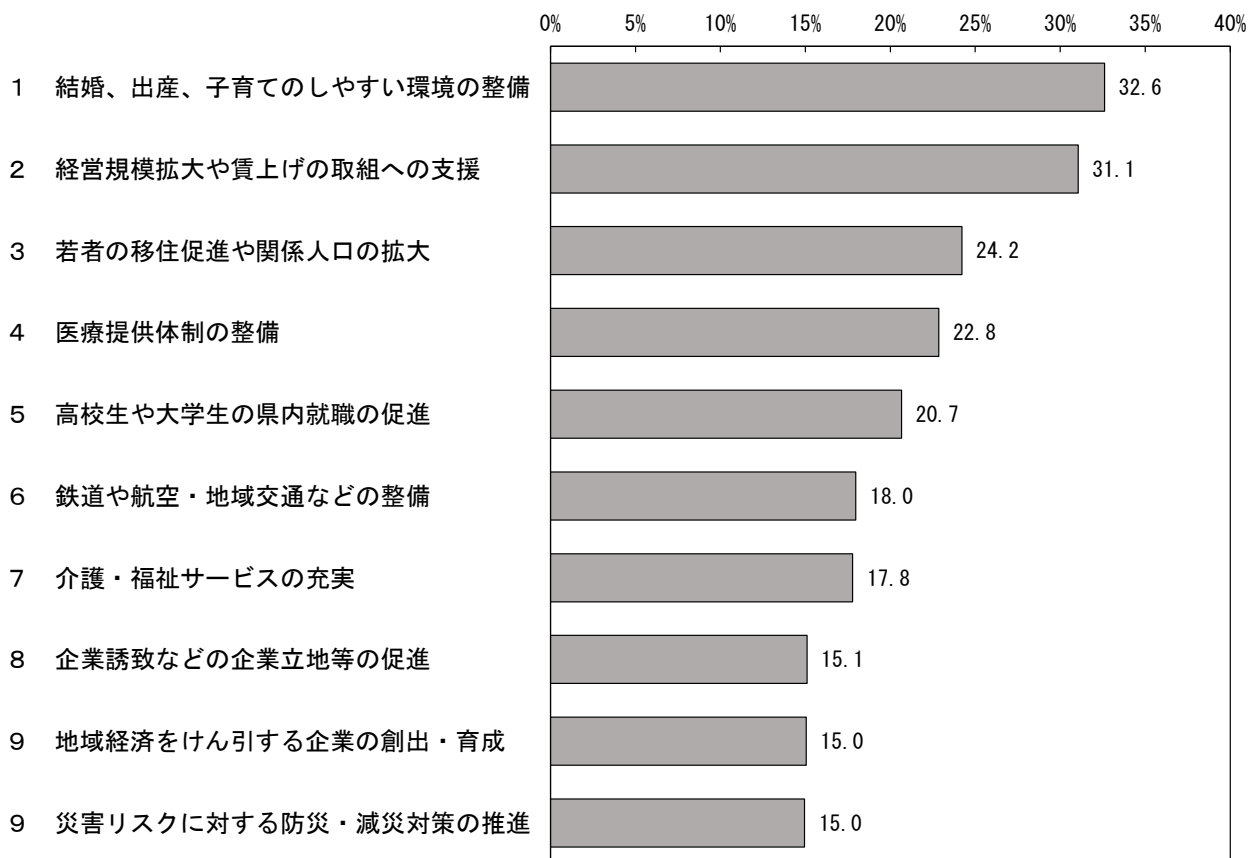
			満足度	回答の割合（％）						
				十分（5）	おおむね十分（4）	ふつう（3）	やや不十分（2）	不十分（1）	わからない（N）	無回答
戦略1	1	生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。	2.24	0.3	3.0	28.8	24.5	17.7	24.1	1.6
	2	輸送機、新エネルギー、情報、医療分野等の成長産業への参入が進んでいる。	2.53	1.0	13.8	28.8	23.6	15.4	15.7	1.7
	3	地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。	2.21	0.5	4.7	28.2	30.4	21.2	13.1	2.0
	4	立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。	2.24	0.6	7.8	25.9	28.8	22.4	12.7	1.9
戦略2	5	経営力の高い担い手等が活躍し、我が国の食料供給に貢献している。	2.48	0.9	11.4	30.8	25.8	16.0	13.1	2.1
	6	「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。	2.66	1.6	12.0	35.3	18.2	12.0	18.9	1.8
	7	蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。	2.55	0.8	8.0	33.6	21.4	10.9	23.5	1.9
	8	農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。	2.38	1.2	9.4	27.4	28.3	18.0	14.0	1.8
戦略3	9	秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。	2.46	1.6	13.3	31.7	26.0	20.2	6.0	1.1
	10	食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。	3.07	4.4	26.2	41.5	15.0	6.7	5.4	0.8
	11	国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。	2.56	2.1	14.4	32.1	27.2	15.6	7.6	0.9
	12	スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。	2.68	2.1	15.8	38.1	22.2	13.7	7.2	0.9
	13	国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通が整備されている。	2.24	1.0	8.2	28.3	30.3	25.3	6.0	0.8
戦略4	14	秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。	1.61	0.1	1.3	11.0	30.2	50.1	6.4	0.8
	15	結婚し、安心して出産・子育てができる社会になっている。	1.84	0.5	3.9	17.0	30.7	41.8	5.3	0.8
	16	女性や若者が様々な分野において、その能力や個性を発揮して活躍している。	2.13	0.5	3.9	28.2	31.8	25.7	9.0	1.0

			満足度	回答の割合 (%)						
				十分(5)	おおむね十分(4)	ふつう(3)	やや不十分(2)	不十分(1)	わからない(N)	無回答
戦略4	17	優しさと多様性に満ちた秋田において、協働等を通じて安心して生活できる地域社会となっている。	2.49	1.0	8.4	39.6	23.9	15.8	10.1	1.1
	18	地域住民、事業者、行政等が一緒になって、地球温暖化対策に取り組んでいる。	2.41	1.3	6.0	34.7	25.2	16.0	16.0	0.9
	19	デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。	2.50	0.7	8.4	39.4	22.7	15.0	13.0	0.8
戦略5	20	県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。	2.66	1.6	10.9	45.3	19.9	12.2	8.4	1.6
	21	どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。	2.22	1.7	8.5	26.3	28.8	28.0	5.2	1.6
	22	高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。	2.49	1.8	9.3	35.8	25.4	16.4	9.8	1.5
	23	相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会となっている。	2.39	1.2	5.7	36.0	26.8	17.3	11.6	1.5
戦略6	24	学校教育を通じて、ふるさとを愛し、社会で活躍しようとする心が育まれている。	2.76	2.0	11.8	43.2	16.8	9.6	14.8	1.9
	25	学校教育を通じて、ICTを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。	2.85	1.5	12.6	40.1	13.9	6.3	23.6	2.0
	26	学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。	2.65	1.1	9.8	37.6	19.7	9.8	20.1	1.9
	27	学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。	2.87	1.4	13.4	46.0	12.4	7.0	18.0	1.9
	28	県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。	2.78	1.2	10.5	37.4	14.7	6.7	27.3	2.0
	29	県民がライフステージや生活スタイルに応じて、生涯にわたり学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。	2.75	1.7	12.3	41.9	17.8	9.4	15.0	1.9
選択・集中プロジェクトなどの重点施策	1	県内の「賃金水準が向上」している。	1.65	0.2	1.1	13.5	28.6	49.0	6.7	0.8
	2	「カーボンニュートラル」の実現に向けた取組が進んでいる。	2.44	1.0	5.7	30.2	21.8	12.8	27.3	1.2
	3	県民生活の様々な場面で、デジタル化が進んでいる。	2.56	1.1	9.2	42.3	22.3	14.0	10.3	1.0
	4	「若者・女性の県内定着・回帰」が進んでいる。	1.65	0.1	1.0	10.9	32.7	45.1	9.3	0.8
	5	「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。	1.84	0.2	2.0	17.4	34.7	36.3	8.6	0.8

2 第2章 県政の重要課題について（P54～58）

今後の県政を推進していく上で、「重要課題として県に力を入れてほしいこと」を50の選択肢の中から5つまで選ぶ形式で調査した。

重要課題として県に力を入れてほしいこと（上位10項目）



3 第3章 県の特定期課題について（P59～78）

県の特定期課題として、次の11課題について調査した。

- (1) 県の広報活動について
- (2) 家庭での防災活動について
- (3) 差別等について
- (4) 男女共同参画について
- (5) 社会活動・地域活動について
- (6) 文化芸術の鑑賞・活動について
- (7) 読書活動について
- (8) 環境保全活動について
- (9) 食品ロス問題について
- (10) 自転車の安全で適正な利用について
- (11) 高齢者の社会参加について

4 第4章 県政への自由意見について (P79～89)

県に力を入れてほしいことや、取り組むべきだと思うことについて、741 人から 1,096 件の意見が寄せられた。

項番	項 目	件数
A	商工業・雇用・労働に関すること	165
B	農林水産業に関すること	44
C	観光に関すること	37
D	文化・スポーツに関すること	29
E	道路・交通ネットワークに関すること	74
F	移住・定住に関すること	39
G	結婚・出産・子育てに関すること	113
H	女性・若者の活躍に関すること	20
I	地域社会の維持・活性化に関すること	14
J	健康・医療・福祉に関すること	77
K	教育・人づくりに関すること	37
L	防災減災に関すること	24
M	生活環境・自然環境に関すること	97
N	県政全般に対する意見・その他	326
合 計		1,096

第 3 部 調査結果の詳細

第1章「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について

1 各戦略の施策に関連する項目についての満足度（問1、問2）

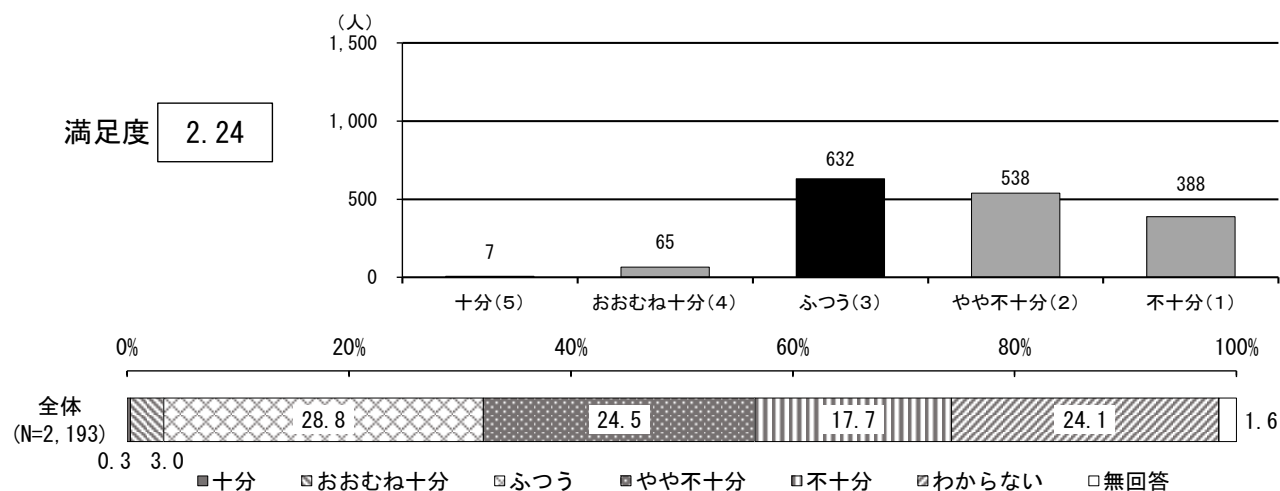
プランの各施策に関連する項目について、満足度を「十分（5）」～「不十分（1）」の5段階で質問した。

（1）戦略1 産業・雇用戦略について

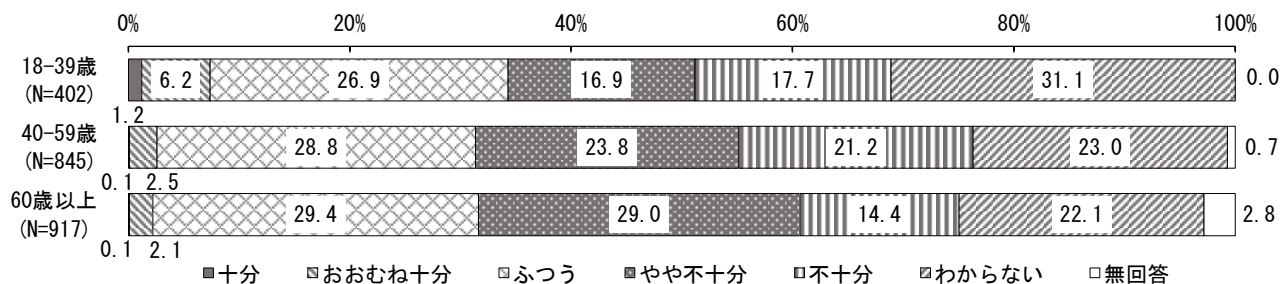
ア 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化

問1-1 生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。

（a）満足度の状況



【年代別】



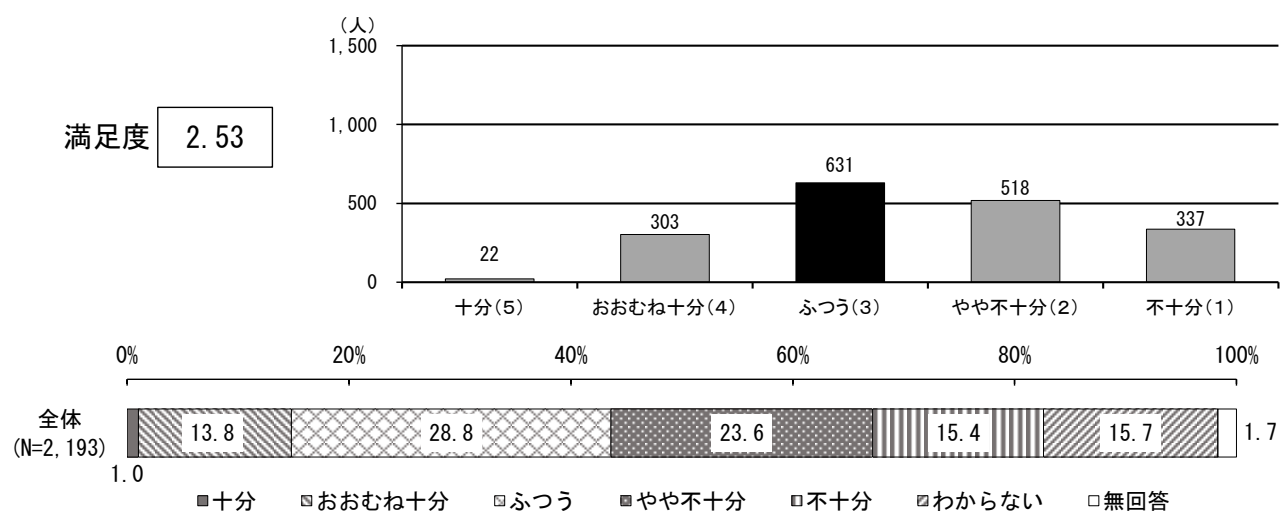
（b）回答の理由

- ・ 中小企業、小規模企業者が支えている大企業と比べると明らかに収益に差があり、職種間における需給のミスマッチが解消されていない。（不十分／男性／50歳代／雄勝地域）
- ・ ITや情報通信業を見た際に技術者が他県と比較して少なく、ICTを活用した生産性の向上は乏しいと感じる。（不十分／女性／70歳以上／仙北地域）
- ・ 一部の産業は十分だと思うが、全体的には競争力が高まっている実感がない。（ふつう／女性／50歳代／北秋田地域）

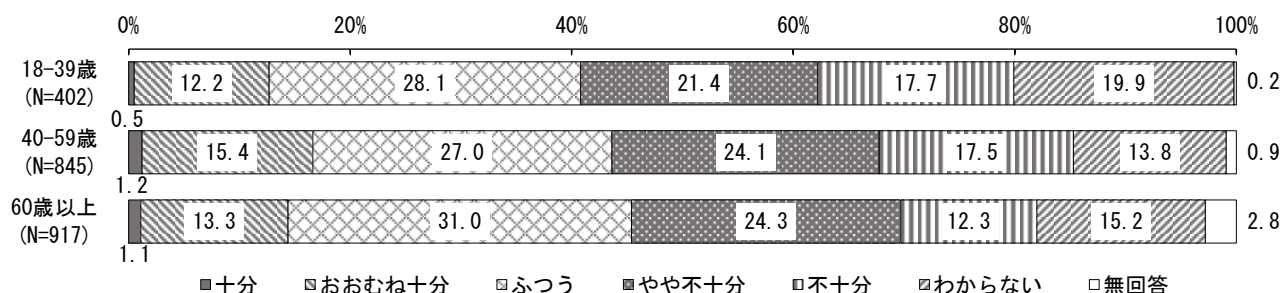
イ 地域資源を生かした成長産業の発展

問 1-2 輸送機、新エネルギー、情報、医療分野等の成長産業への参入が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



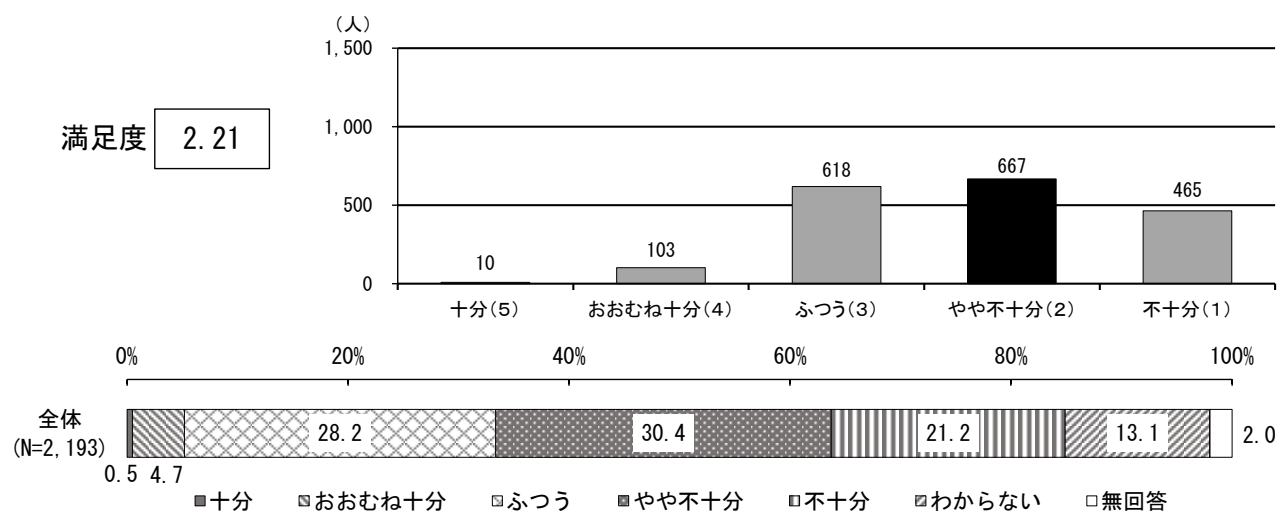
(b) 回答の理由

- 風力発電は耳にするが、他分野が進んでいる実感はあまりない。(やや不十分／女性／70歳以上／鹿角地域)
- 風力発電の必要性も理解できるが、海にも山にも林立するプロペラに景観が損われ、辟易している。(ふつう／女性／60歳以上／山本地域)
- 洋上風力はもちろん、県内企業の技術がローカルのニュースで取り上げられているのを見かける。今後も参入を続けてほしい。(おおむね十分／男性／20歳以上／平鹿地域)

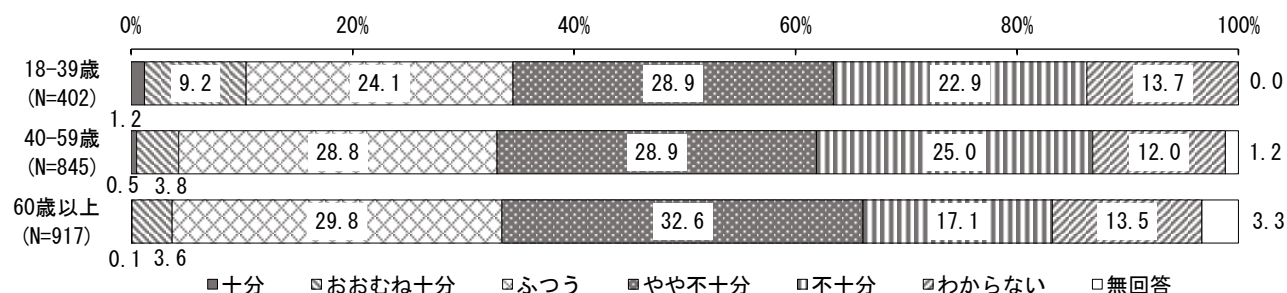
ウ 歴史と風土に培われた地域産業の活性化

問 1-3 地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



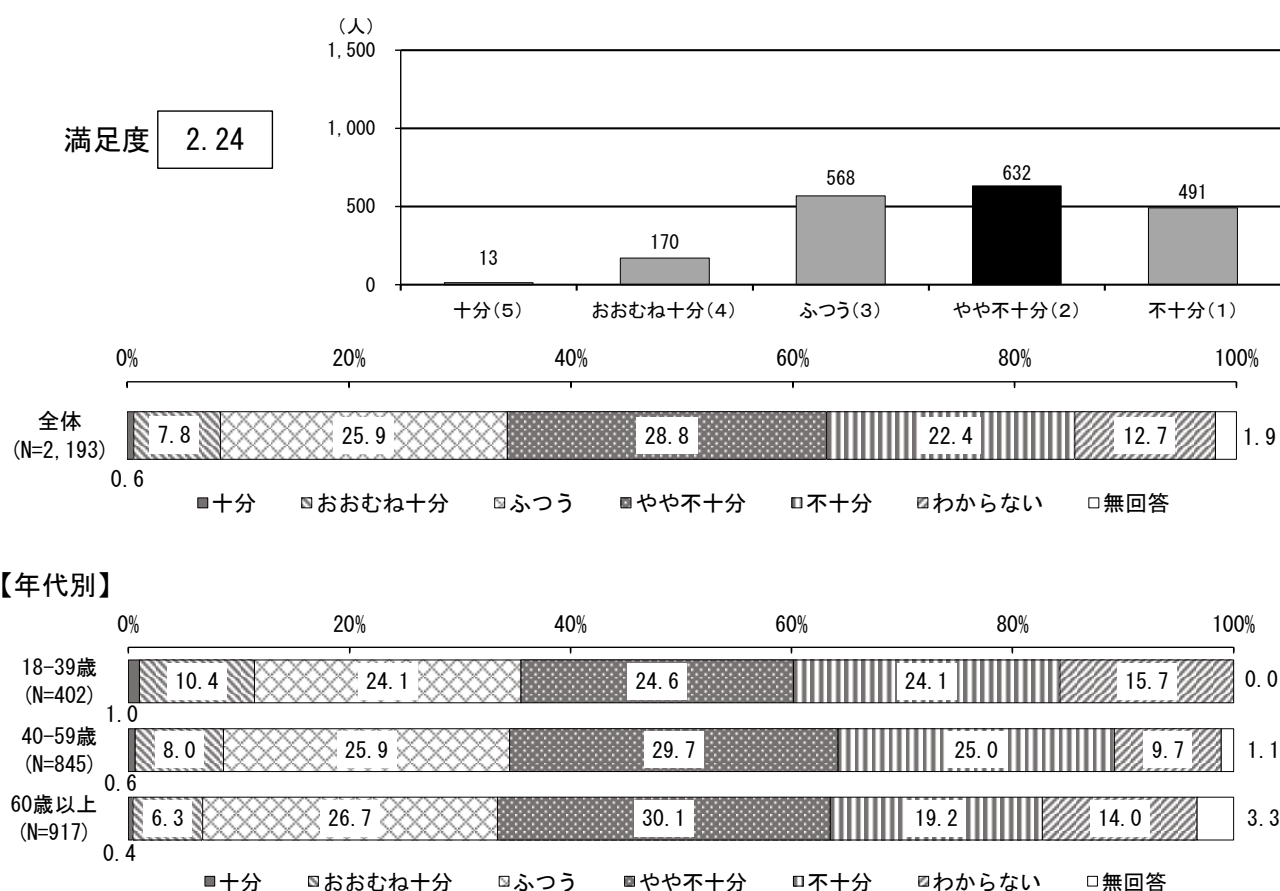
(b) 回答の理由

- ・ 伝統工芸を広めるにしても、担い手が不足しており、活性化しているとは思えない。(不十分／女性／20 歳代／仙北地域)
- ・ 伝統的工芸品は、まだ販路開拓に力を入れた方が良い。伸びしろがある。(やや不十分／女性／60 歳代／秋田地域)
- ・ 工芸品は県外にアピールできている。建設業の人材確保や賃上げが追いついていない。(ふつう／男性／40 歳代／秋田地域)

エ 産業振興を支える投資の拡大

問 1-4 立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。

(a) 満足度の状況



(b) 回答の理由

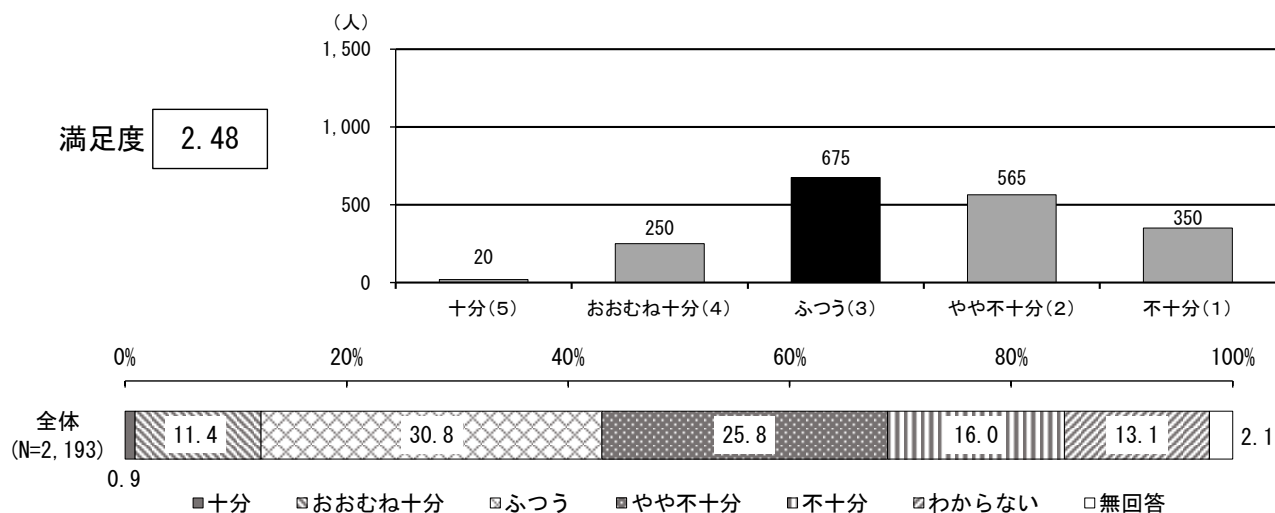
- 誘致企業が来ても、若者が残るやりたい企業が来ない、来ていない。仕事があればいいのではなく、将来の若者のためのやりたい仕事、その点に注目して企業誘致をしてほしい。(不十分／男性／50歳代／雄勝地域)
- 風力に偏りすぎているように感じる。多様な業種で誘致を推進してもらいたい。(不十分／男性／50歳代／仙北地域)
- 工業団地に企業を誘致した記事を見て良かったと思うが、若い人たちが地元に残る気持ちをもってもらうには不十分と感じる。(やや不十分／女性／60歳代／平鹿地域)

(2) 戦略2 農林水産戦略について

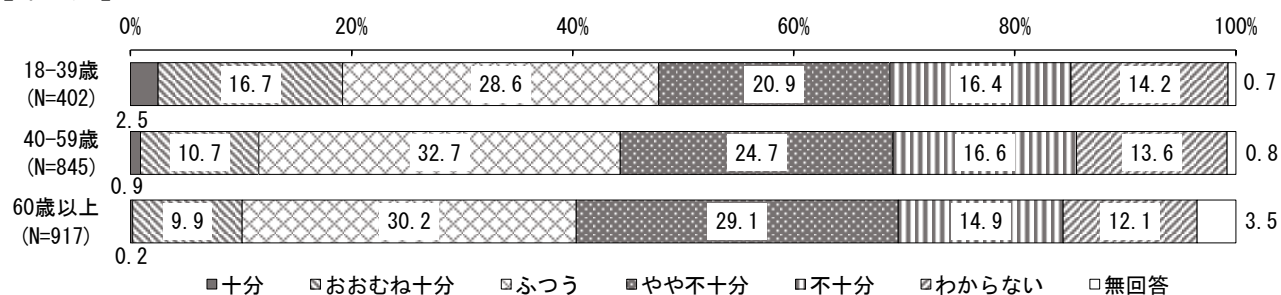
ア 農業の食料供給力の強化

問 1-5 経営力の高い担い手等が活躍し、我が国の食料供給に貢献している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



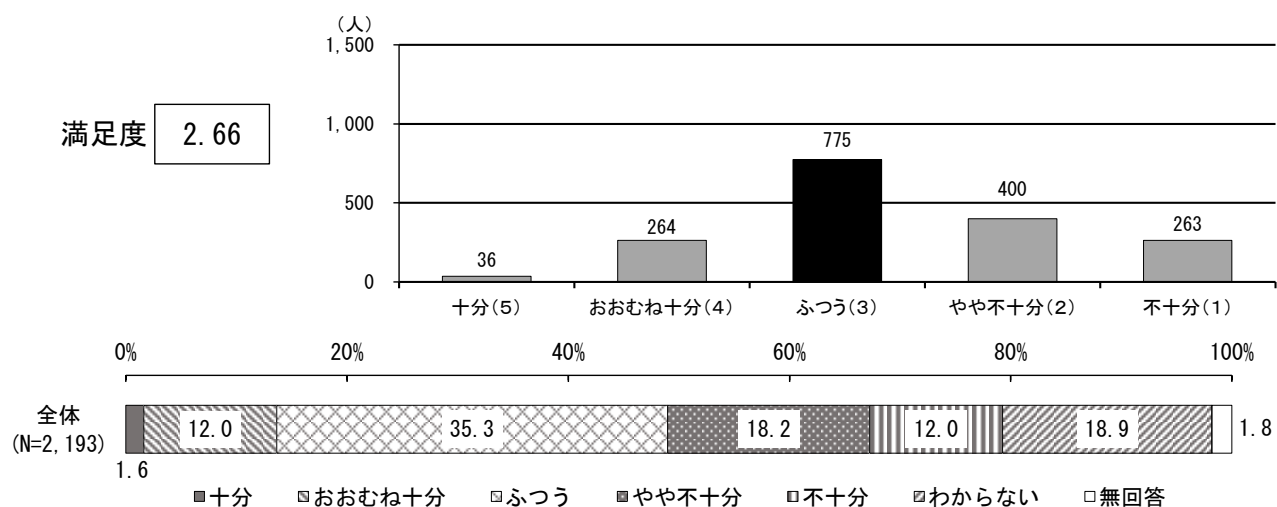
(b) 回答の理由

- 秋田に移り住んでから農産物のおいしさに驚いた。米以外の果実・枝豆・舞茸・アスパラ・じゅんさい等、首都圏でNo.1産地としての地位を十分得られる品質と思われる。もっとブランド化に注力し、県外・国外にアピールしてほしい。(やや不十分/女性/60歳代/秋田地域)
- 農業に若者が参入してきていると思うが、まだ行政において協力体制ができていないと思う。地域行政の後押しがあれば、もっと担い手が増えてくると思う。(やや不十分/男性/60歳代/仙北地域)
- 担い手が頑張っているようだが、指導者が足りていないのではないかと感じている。(ふつう/女性/70歳以上/鹿角地域)

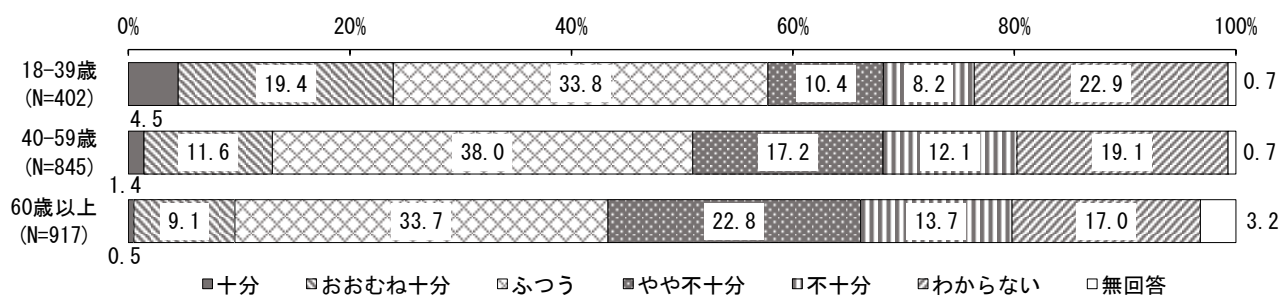
イ 林業・木材産業の成長産業化

問 1-6 「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



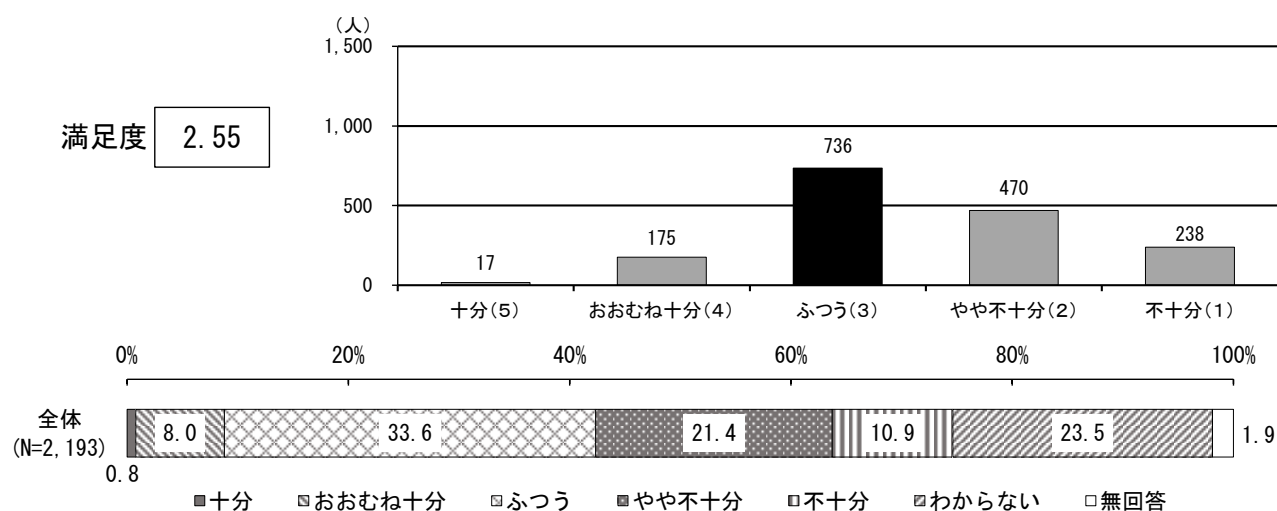
(b) 回答の理由

- 木が伐採され、山肌が目立っているという印象がある。(やや不十分／女性／10 歳代／秋田地域)
- 伐って使っては見えるが、植える、整備するまでには至っていないように感じる。(やや不十分／女性／50 歳代／仙北地域)
- 木材産業は木を植えてから製品になるまでの期間が長く、管理負担もかかるのがネック。柾目、板目の美しい秋田スギの造成により、付加価値の高い製品にどう結び付けるかが大事となってくるのではないかと思います。(やや不十分／男性／60 歳代／秋田地域)

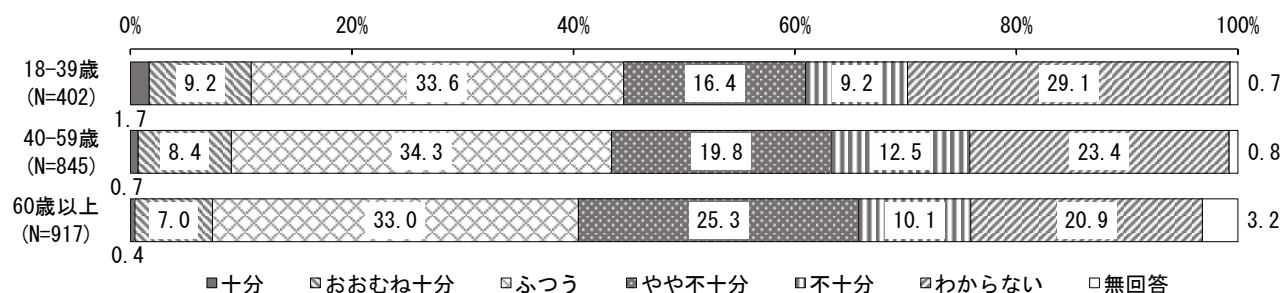
ウ 水産業の持続的な発展

問 1-7 蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



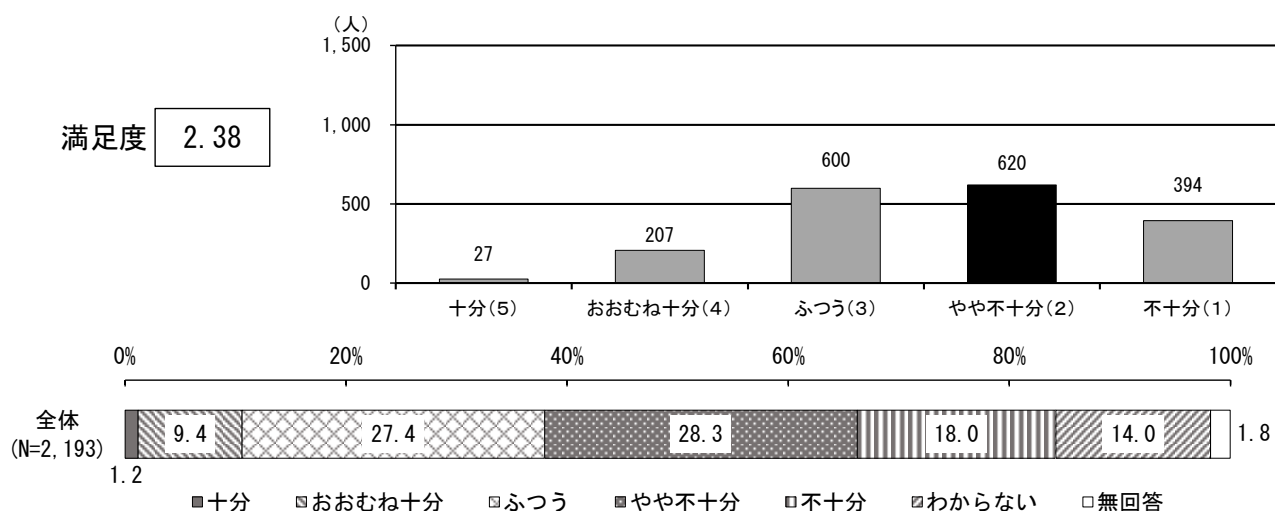
(b) 回答の理由

- ・ オンライン販売をしているということが、あまり周知されていないように感じる。(やや不十分/女性/20歳代/秋田地域)
- ・ 蓄養殖や水産物の情報をあまり聞かないため、PRが足りないと感じる。外部への発信に力を入れてほしい。(やや不十分/男性/40歳代/秋田地域)
- ・ サーモンなどの養殖が緒についた。一層の拡大・定着が望まれる。ハタハタについても、日本海沿岸地域の連携で、資源量の回復に努めてほしい。(ふつう/男性/70歳以上/鹿角地域)

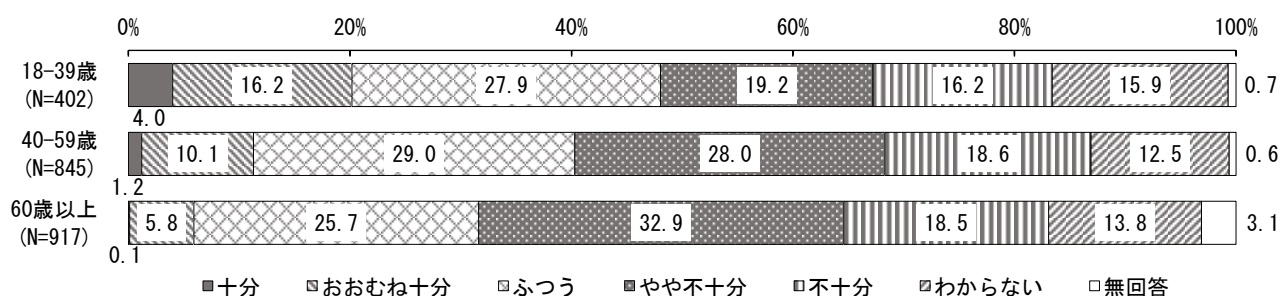
エ 農山漁村の活性化

問 1-8 農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

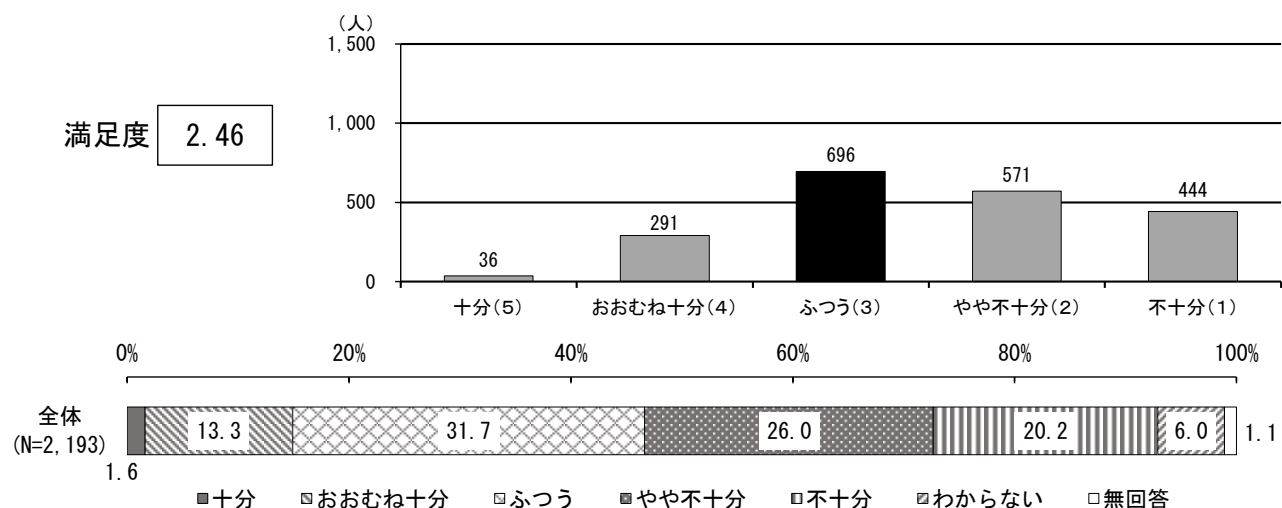
- 新しい農家レストランや民宿の情報があるが、活性化までの大きなムーブメントになっていないように感じる。(やや不十分/女性/40歳代/平鹿地域)
- 一部の民宿でやっているようだが、やはり高齢化が進み、長くは続かない。農村の良さをアピールして、後継者の育成に力を入れなければいけない。(やや不十分/男性/70歳以上/北秋田地域)
- 各農家の得意とする野菜や果物などの優れている部分を前面に出し、民宿やレストランを続けてほしい。(ふつう/女性/50歳代/秋田地域)

(3) 戦略3 観光・交流戦略について

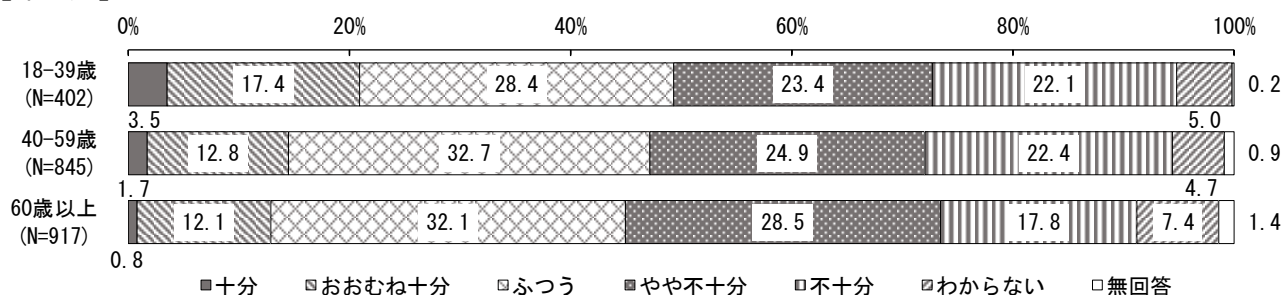
ア 「何度でも訪れたいくなるあきた」の創出

問 1-9 秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



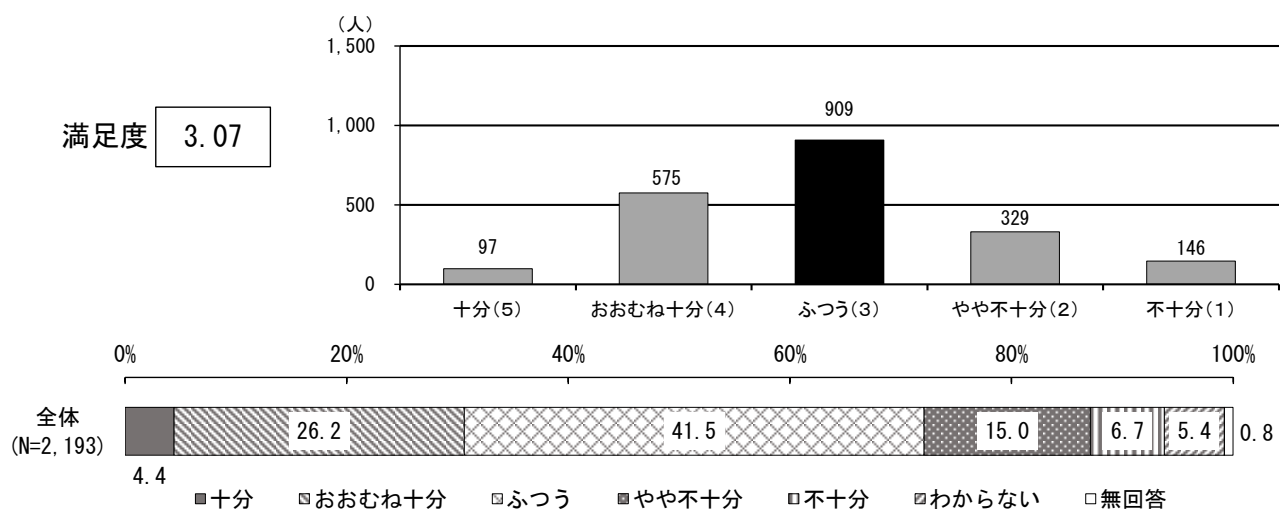
(b) 回答の理由

- 観光客の利便性が更に上がるように、インフラ整備をした方が良い。観光地間の移動に時間を要する。(やや不十分／男性／50歳代／秋田地域)
- 台湾直行便のおかげで客は増えていると感じるが、「魅力が向上した」かどうかはピンとこない。元々ある自然などの資源が生きているのではないか。(ふつう／女性／40歳代／由利地域)
- 大館では、特に秋田犬の里に観光客の姿が見られる。既存の観光資源にプラスαするように、秋田の良さを生かしながら新しいものを取り入れるという柔軟な発想を持って、秋田県の観光を進めてほしい。(おおむね十分／女性／20歳代／北秋田地域)

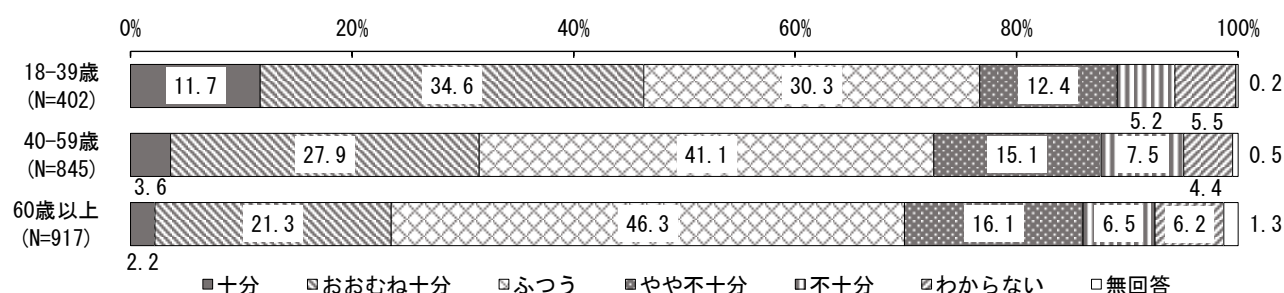
イ 「美酒・美食のあきた」の創造

問 1-10 食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



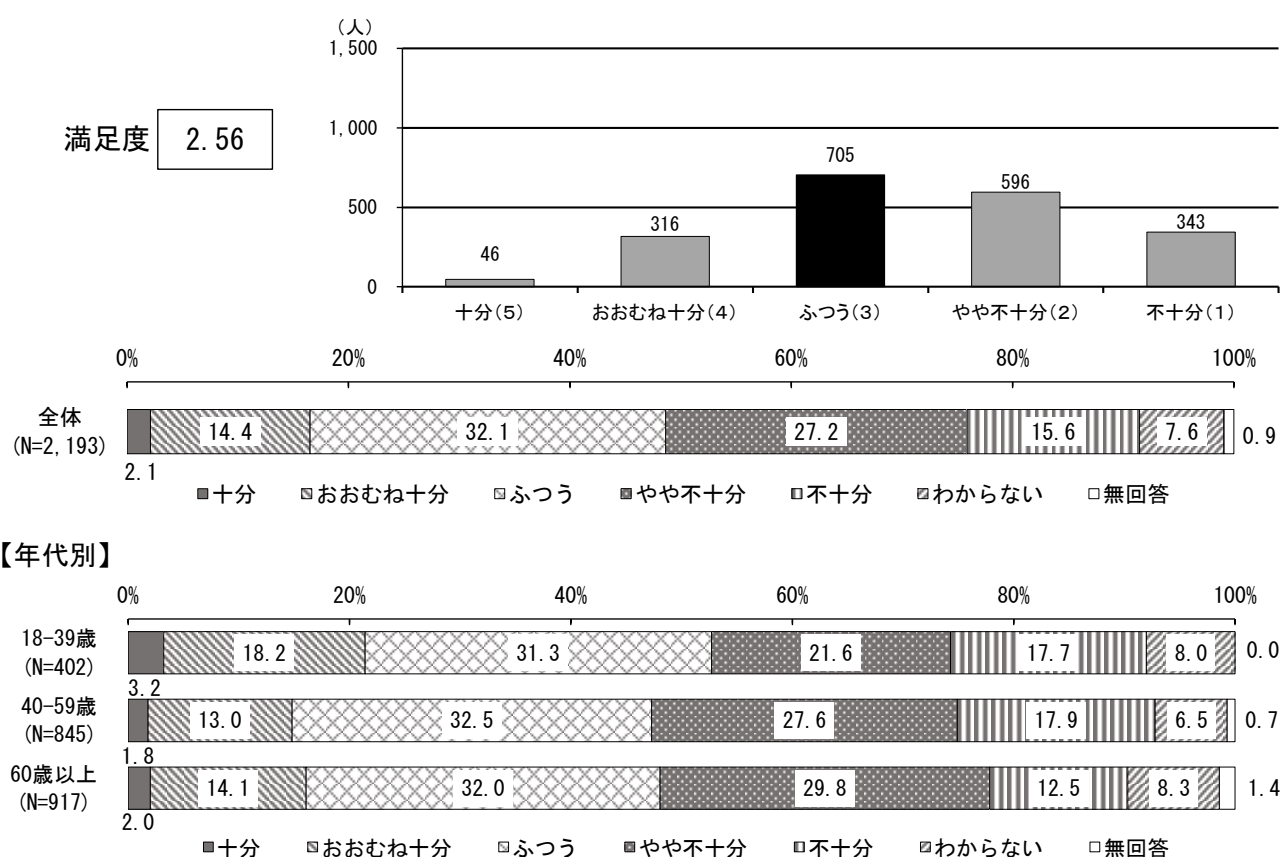
(b) 回答の理由

- いぶりがっこ等の食べ物は、県外の居酒屋で意外と見かけるが、秋田の物と認識せず食べている人が多い印象である。もっと秋田色をPRすれば更に注目が高まるのでは、といつももどかしい気持ちになる。(やや不十分/女性/20歳代/秋田地域)
- 宣伝は、もっと若者、子育て世代に目を向けるべき。漬物、発酵食品、米、きりたんぼ、ハタハタ、山菜の宣伝を見ても、若い世代には全く響かない。(ふつう/男性/30歳代/由利地域)
- 秋田の日本酒、発酵食品はいいと思う。米のイメージが強い秋田だからこそ、強みにしてほしい。(おおむね十分/女性/40歳代/平鹿地域)

ウ 文化芸術の力による魅力ある地域の創生

問 1-11 国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。

(a) 満足度の状況



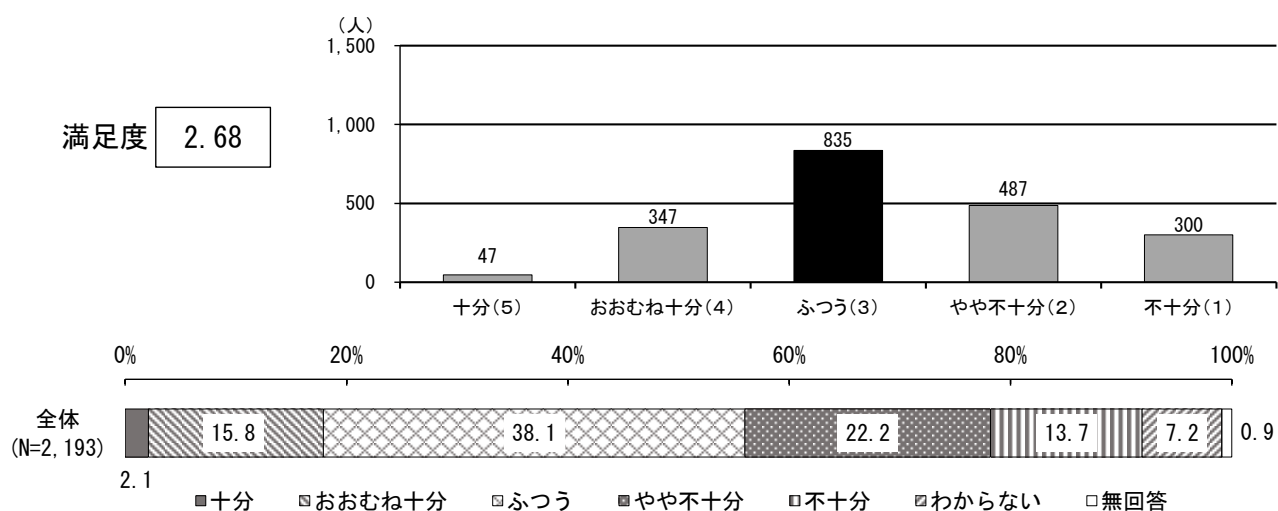
(b) 回答の理由

- あまり秋田の情報発信を見かけない。同じものしか発信しておらず、もっと多くのいいものがあると思う。(不十分／女性／40歳代／秋田地域)
- SNS等により日本の文化を紹介するものの中に、秋田が含まれていることはあっても、秋田ならではの文化としての認識は低いように思う。(やや不十分／女性／50歳代／平鹿地域)
- ミルハスも素晴らしいし、東北の交流祭りなどもすごくいいと思う。人材育成にもっともっと取り組んでほしい。(ふつう／男性／60歳代／秋田地域)

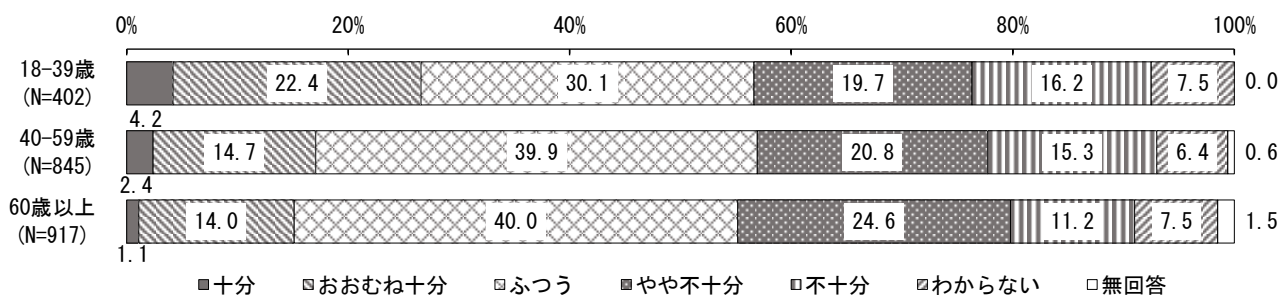
エ 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

問 1-12 スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



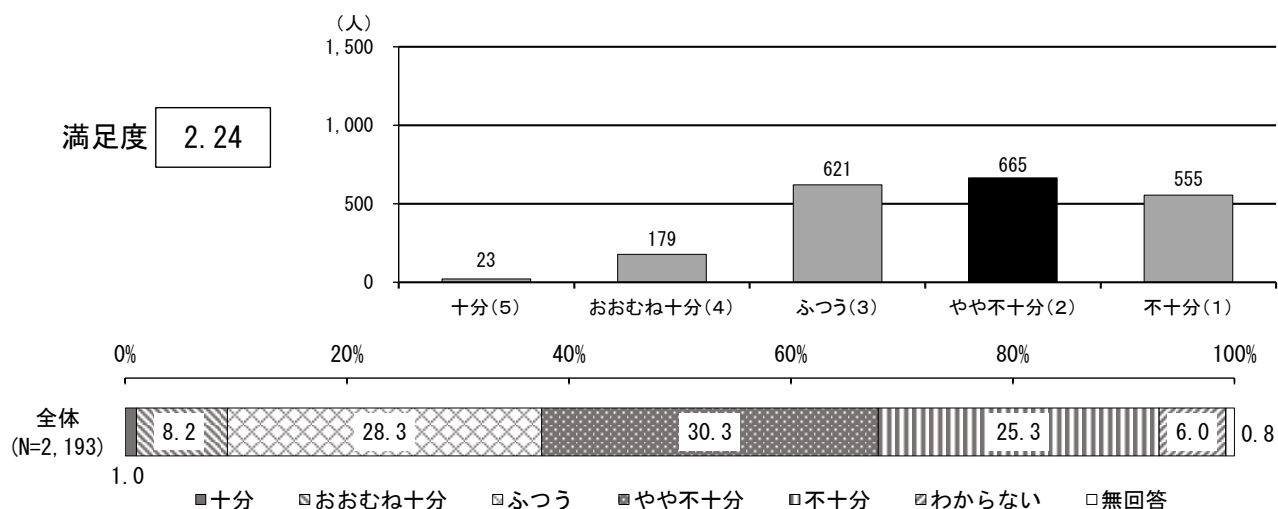
(b) 回答の理由

- ・ 設備が不十分な環境が多く、スポーツイベントは限られた地域でしか開かれない。(不十分／女性／50 歳代／仙北地域)
- ・ アスリート育成が強化されているが、一般県民のスポーツや健康のための運動促進に力を入れてほしい。(ふつう／女性／30 歳代／秋田地域)
- ・ バスケットボール、サッカー、ラグビー等で活躍するチームを応援する県民が多く、活力とにぎわいがもたらされている。(十分／男性／60 歳代／秋田地域)

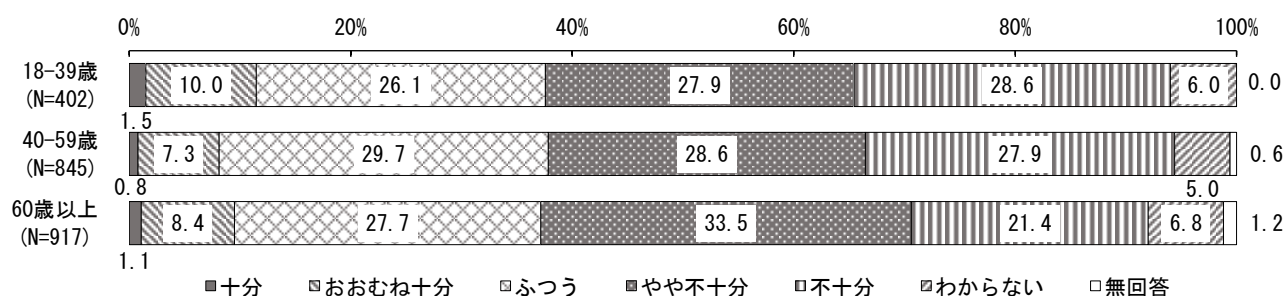
オ 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

問 1-13 国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通が整備されている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

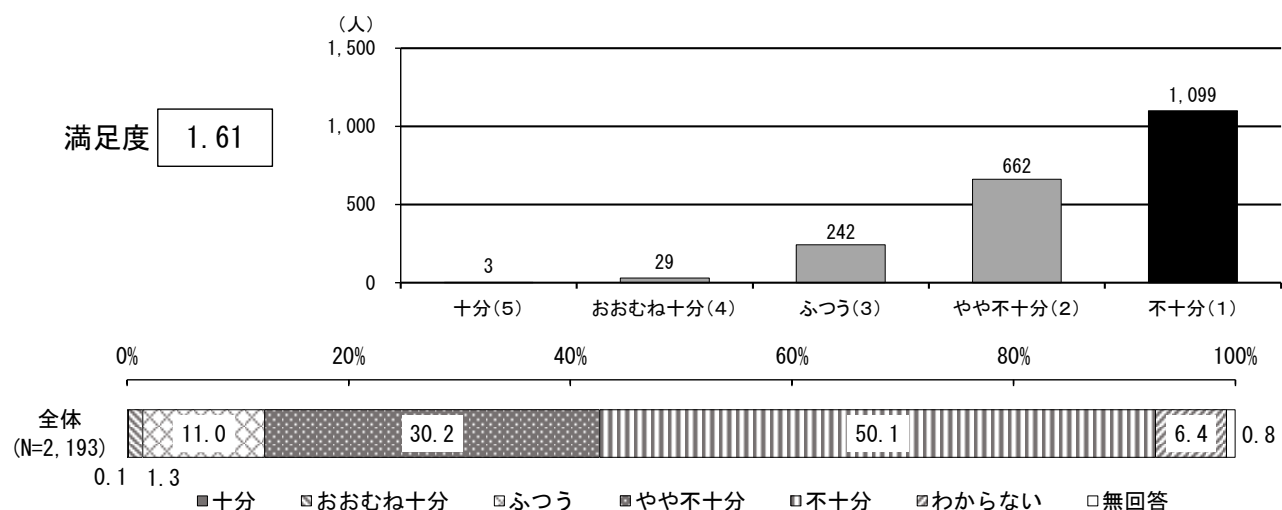
- 新規整備よりも、既存インフラの維持に注力してほしい。観光地でも、国道、県道の劣化（穴など）が目に見える。（不十分／女性／40歳代／鹿角地域）
- 車を運転できないと、買い物にも受診にも行けない人たちが多く見られる。公共交通機関の維持は大切だと思う。バスも18時以降は使えず、タクシーも24時間利用できないところでは、高齢者でも車の運転をするしかなくなる。（不十分／女性／50歳代／雄勝地域）
- 整備されつつあり、利便性を実感しているが、他県と比べると地理的要因（不利）が感じられる。（ふつう／男性／70歳以上／秋田地域）

(4) 戦略4 未来創造・地域社会戦略について

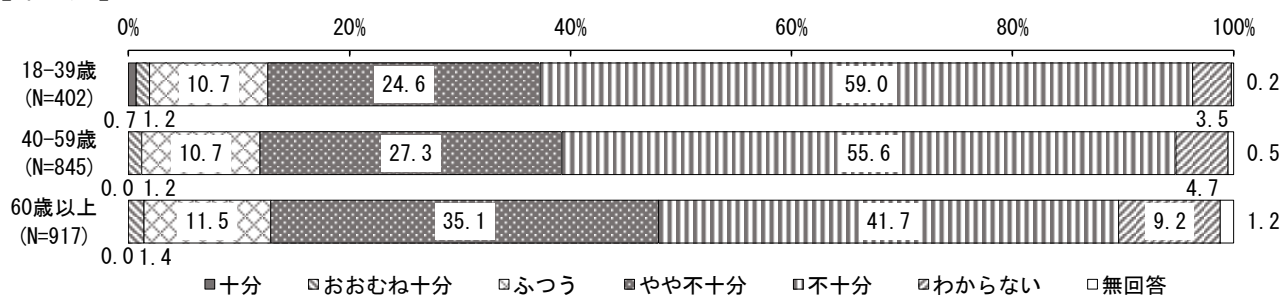
ア 新たな人の流れの創出

問 1-14 秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



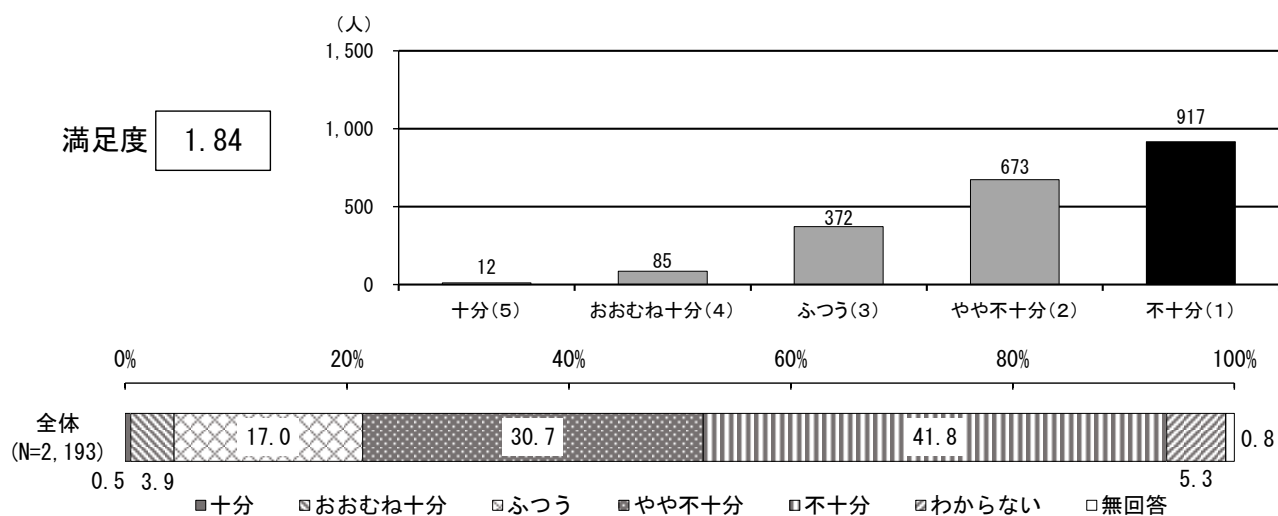
(b) 回答の理由

- 専門性の高い人材や大卒の雇用が少ない。(不十分／男性／20歳代／北秋田地域)
- テレワーク等ができる職業であったり、秋田でしかできない農業だったりがあれば移住は考えるだろうけれど、この賃金の低さでは、秋田に戻る人、移住する人が少ない気がする。(やや不十分／女性／30歳代／仙北地域)
- 県外の大学に行っても、秋田に帰ってきて就職する人が増えてきたように感じる。(おおむね十分／女性／30歳代／秋田地域)

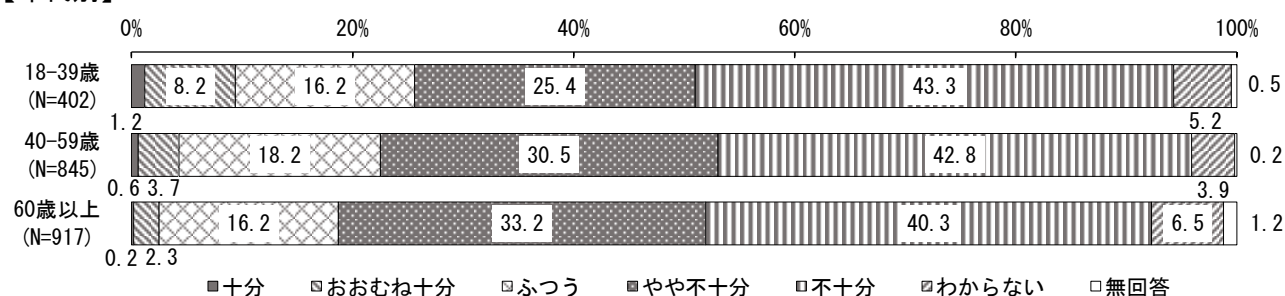
イ 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

問 1-15 結婚し、安心して出産・子育てができる社会になっている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



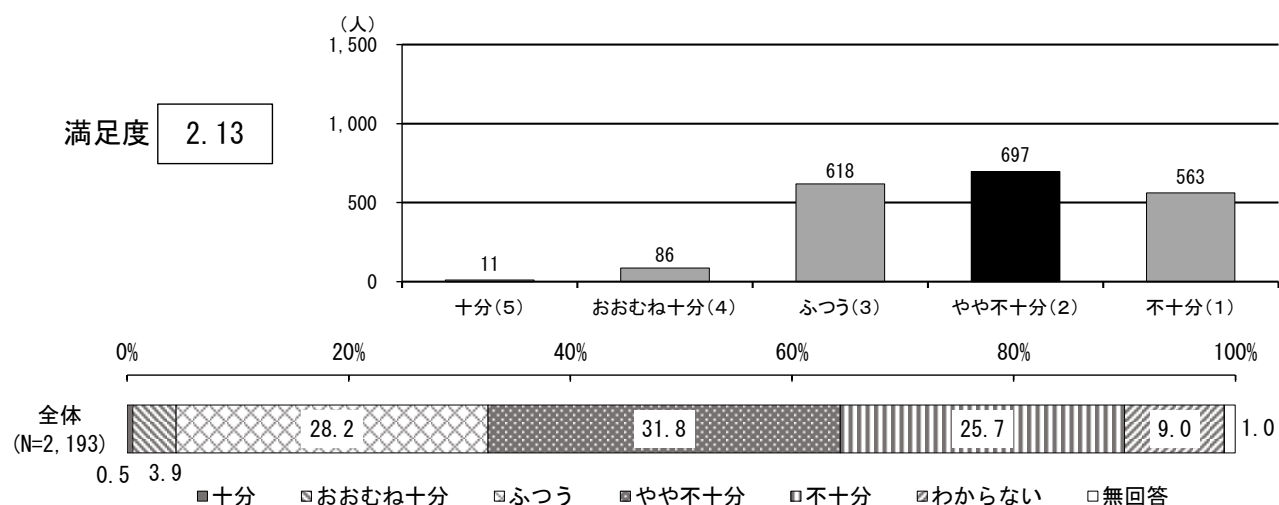
(b) 回答の理由

- 小学生までは何とかなるが、中学生、特に高校生になるととてもお金がかかり、不安になる。サポートがない。(不十分／女性／40歳代／秋田地域)
- 共働きが増えているが、働きやすくする(長時間預ける)ことに力を入れるよりも、早く帰宅し子どもと過ごせるよう、ワークライフバランスの向上に力を入れてほしい。(やや不十分／女性／30歳代／秋田地域)
- 結婚した後も賃金などの不安がある。賃金が都市部と同程度での水準で推移する、安心かつ安定して過ごせる社会の構築が今後必要だと思う。(おおむね十分／男性／20歳代／秋田地域)

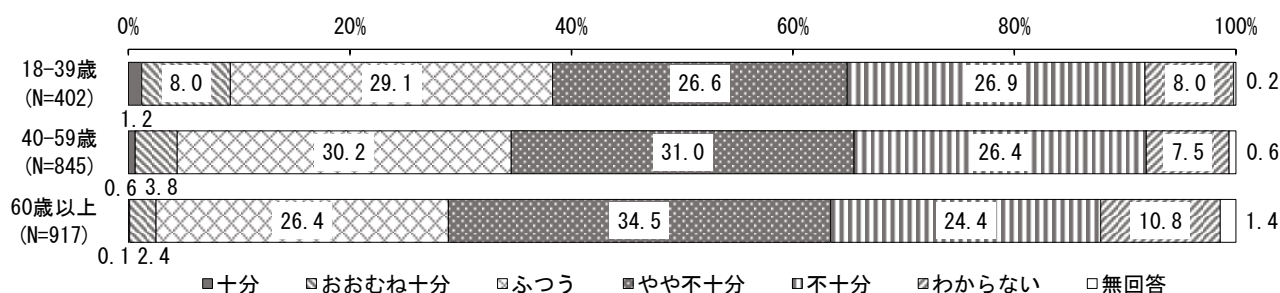
ウ 女性・若者が活躍できる社会の実現

問 1-16 女性や若者が様々な分野において、その能力や個性を発揮して活躍している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



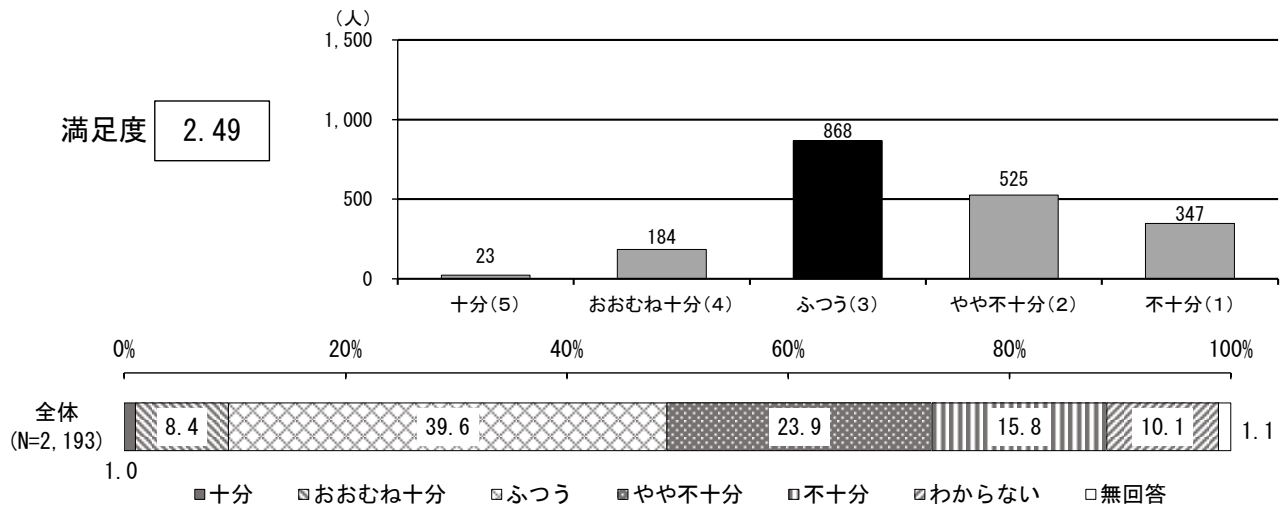
(b) 回答の理由

- 女性の社会進出を期待するのであれば、キャリアを選ぶ女性をもっと脚光を浴びるような取組をしてほしい。独身で、好きなように仕事に励む女性が少なすぎて、肩身が狭い思いになり、結局都会の自由な働き方に流れてしまうと思う。もっと身近にロールモデルがいたらと常を感じている。(不十分／女性／20歳代／秋田地域)
- 若者が仕事に就いても、圧倒的に年配の人たちが多く中で、若い人の意見をなかなか汲み上げてもらえない。(やや不十分／女性／60歳代／秋田地域)
- 自社でも女性の活躍を目にしているので、これから増えてくれるのを期待している。(ふつう／男性／30歳代／山本地域)

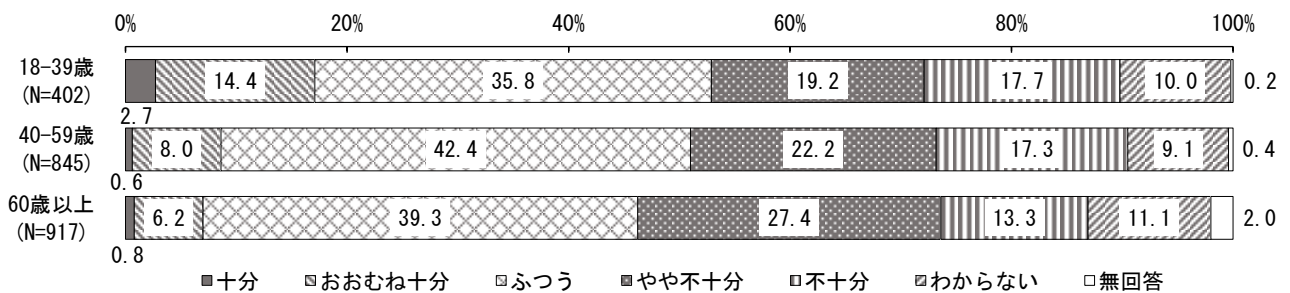
エ 変革する時代に対応した地域社会の構築

問 1-17 優しさと多様性に満ちた秋田において、協働等を通じて安心して生活できる地域社会となっている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



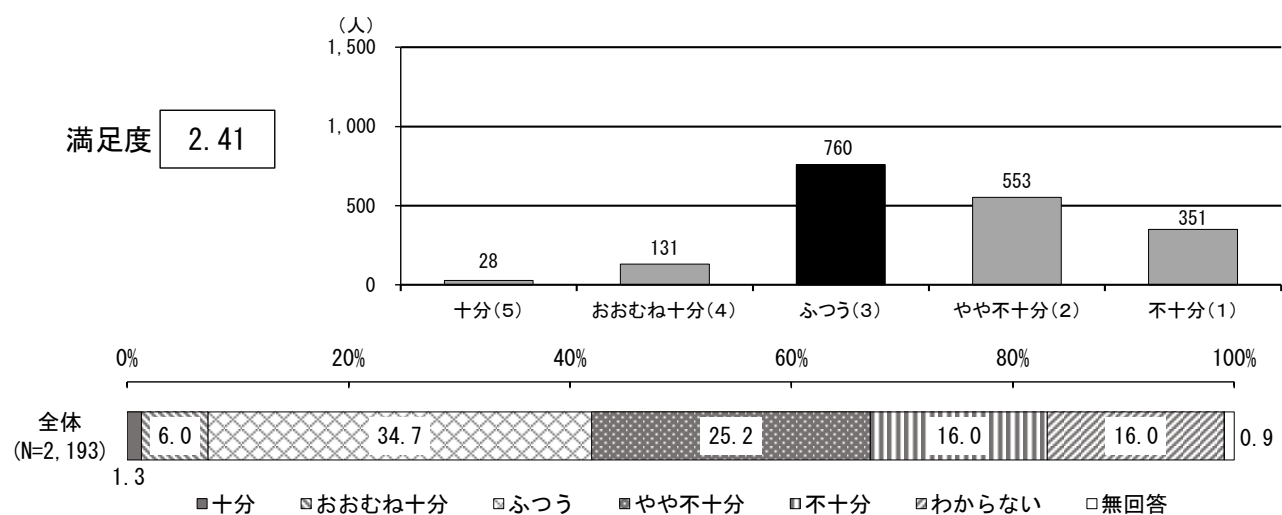
(b) 回答の理由

- ・ 優しさは十分あると思う。しかし多様性に満ちているかと言われると、そうではない気がする。(やや不十分／男性／20 歳代／由利地域)
- ・ 人口減少により、過疎化が進み、心なしか閉鎖的な風土になっていくのを感じる。(やや不十分／男性／40 歳代／秋田地域)
- ・ 多様性に関しては、まだまだ偏見や忌避する言動態度も多く、開かれたとは言えないが、受け入れようとしている人たちも増えていると感じる。(おおむね十分／女性／30 歳代／秋田地域)

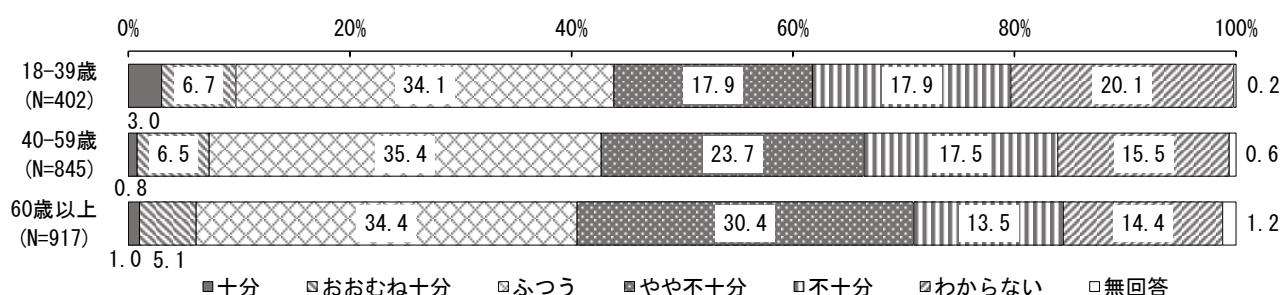
オ 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

問 1-18 地域住民、事業者、行政等と一緒に、地球温暖化対策に取り組んでいる。

(a) 満足度の状況



【年代別】



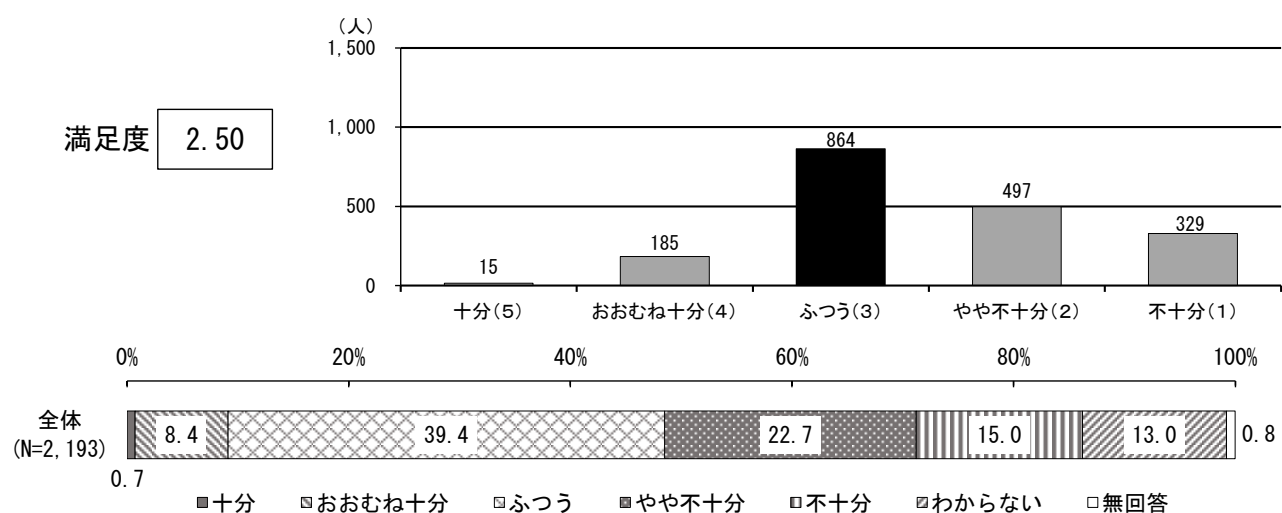
(b) 回答の理由

- 身の回りで対策に取り組んでいる地域住民や事業者を知らない。(やや不十分／男性／30歳代／秋田地域)
- 環境問題に対する認識はだいぶ上がってきていると思う。ゴミの分別やエコ活動など小さな活動が大切だと思う。(やや不十分／男性／50歳代／平鹿地域)
- 企業単位ではCSR、SDGs等具体的な取組が見られるが、個々でやっている方は少ない気がする。(ふつう／男性／50歳代／由利地域)

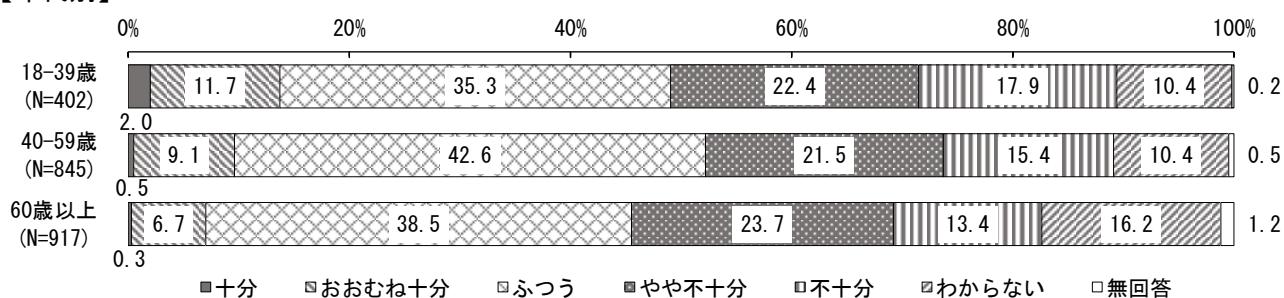
カ 行政サービスの向上

問 1-19 デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

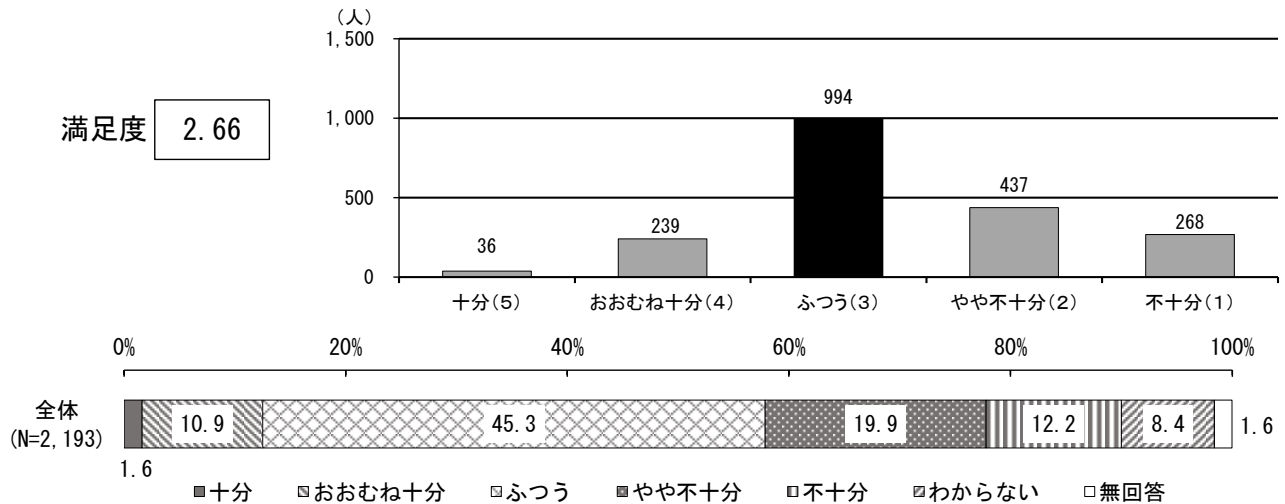
- デジタル化が進んでも使い方が分からなければ不便。(不十分／女性／40 歳代／北秋田地域)
- もっと進まなければ駄目だけれど、アナログな方々への配慮も必要と思う。(やや不十分／女性／60 歳代／仙北地域)
- 最近は便利になったと実感しているが、理解してついて行くのが大変なところもある。(ふつう／男性／70 歳以上／秋田地域)

(5) 戦略5 健康・医療・福祉戦略について

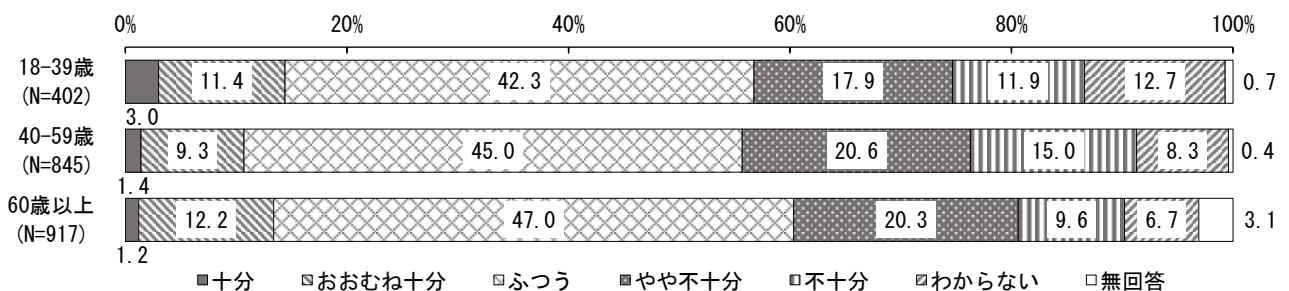
ア 健康寿命日本一の実現

問 1-20 県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



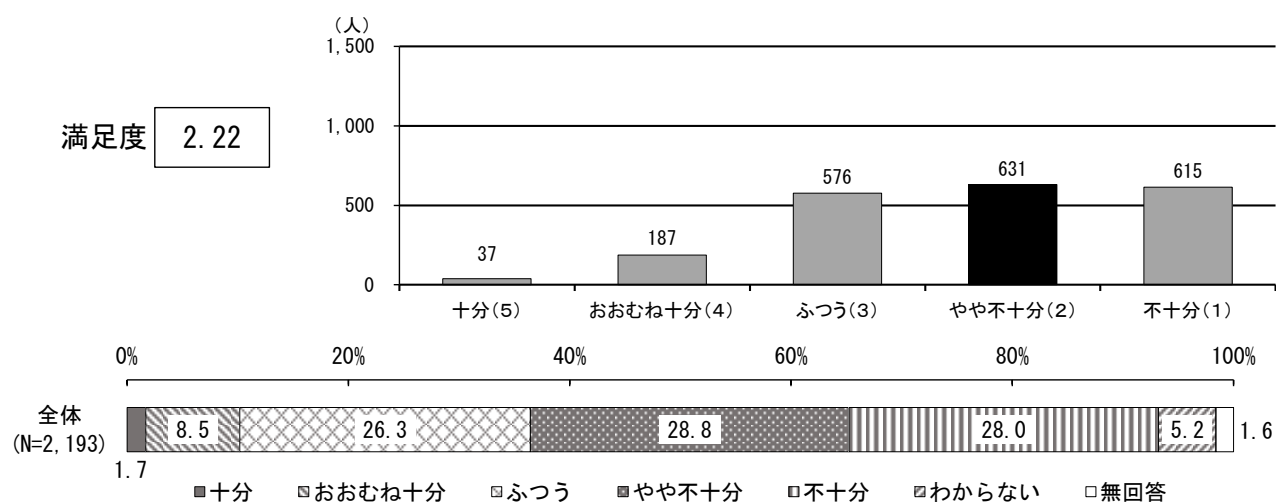
(b) 回答の理由

- ・ 高齢者に特化しがちだが、働いている人や若者、子どもたちの健康づくりに力を入れることが、将来健康寿命を延ばすことにつながると思う。(ふつう／女性／40歳代／鹿角地域)
- ・ 意識している人としていない人の差が大きい。外食の味が濃い。(ふつう／女性／50歳代／由利地域)
- ・ 健康づくりは、本人の意識も大切だが、市町村や医療機関等からの積極的な働きかけが大きく左右すると思う。(ふつう／男性／50歳代／平鹿地域)

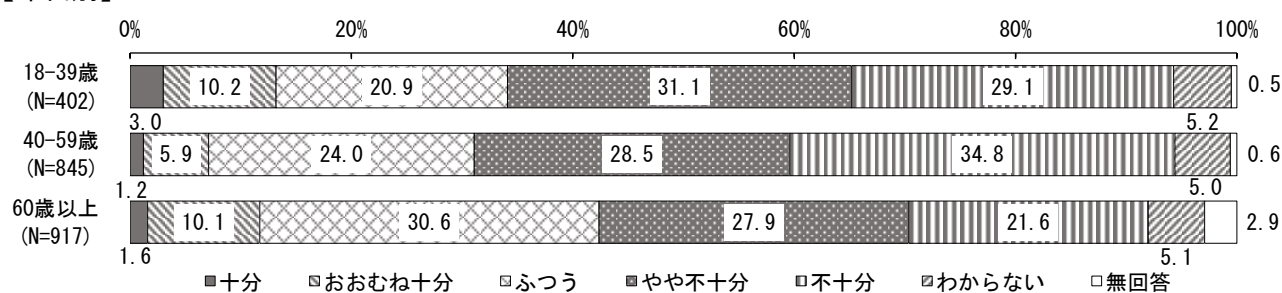
イ 安心で質の高い医療の提供

問 1-21 どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



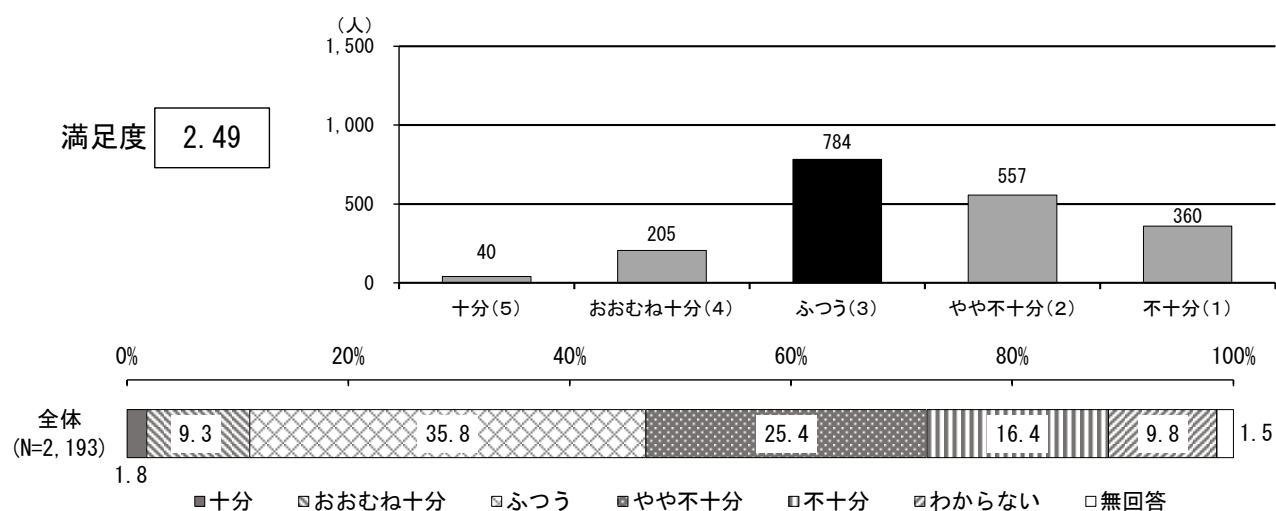
(b) 回答の理由

- ドクターヘリや高速道を利用した救急体制、遠隔医療などがもっと充実してくると、どこに住んでいても安心な気がする。(不十分／男性／60歳代／鹿角地域)
- 秋田市などの中心部では可能だと思うが、少し離れた地域ではまだまだ問題が多いと思う。(やや不十分／女性／50歳代／雄勝地域)
- 訪問看護ステーションをもっと増やし、在宅で高齢者が安心して医療サービスを受けられるように強く希望する。(おおむね十分／女性／60歳代／秋田地域)

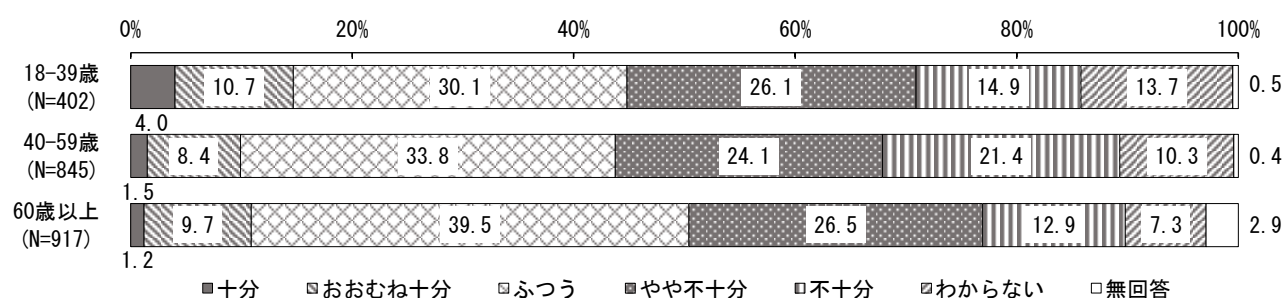
ウ 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

問 1-22 高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。

(a) 満足度の状況



【年代別】



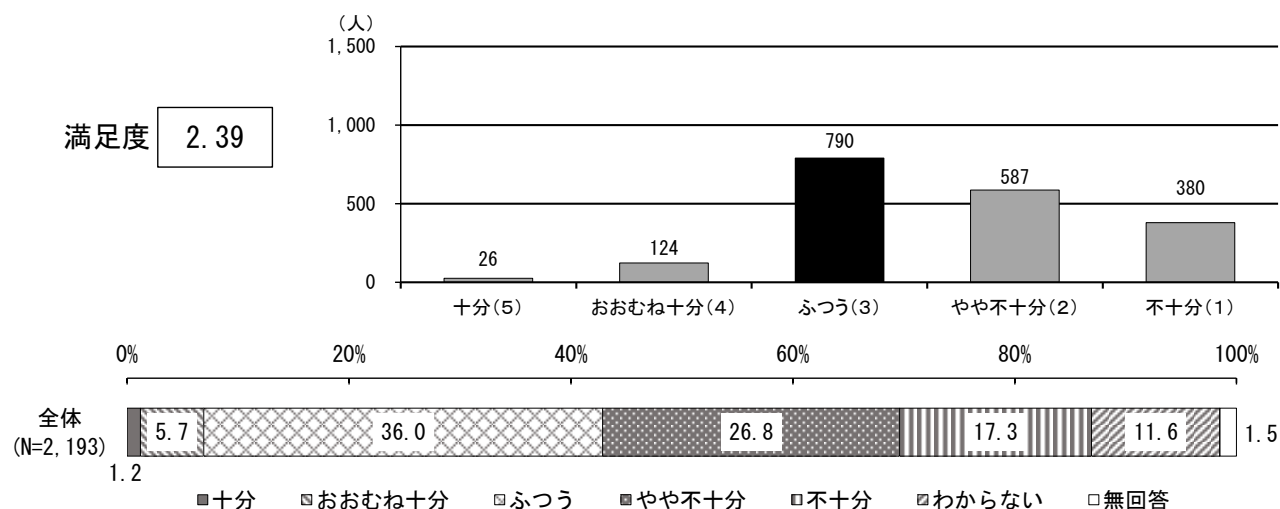
(b) 回答の理由

- 障害があっても、高齢者になっても困らない、地域支援の形をしっかりと整備してほしい。(不十分／女性／60歳代／平鹿地域)
- だれもが高齢者、そして障害者になる可能性があることを理解すると、皆が協力的になり、安心して生活できる。(不十分／女性／70歳以上／秋田地域)
- 高齢化が進む中で、介護職員の減少は先行きが不安である。介護職員の処遇改善を着実に進めていくことが大事だと感じる。(ふつう／男性／70歳以上／秋田地域)

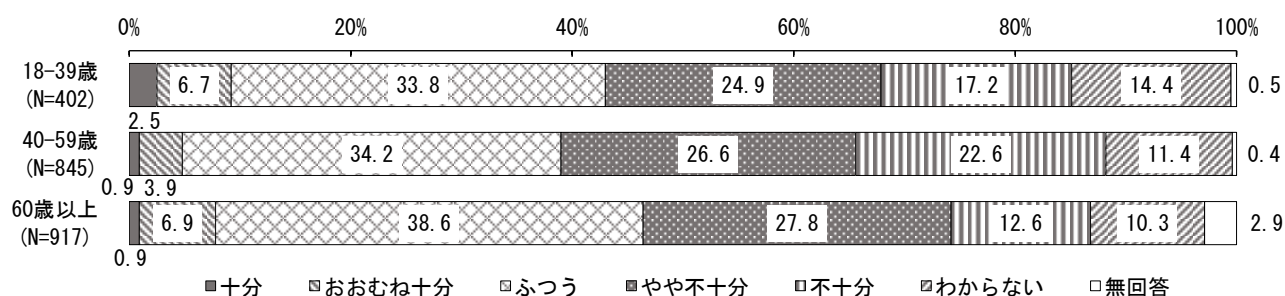
エ 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現

問 1-23 相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会となっている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

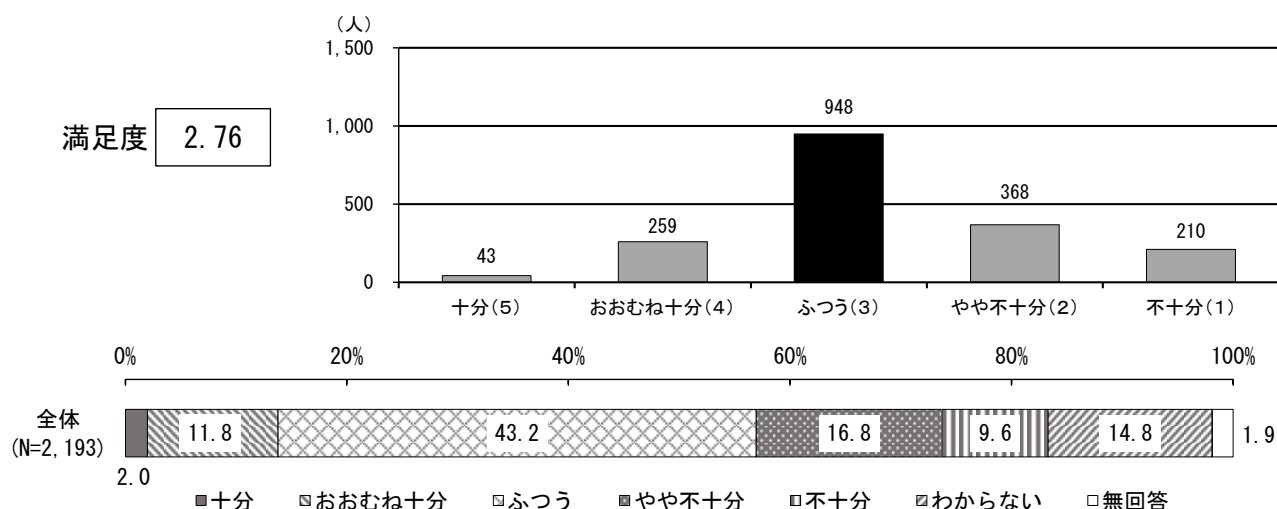
- ・ SOSを出せる場があるのは以前より周知されてきていると思うが、実際に辛い思いをした時に、そういう場に心から頼ることができるのか不安に思う。(やや不十分/女性/40歳代/由利地域)
- ・ 受け入れる側のレベルアップ・ブラッシュアップ等も行われていても、困っている当事者がSOSを出しやすい環境が整っているとは思えない。(やや不十分/男性/50歳代/秋田地域)
- ・ 身近でもフードドライブが行われているし、子ども食堂をやっている人がいるが、まだ十分とは思えない。(ふつう/女性/50歳代/北秋田地域)

(6) 戦略6 教育・人づくり戦略について

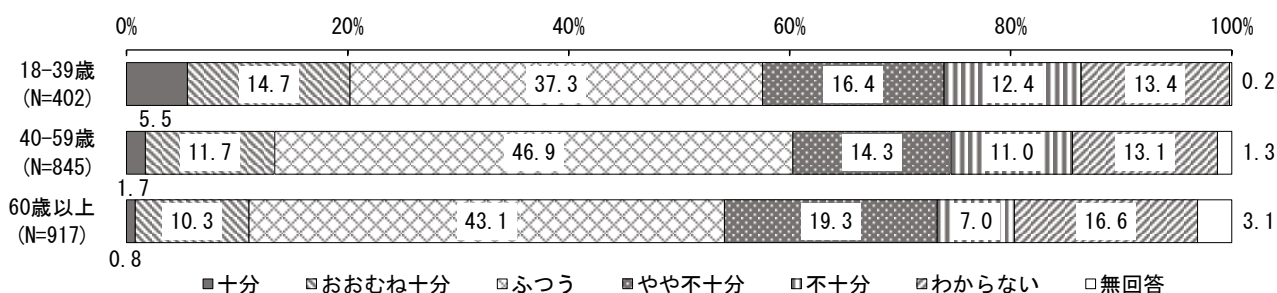
ア 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

問 1-24 学校教育を通じて、ふるさとを愛し、社会で活躍しようとする心が育まれている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



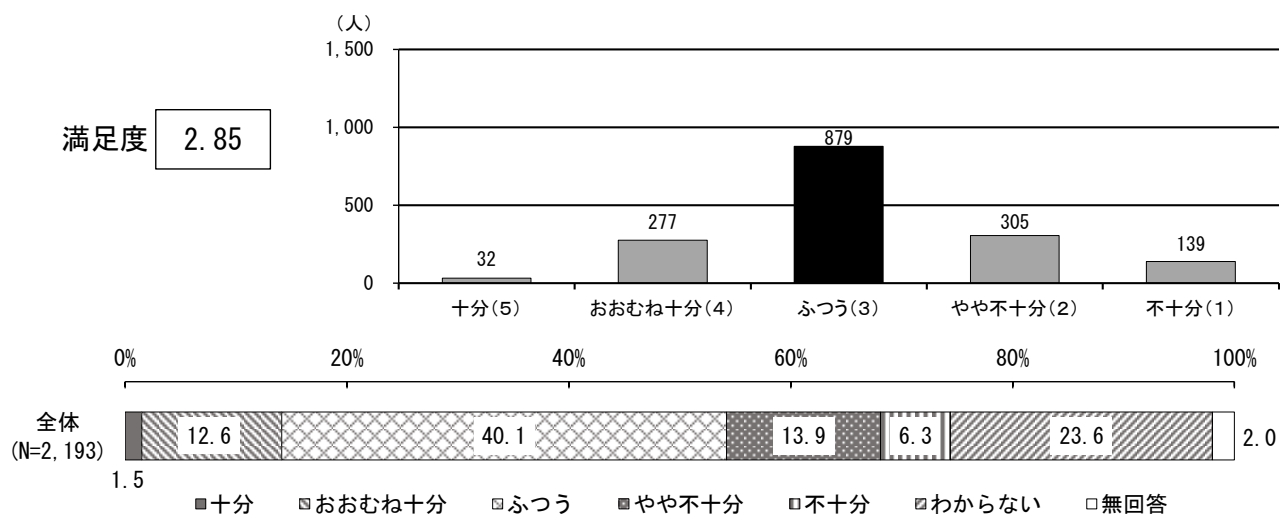
(b) 回答の理由

- 将来を決める段階の学生に対し、もっと秋田の魅力を伝える必要があると思う。(不十分／女性／40歳代／秋田地域)
- ふるさとを愛する心が育まれても、活躍する場所がないと離れざるを得ないのは、残念としか言えない。(ふつう／女性／40歳代／鹿角地域)
- この多様性の社会で、あまり故郷を美化、讃美するのはいかがかと思う。大切にしたい、魅力ある秋田を創るよう心がけてほしい。(ふつう／男性／70歳以上／秋田地域)

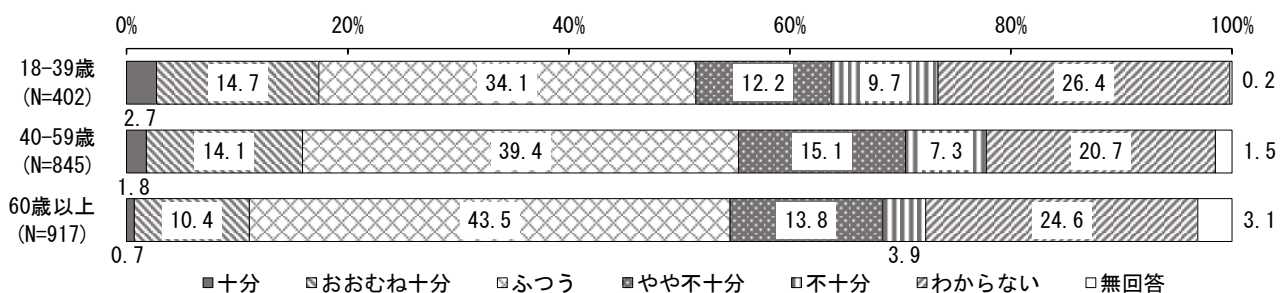
イ 確かな学力の育成

問 1-25 学校教育を通じて、ＩＣＴを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



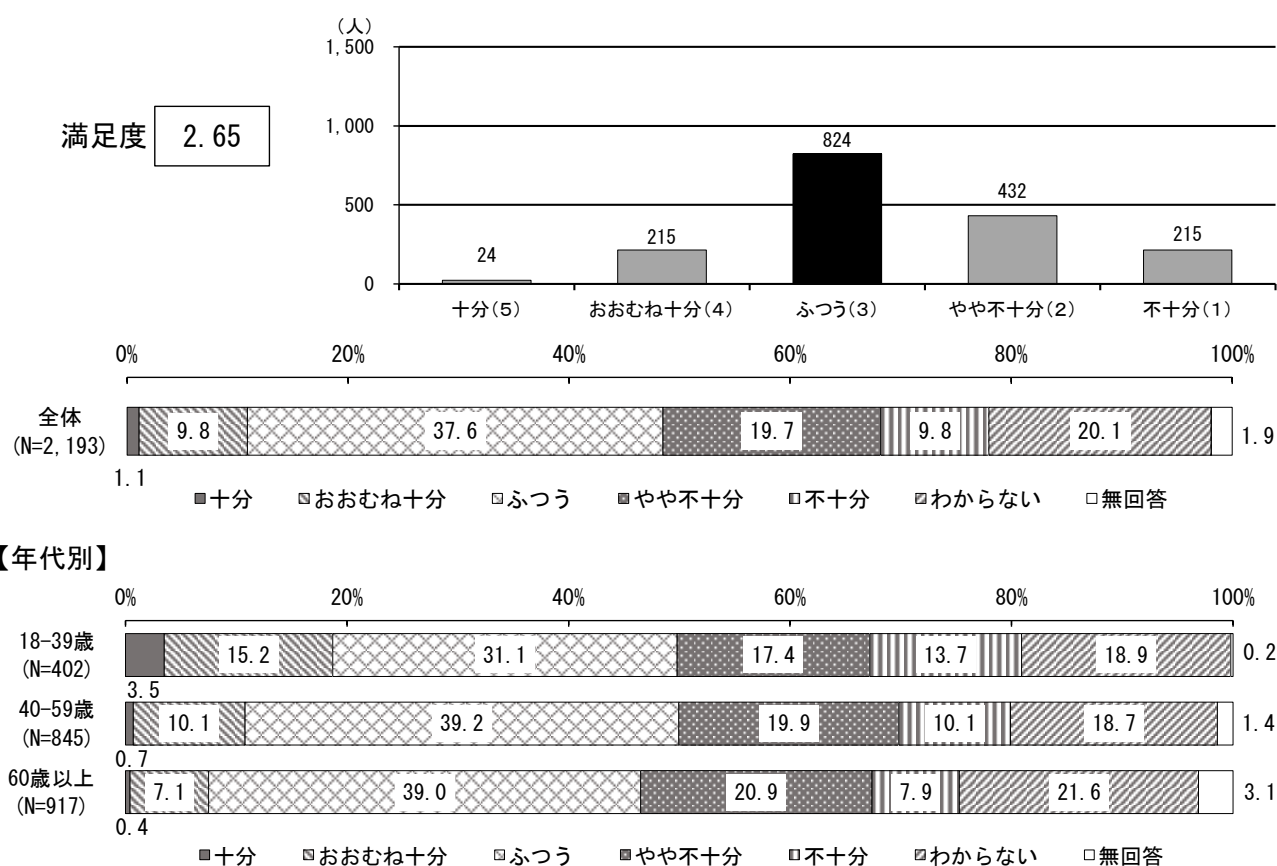
(b) 回答の理由

- ・ 小学校低学年から、ＩＣＴに関して教育できる環境を構築してほしい。(不十分／男性／40歳代／秋田地域)
- ・ ＩＣＴの部分と今までの教育の良さを継続する。バランスが大事で、ＩＣＴだけが大事ではないと思う。(やや不十分／女性／60歳代／平鹿地域)
- ・ タブレットの個人所有などで、ＩＣＴ活用は進んでいるし、使いこなせる子どもが増えていくが、それが「自ら考える主体性のある子どもを育てる」ことに直結するかは疑問である。(ふつう／女性／50歳代／秋田地域)

ウ グローバル社会で活躍できる人材の育成

問 1-26 学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。

(a) 満足度の状況



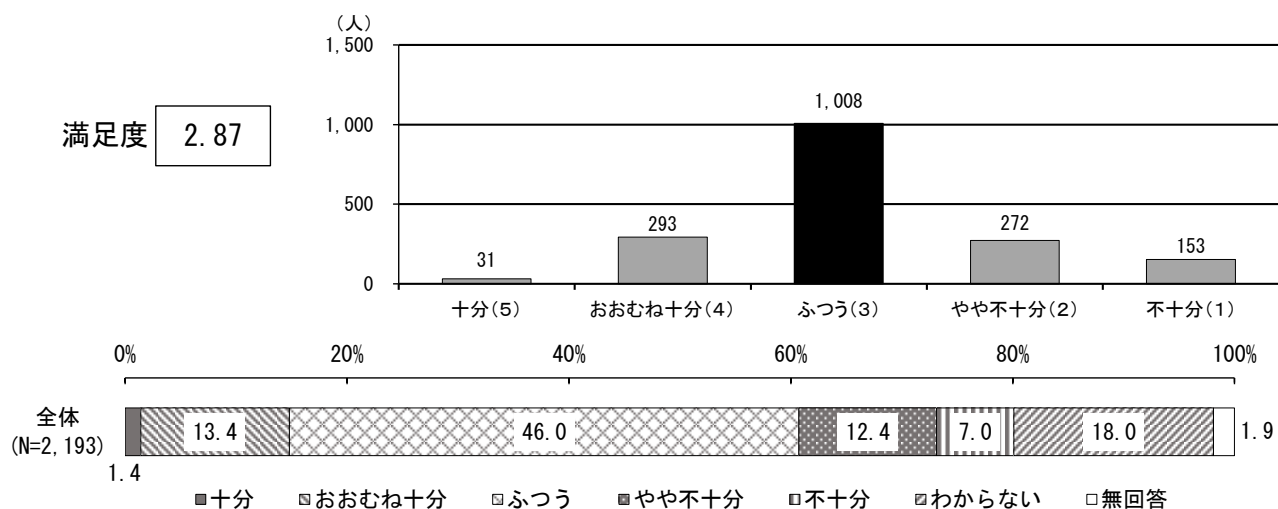
(b) 回答の理由

- 英語は後から学習できるし、翻訳手段も充実しているが、文化への理解と共存への歩み寄り、教育の果たす役割が大きいと思う。(不十分／男性／20歳代／平鹿地域)
- 外国人を英語で案内する行事があるなど、十分に英語コミュニケーション能力が備わっていると思う。(おおむね十分／女性／50歳代／仙北地域)
- 小学校から英語の授業を行っていることを高く評価している。(おおむね十分／男性／60歳代／秋田地域)

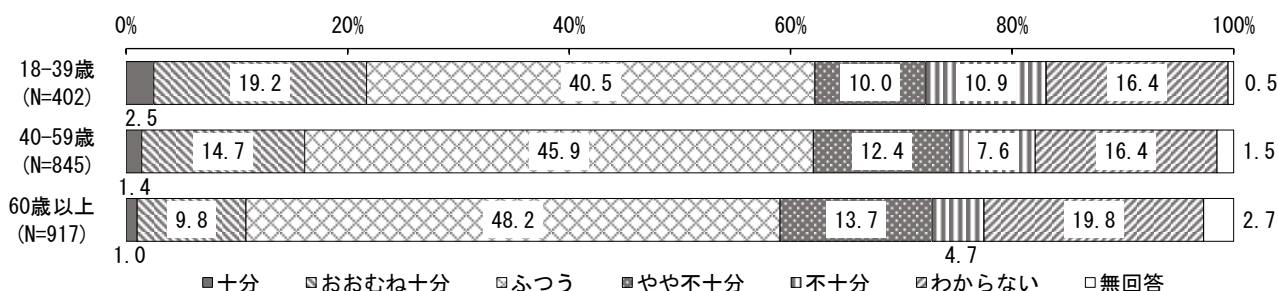
エ 豊かな心と健やかな体の育成

問 1-27 学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



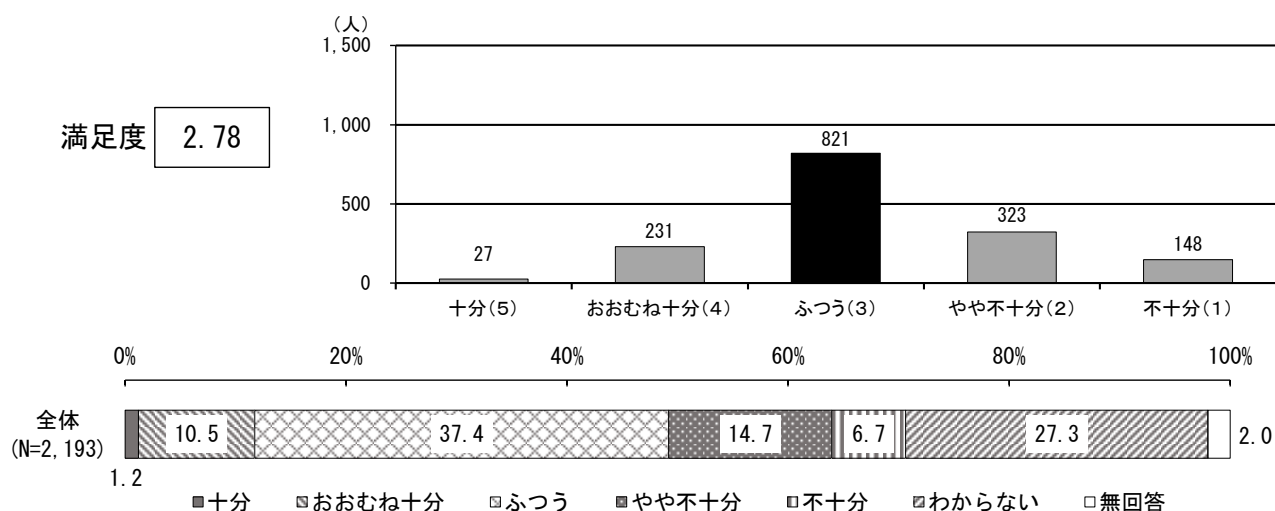
(b) 回答の理由

- 最近は車移動が増え、屋外で身体を動かす機会が減っていると思う。体力づくりの取組が特に必要ではないか。(やや不十分／女性／30歳代／秋田地域)
- たくさんの人と触れ合うことで自分を磨き、形成させてほしい。とにかく人と触れ合うこと、部活であれ、ボランティアであれ、地域との交流もどんどんしてほしい。(ふつう／女性／30歳代／北秋田地域)
- 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合の低下は、将来が非常に心配である。(ふつう／男性／70歳以上／秋田地域)

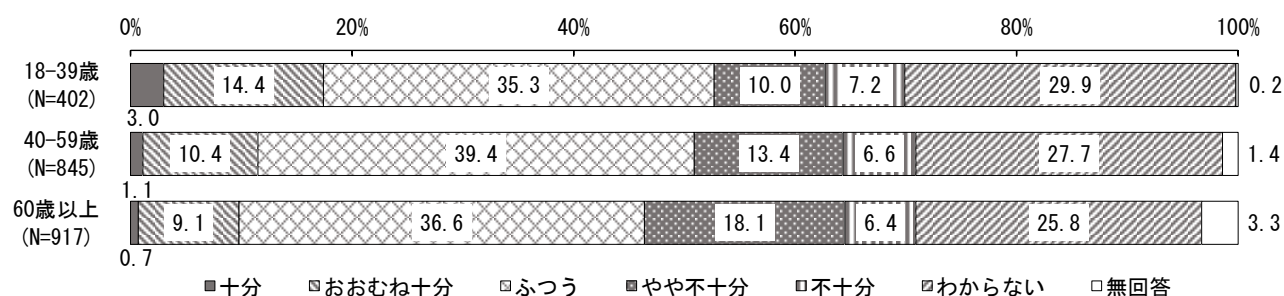
オ 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

問 1-28 県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



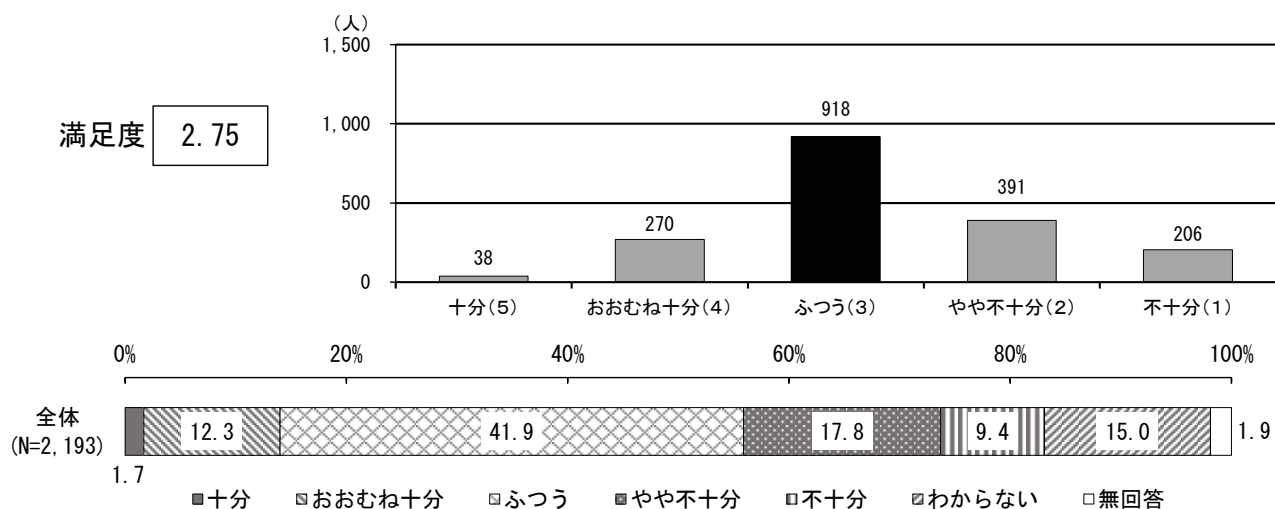
(b) 回答の理由

- 将来を見据えた研究については、継続して県もしくは国が支えてほしい。(やや不十分／男性／60歳代／秋田地域)
- 大学と地域社会や産業とのマッチングを手助けする場やコーディネーターがない。(ふつう／男性／70歳以上／秋田地域)
- 県内企業とのコラボなどで学生の活躍を目にすることが多く、良いと思う。(おおむね十分／女性／40歳代／雄勝地域)

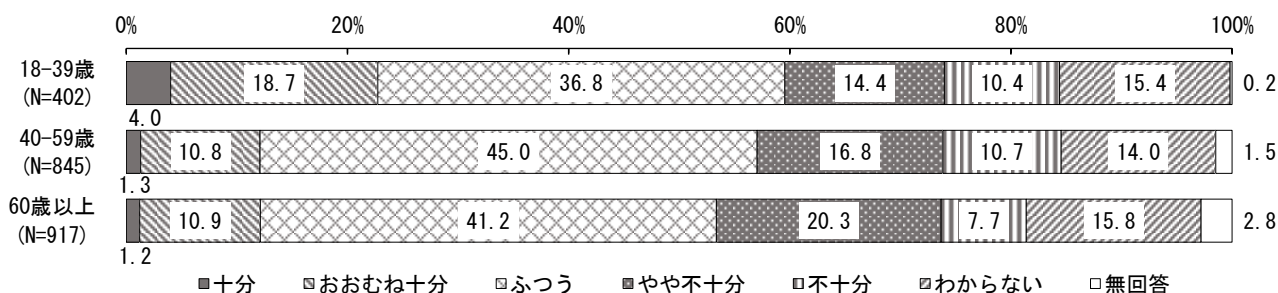
カ 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

問 1-29 県民がライフステージや生活スタイルに応じて、生涯にわたり学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。

(a) 満足度の状況



【年代別】



(b) 回答の理由

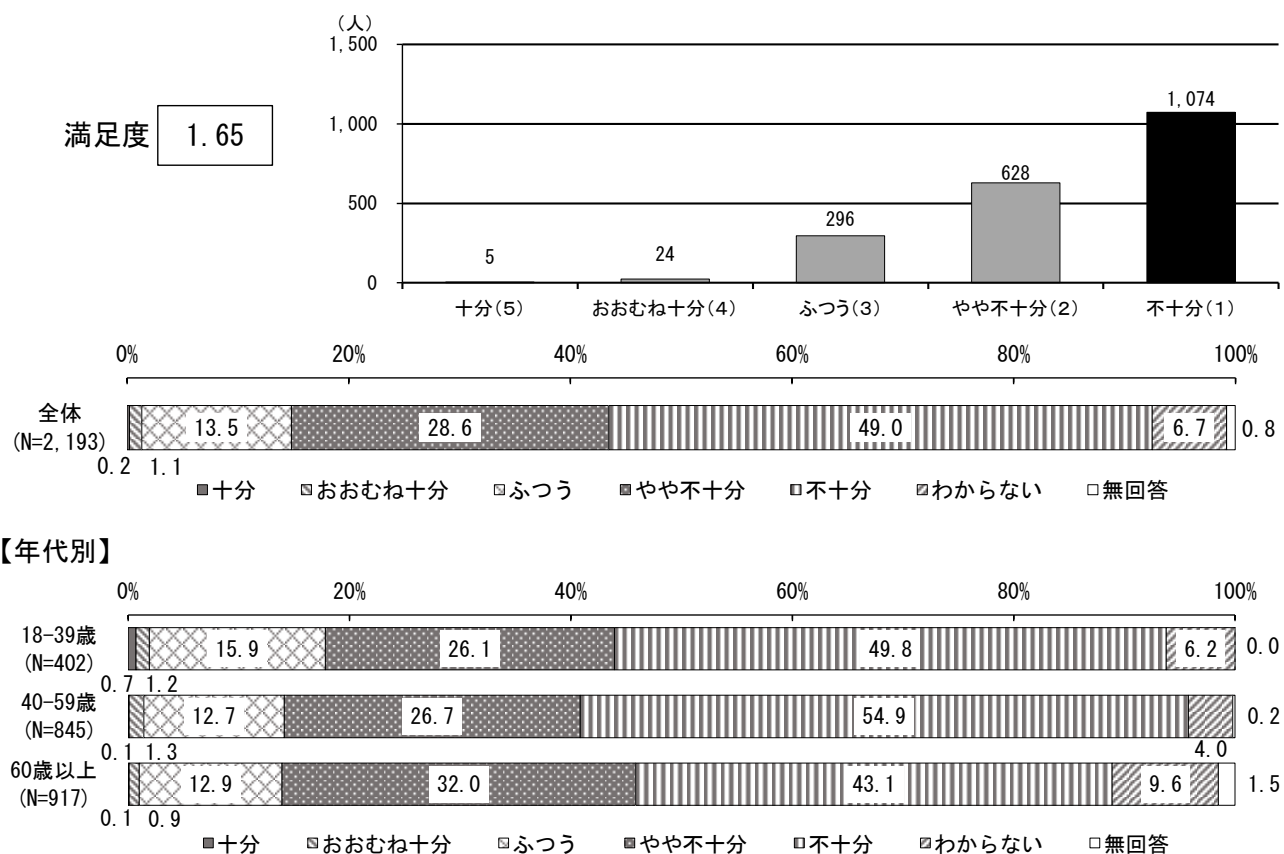
- 地域によっては触れる機会が少ない。(やや不十分/女性/40歳代/北秋田地域)
- 提供されているが、興味関心を持つ県民が少ない気がする。ただし、TVやラジオで紹介されると一気に興味を持ち出すので、それを利用したら良いと思う。(ふつう/女性/40歳代/秋田地域)
- 読書キャンペーンやブックレビューキャンペーンに参加したことがあるので、もっと多くのイベントを行ってほしい。(おおむね十分/男性/40歳代/秋田地域)

(7) 選択・集中プロジェクトなどの重点施策について

ア 賃金水準の向上

問 2-1 県内の「賃金水準が向上」している。

(a) 満足度の状況

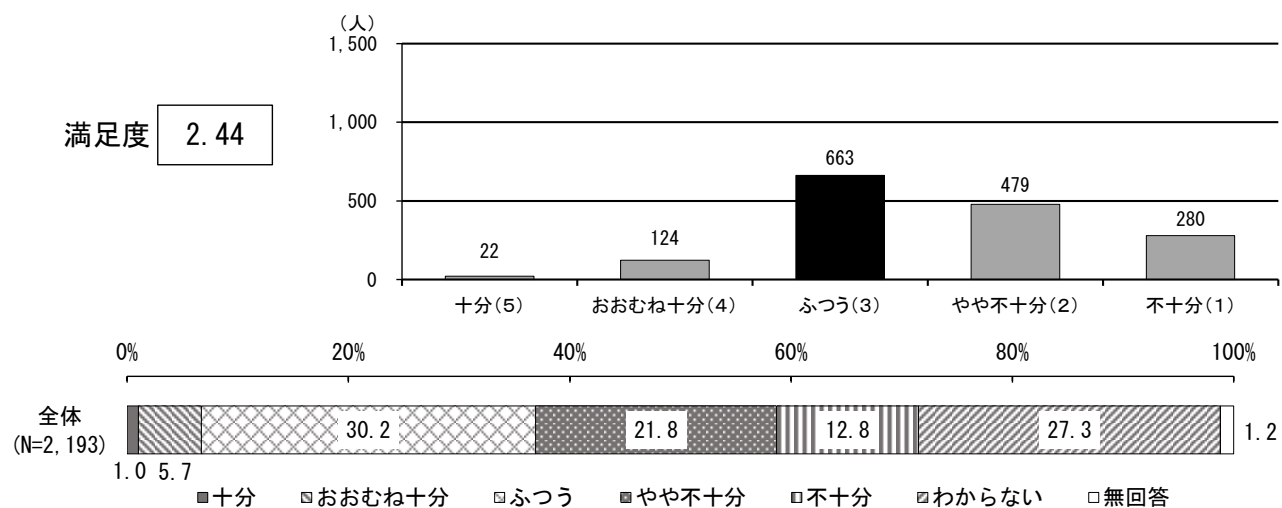


イ カーボンニュートラルへの挑戦

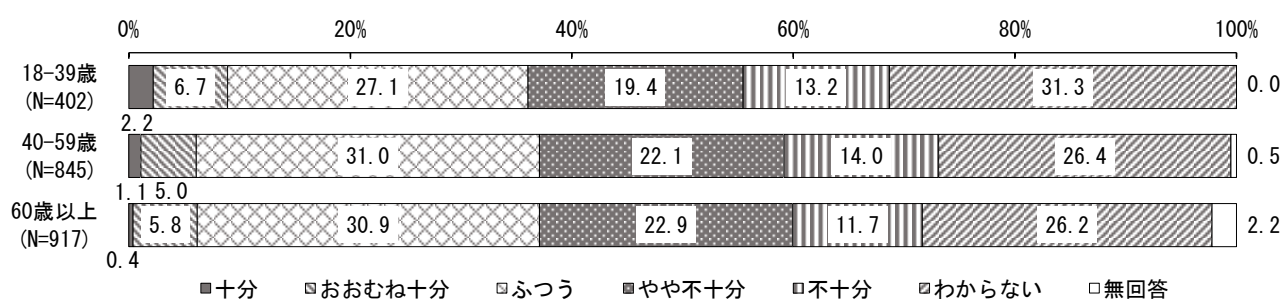
問 2-2 「カーボンニュートラル（※）」の実現に向けた取組が進んでいる。

※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を減らし、「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

（ア）満足度の状況



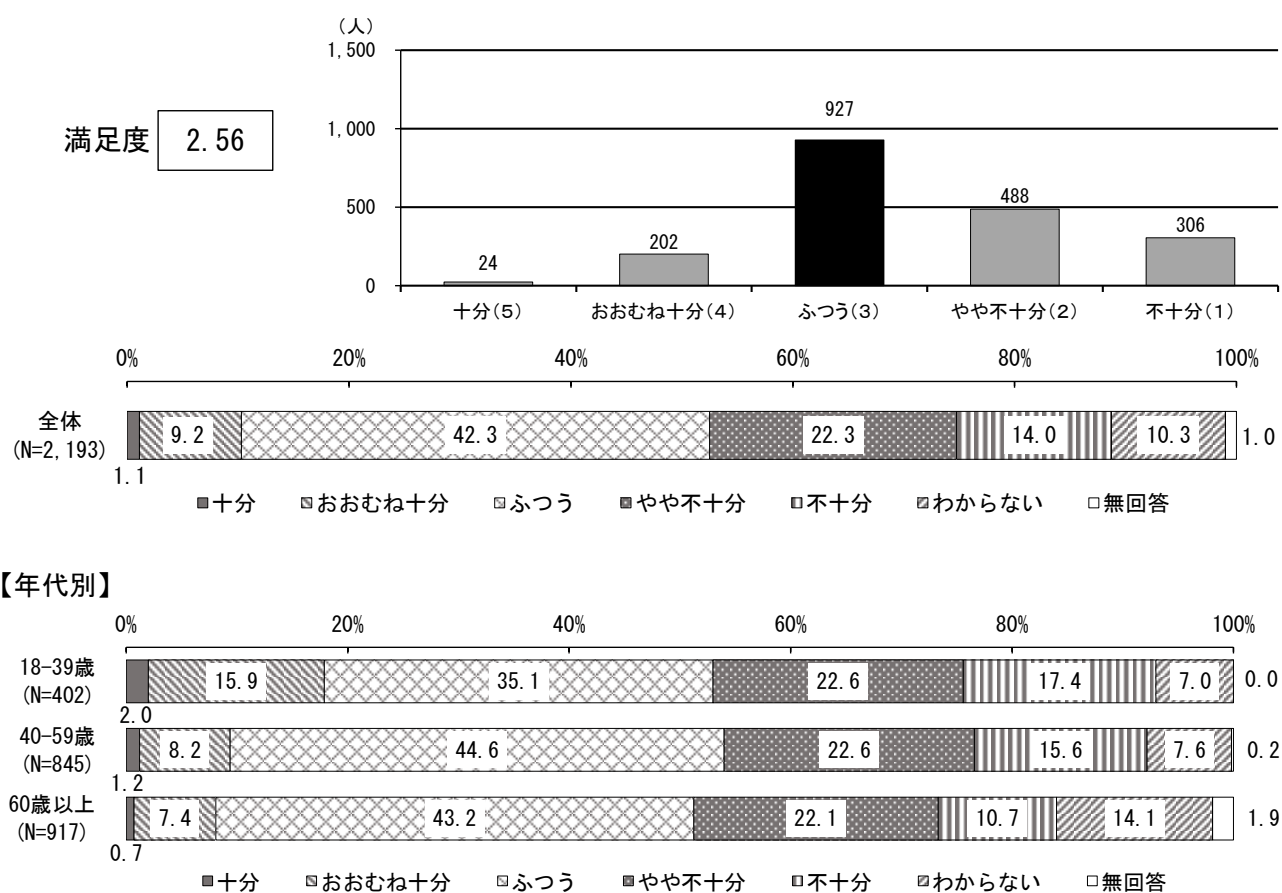
【年代別】



ウ デジタル化の推進

問 2-3 県民生活の様々な場面において、「デジタル化」が進んでいる。

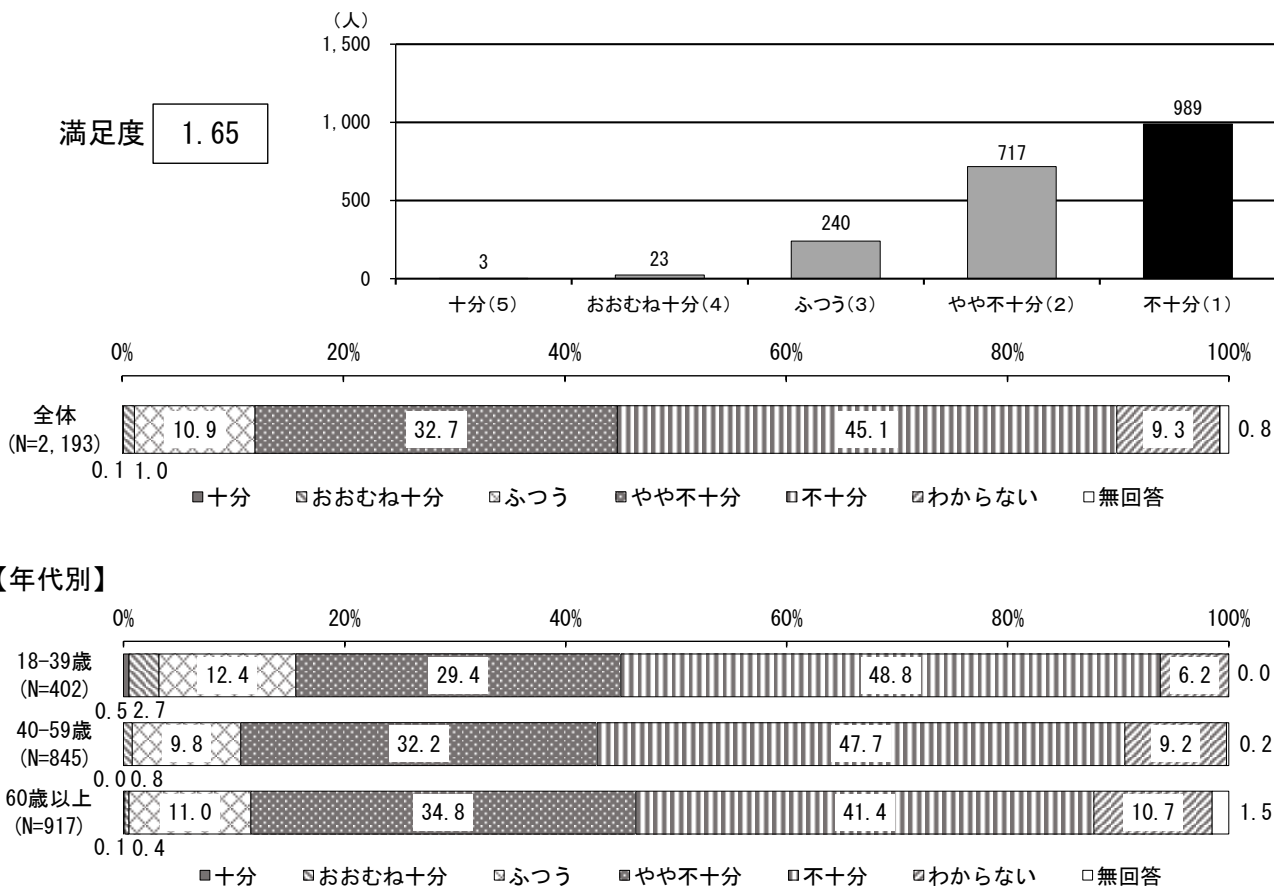
(a) 満足度の状況



エ 若者・女性の県内定着・回帰

問 2-4 「若者・女性の県内定着・回帰」が進んでいる。

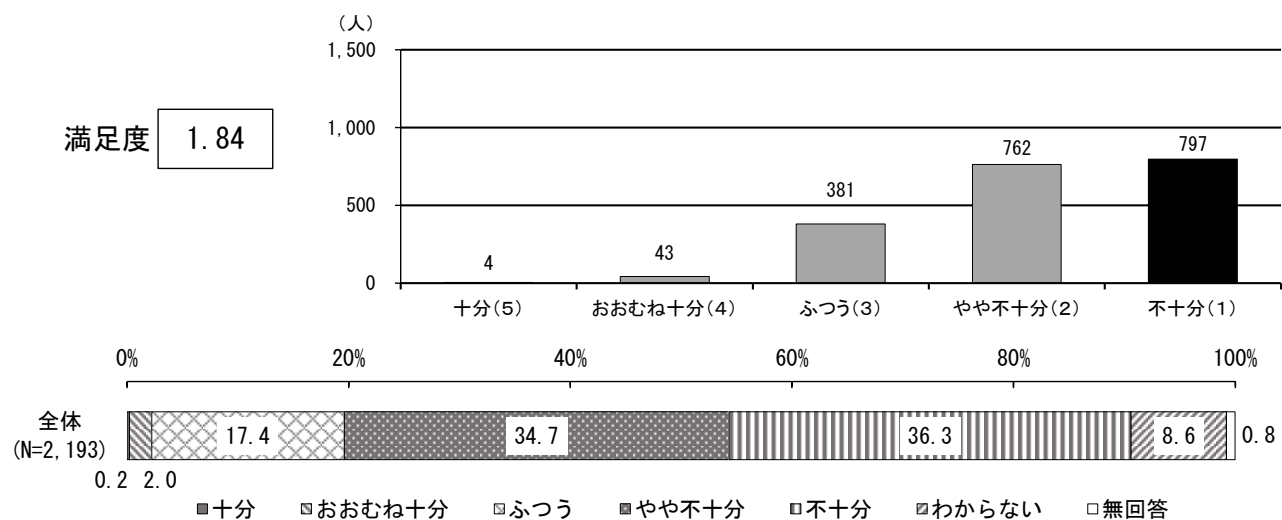
(a) 満足度の状況



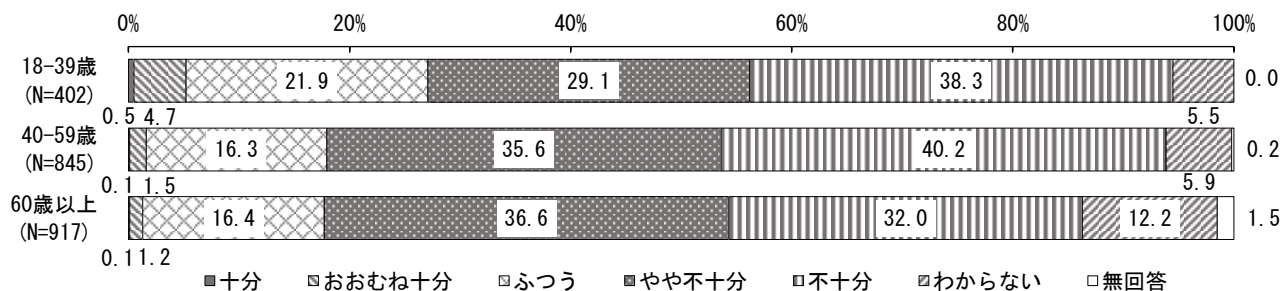
オ 魅力的な働く場の確保

問 2-5 「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。

(a) 満足度の状況



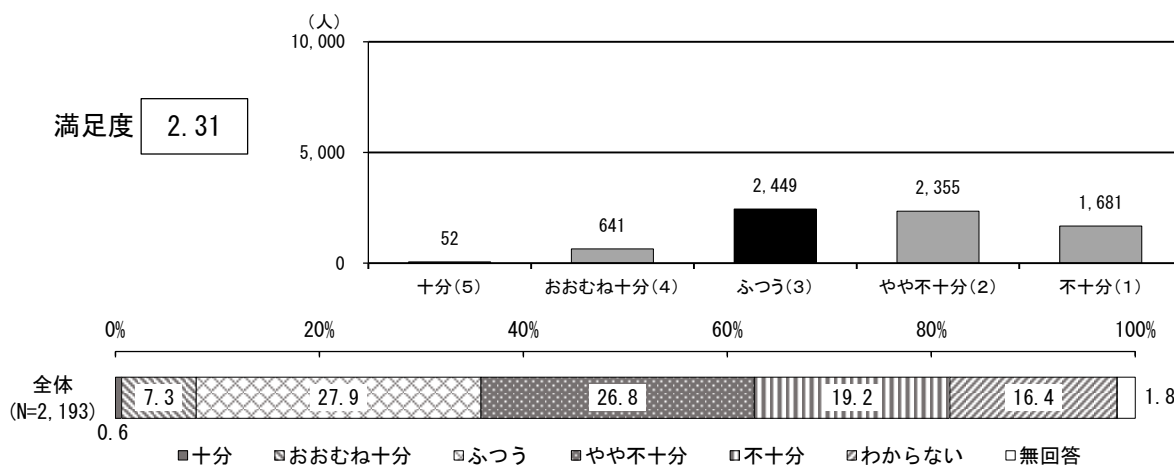
【年代別】



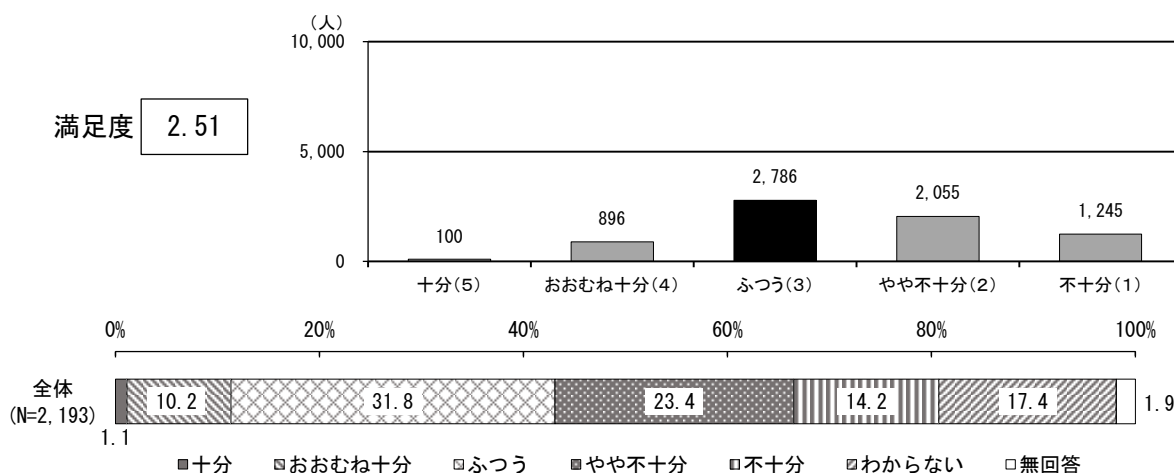
2 (参考) 各戦略の施策に関連する項目についての満足度の平均値

「1 各戦略の施策に関連する項目についての満足度」について、戦略毎に平均値を計算した結果は次のとおりである。

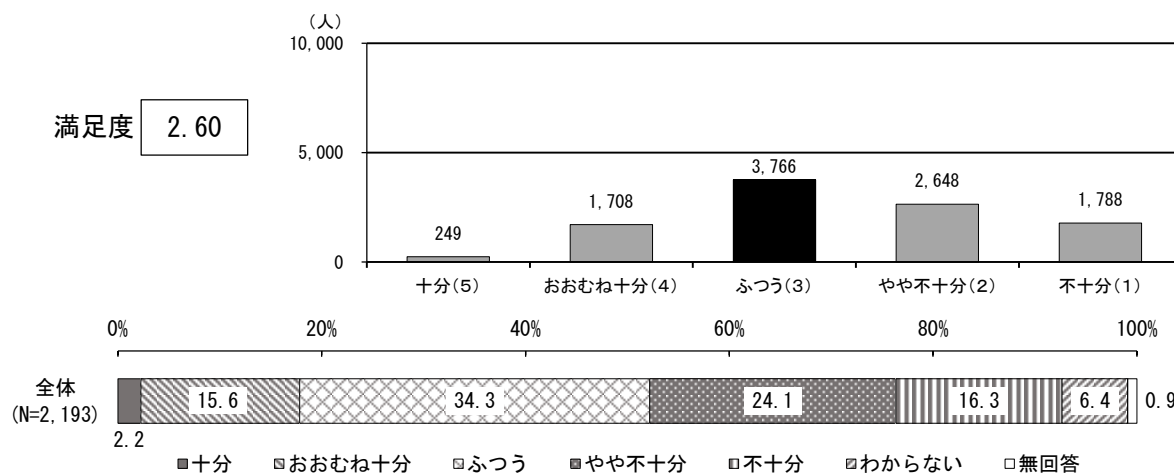
戦略1 産業・雇用戦略（問1-1～問1-4）



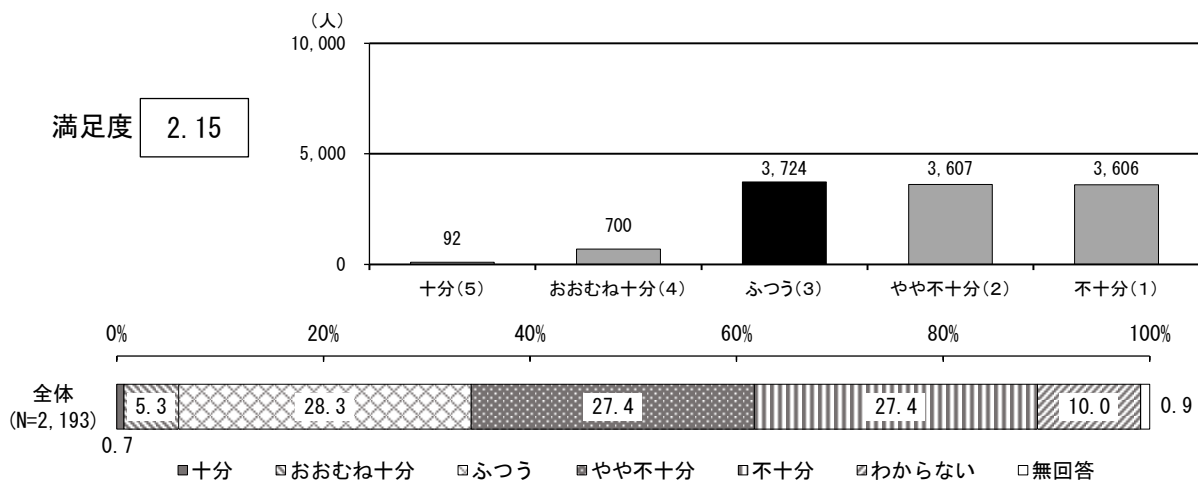
戦略2 農林水産戦略（問1-5～問1-8）



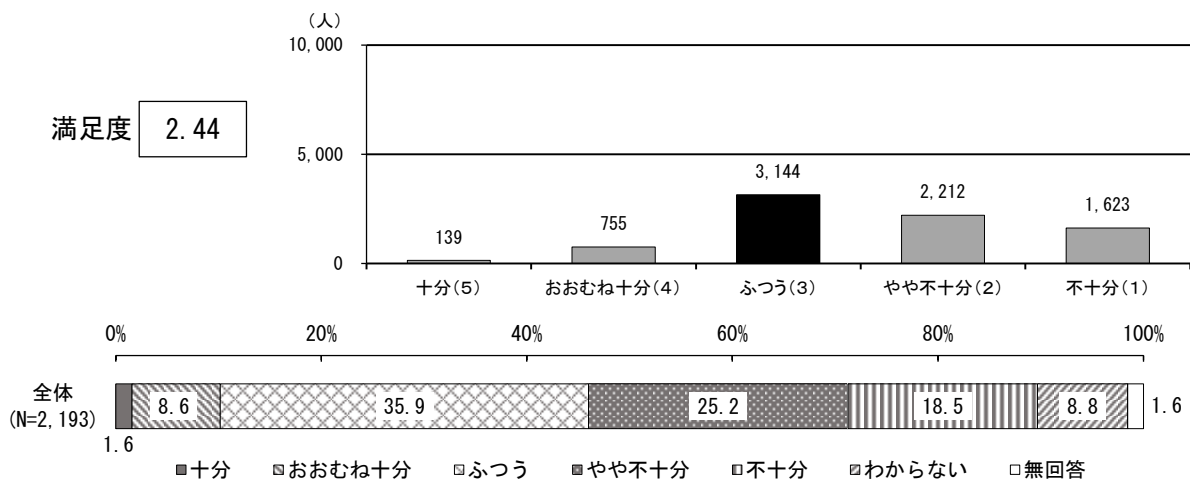
戦略3 観光・交流戦略（問1-9～問1-13）



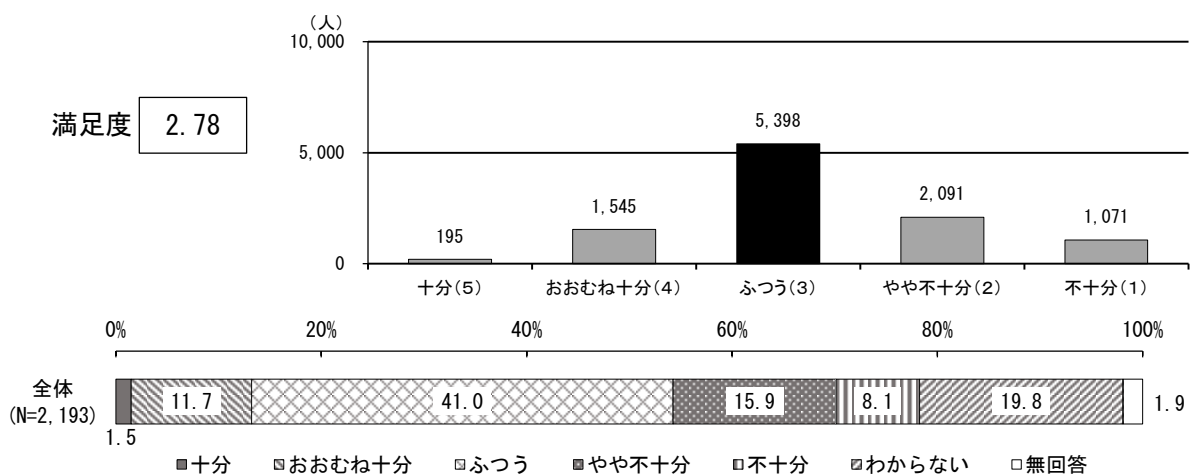
戦略4 未来創造・地域社会戦略（問1-14～問1-19）



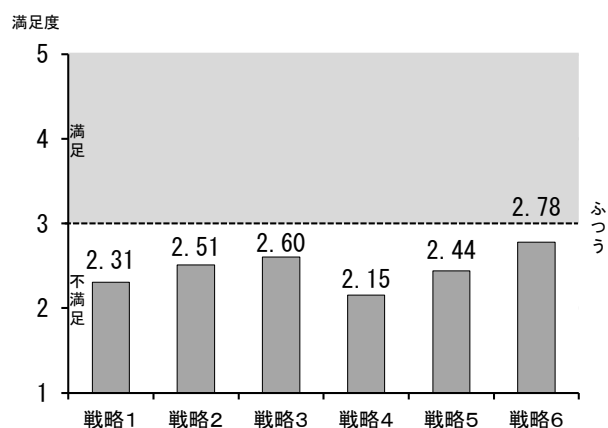
戦略5 健康・医療・福祉戦略（問1-20～問1-23）



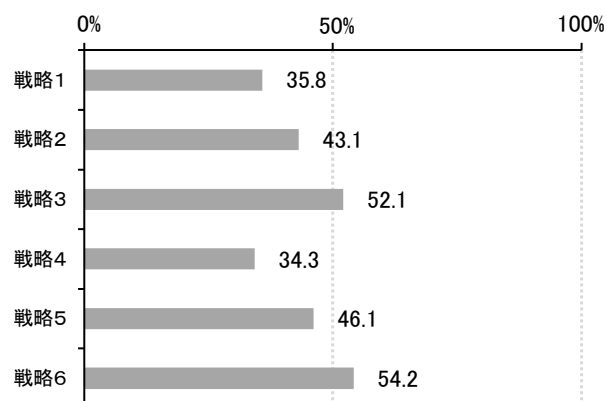
戦略6 教育・人づくり戦略（問1-24～問1-29）



〔満足度の平均〕



〔不満を感じていない人の割合の平均値〕



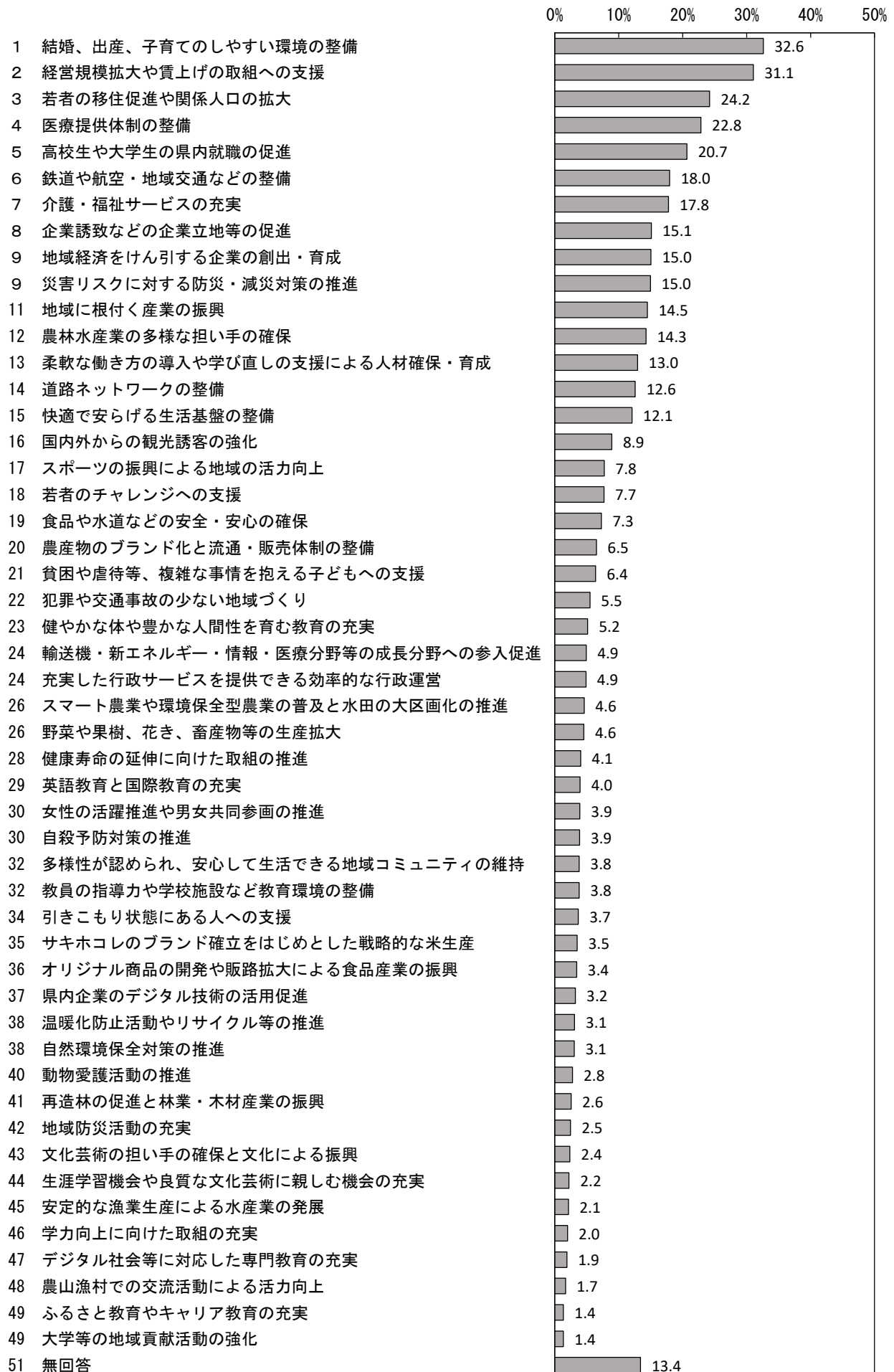
※「満足度の平均」「不満を感じていない人の割合の平均値」とも、戦略を構成する施策の回答結果の平均値であり、各戦略そのものの満足度、割合ではない。

第2章 県政の重要課題について

重要課題として県に力を入れてほしいこと（問3）

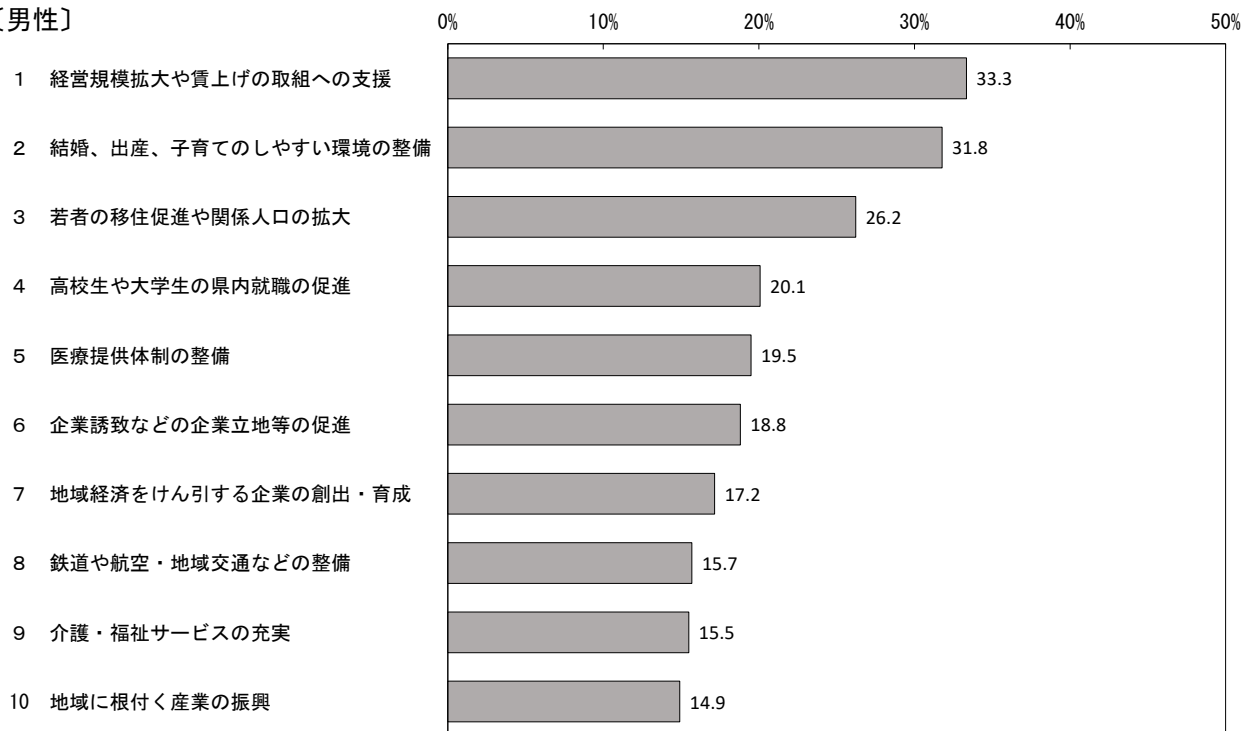
今後の県政を推進していく上で、あなたが重要課題として県に力を入れてほしいことは何ですか。5つまで選択して番号を記入してください。
--

【全体】

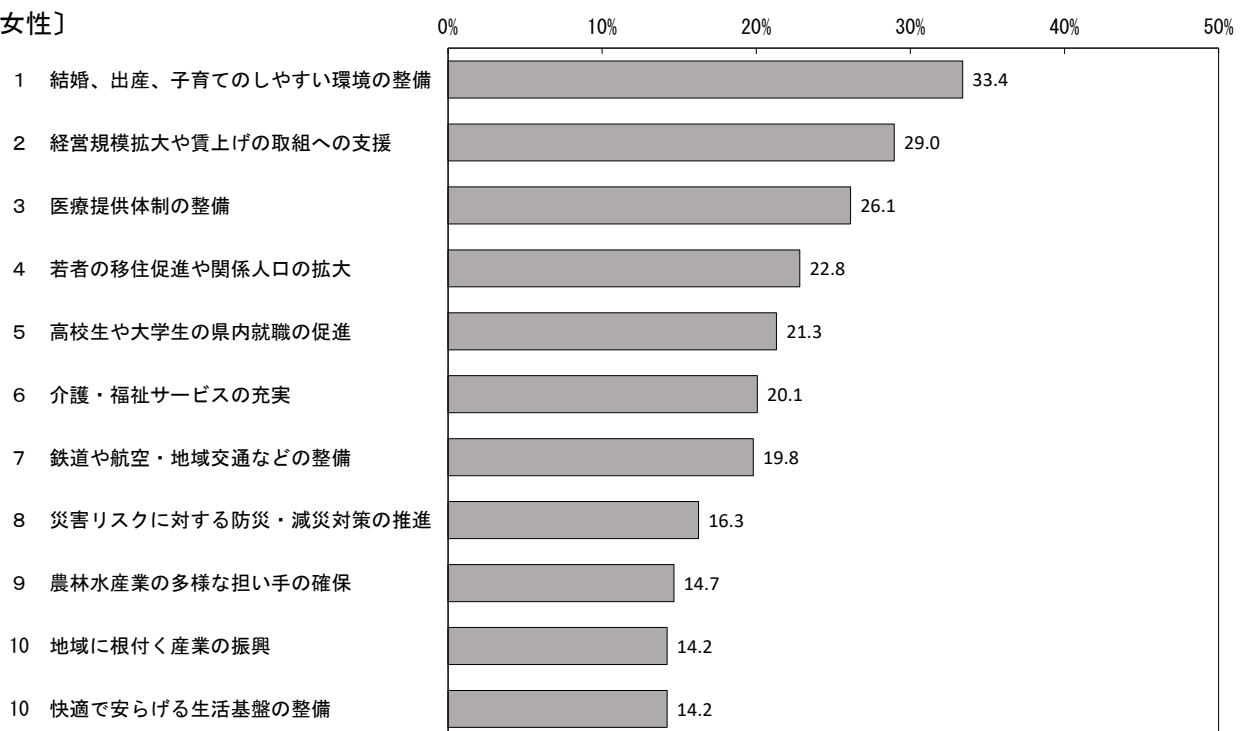


【性別】

〔男性〕

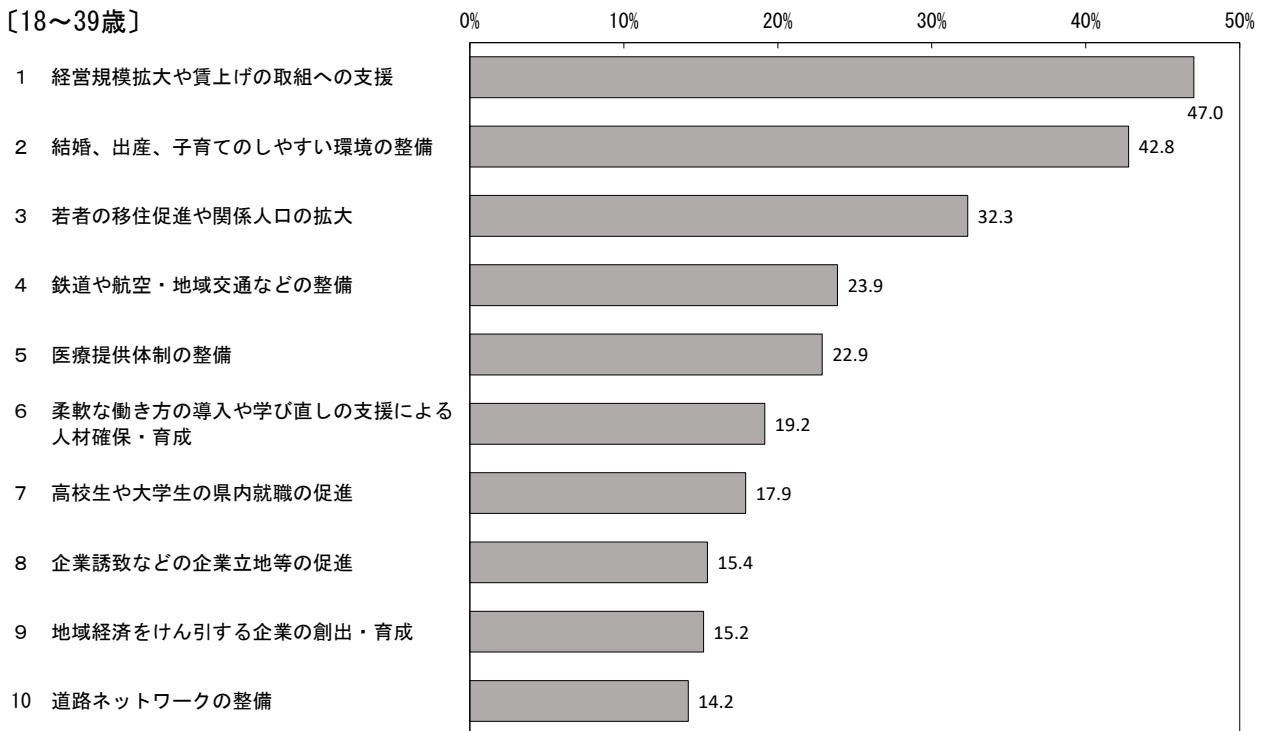


〔女性〕

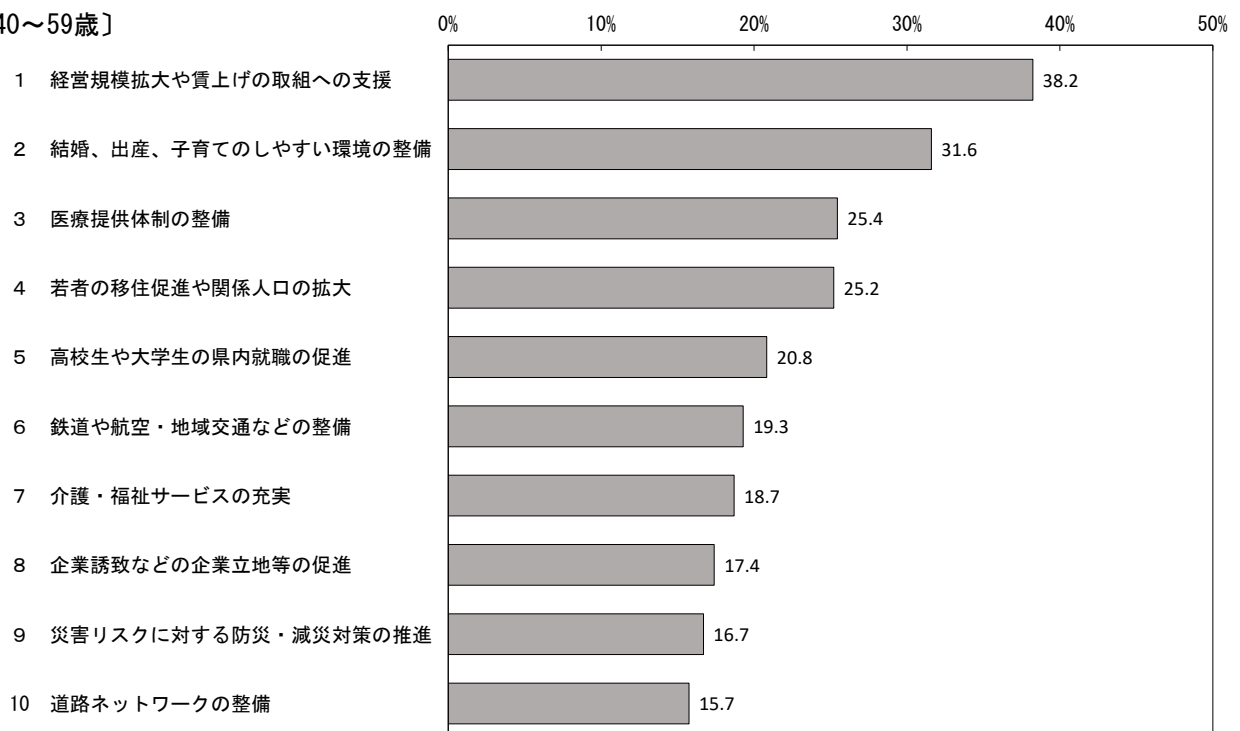


【年代別】

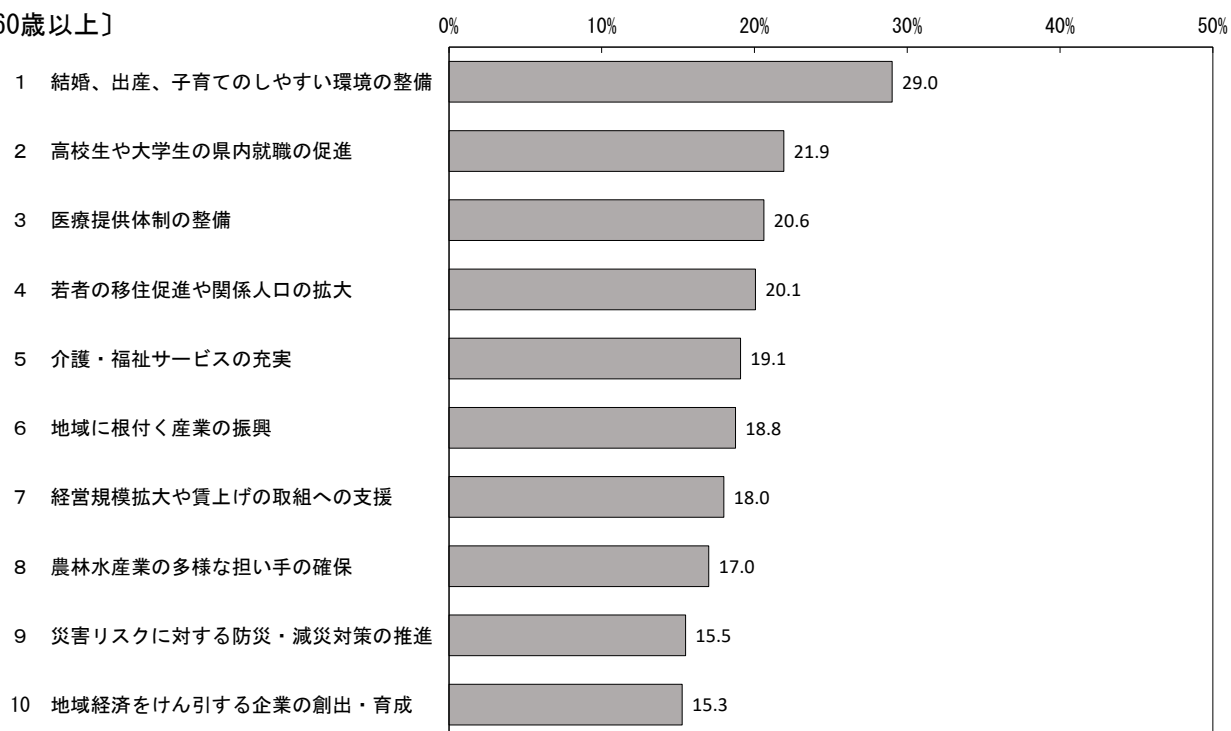
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕



第3章 県の特定課題について

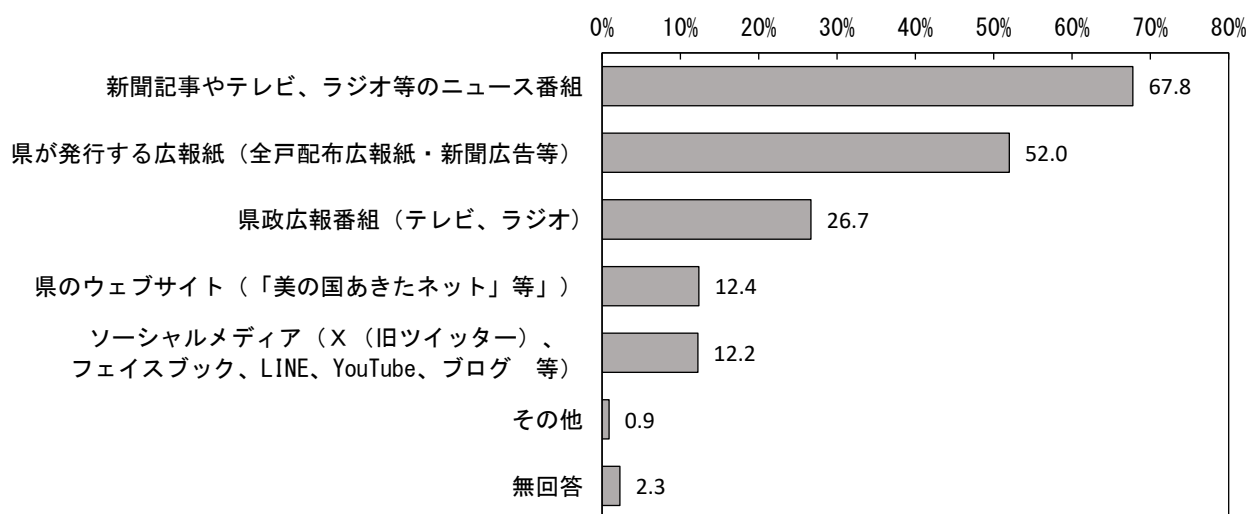
特定の課題に関する意識（問4）

1 県の広報活動について

（1）県が発信する情報の取得方法

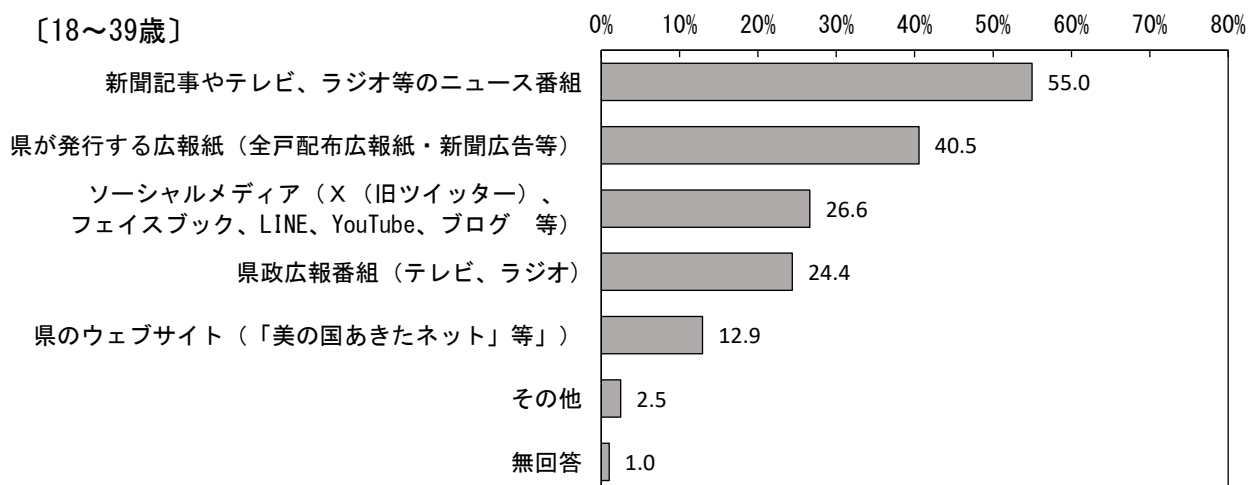
① あなたは、県の施策・事業等を何から知ることが多いですか（〇はいくつでも）。

【全体】

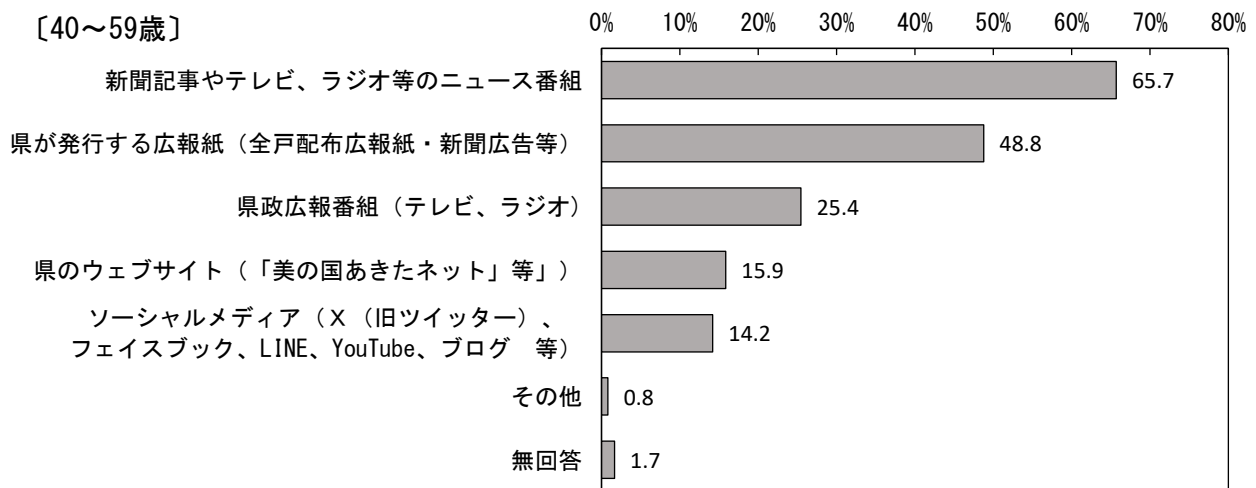


【年代別】

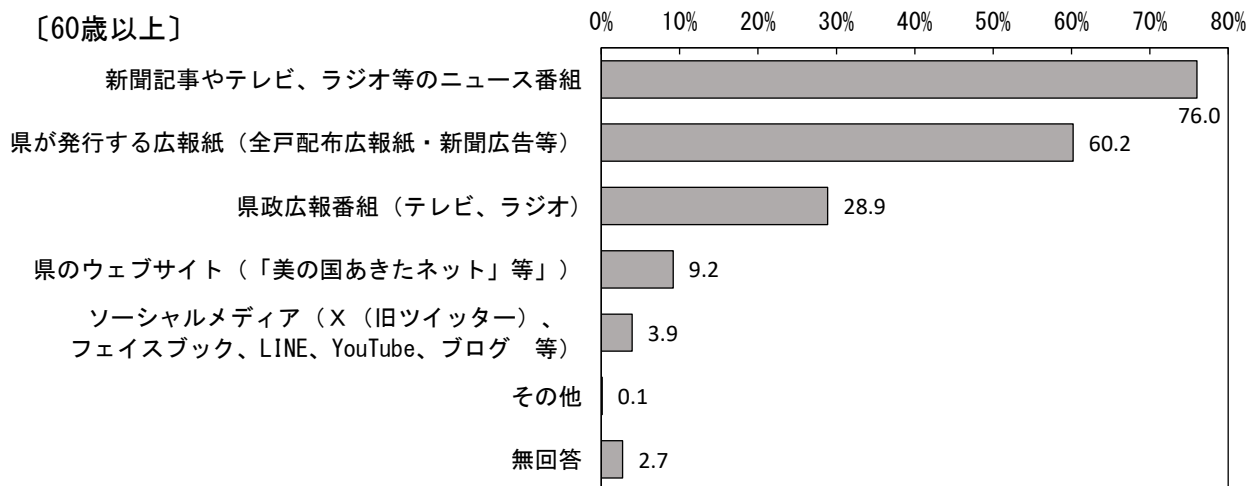
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



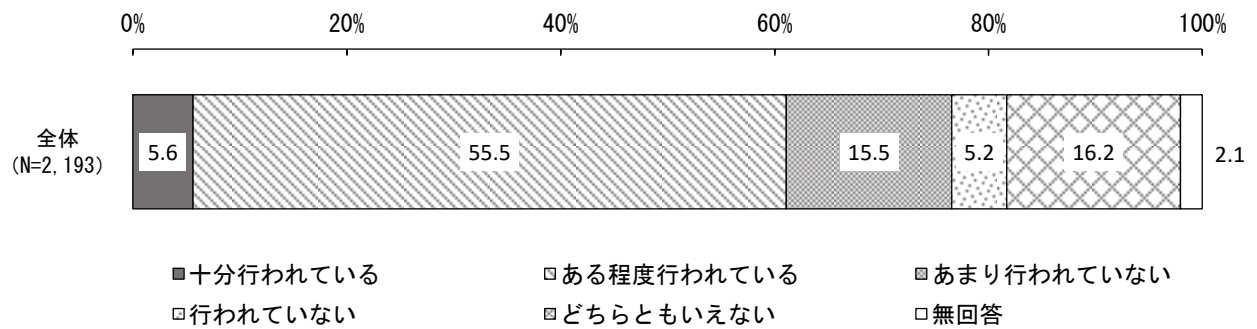
〔60歳以上〕



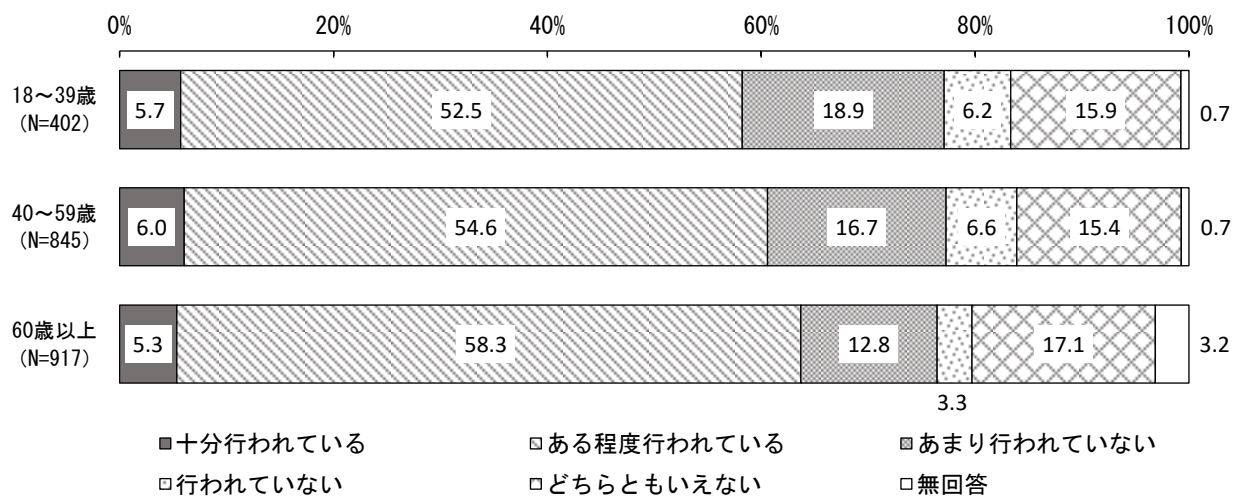
(2) 広報活動の現状評価

② あなたは、広報紙やウェブサイト、テレビ、ラジオ、ソーシャルメディア等による広報活動は十分に行われていると思いますか（○は1つ）。

【全体】



【年代別】



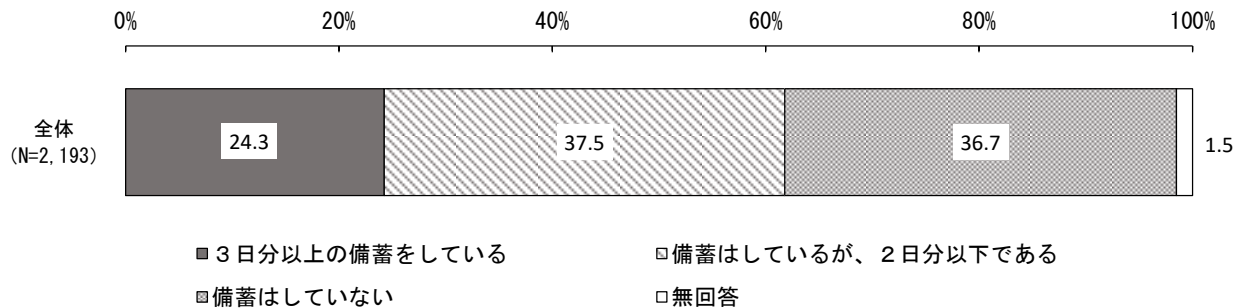
2 家庭での防災活動について

(1) 家庭での災害時に備えた備蓄状況

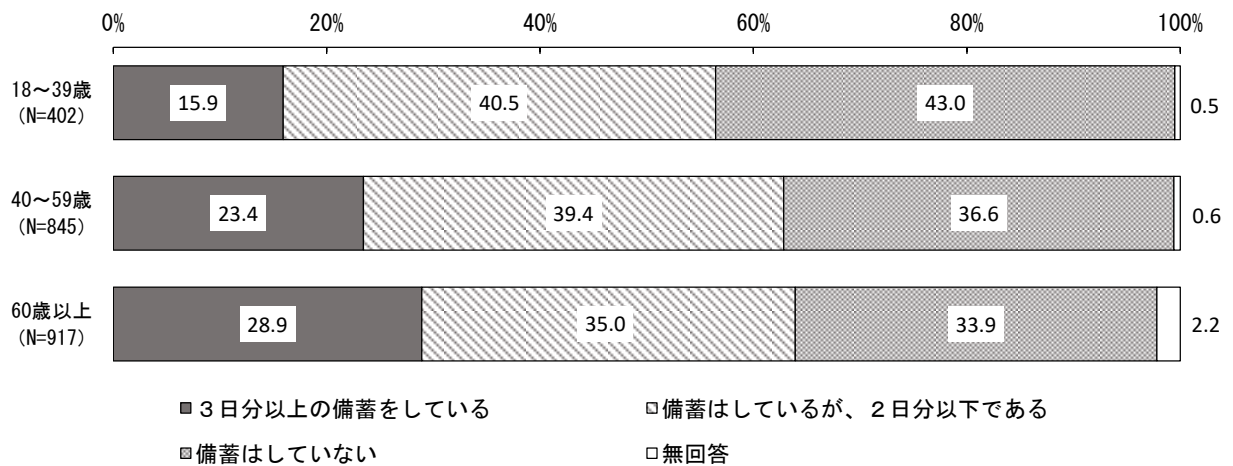
① あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄（※）（家庭人数×3日分）をしていますか（○は1つ）。

※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管している冷蔵庫内の食料品等や、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰なども含みます。

【全体】



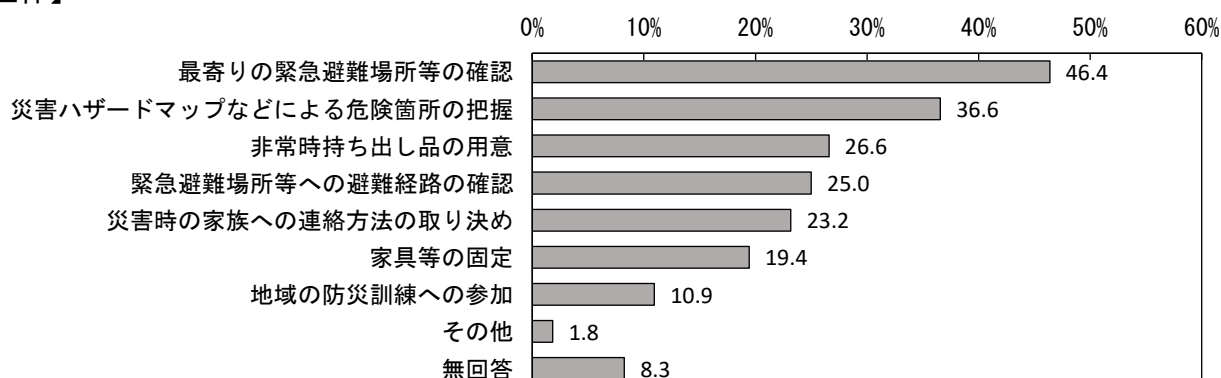
【年代別】



(2) 災害に備えた家庭での防災活動の状況

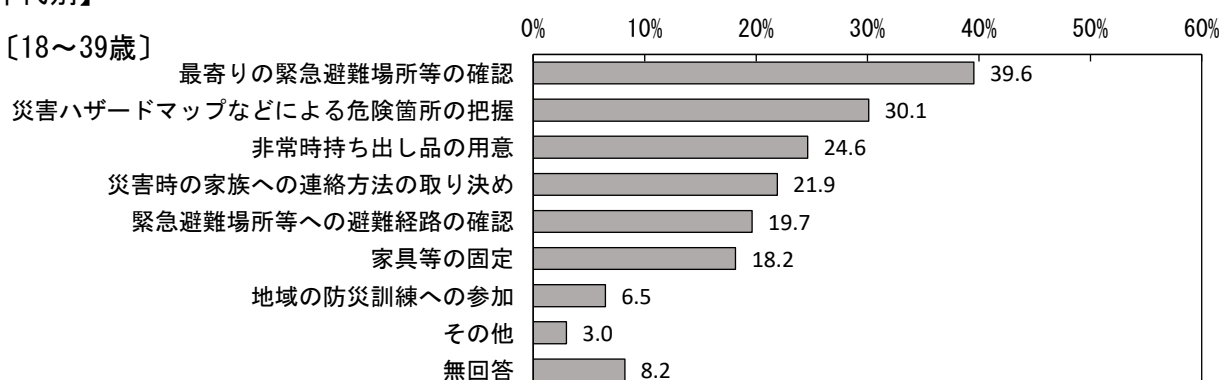
② あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか（〇はいくつでも）。

【全体】

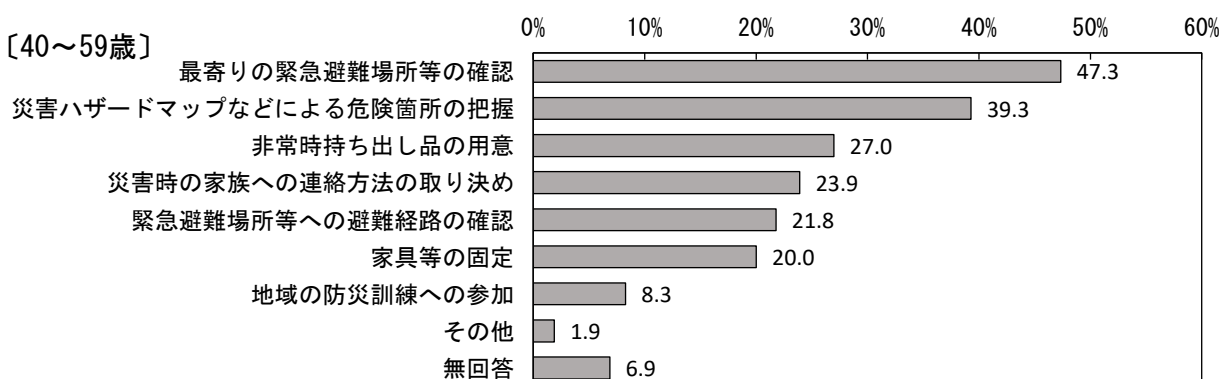


【年代別】

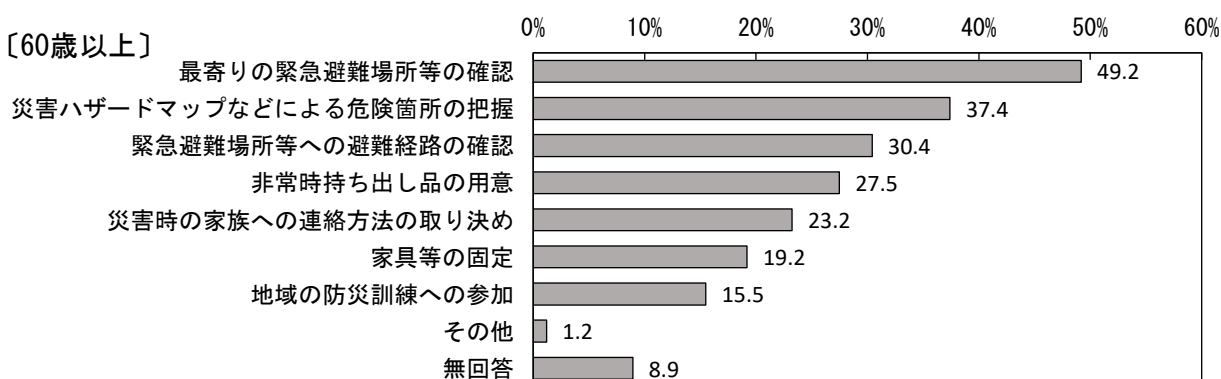
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕

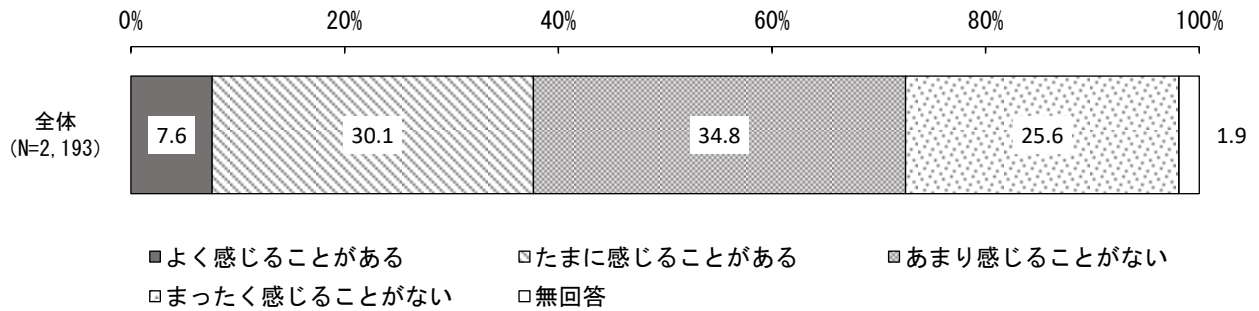


3 差別等について

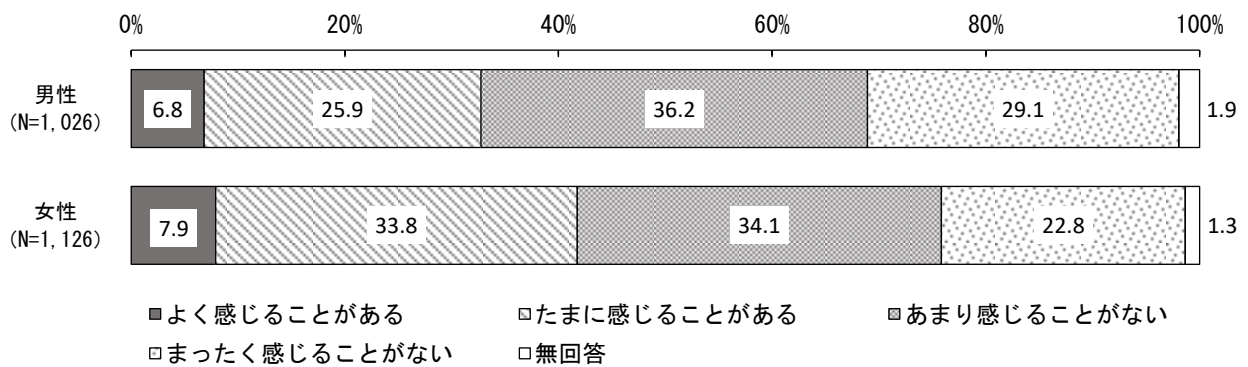
(1) 差別等を感じる機会の有無

① あなたは、ご自身や身の回りで差別等を感じることはありませんか（○は1つ）。

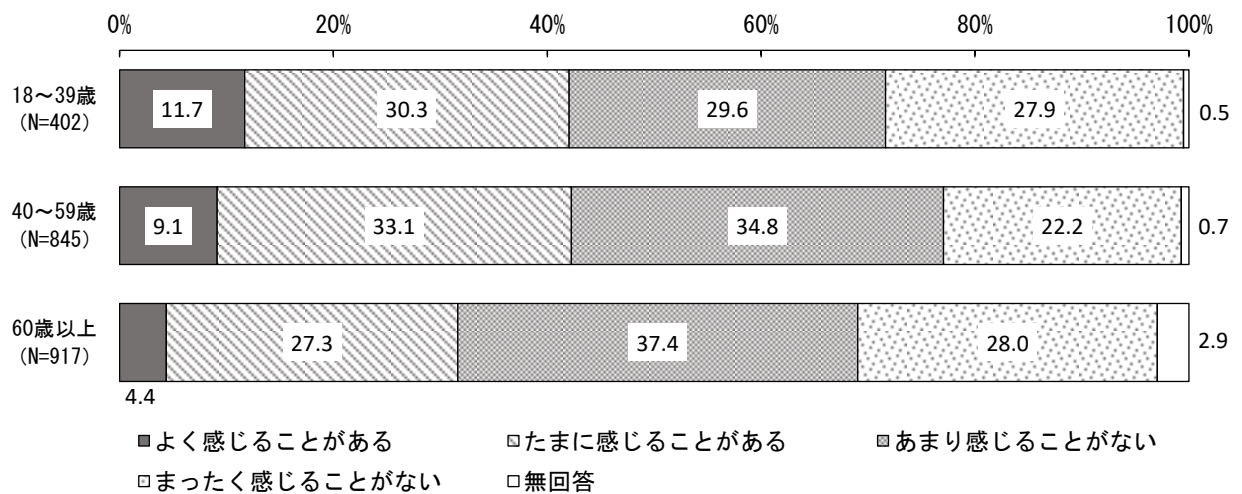
【全体】



【性別】



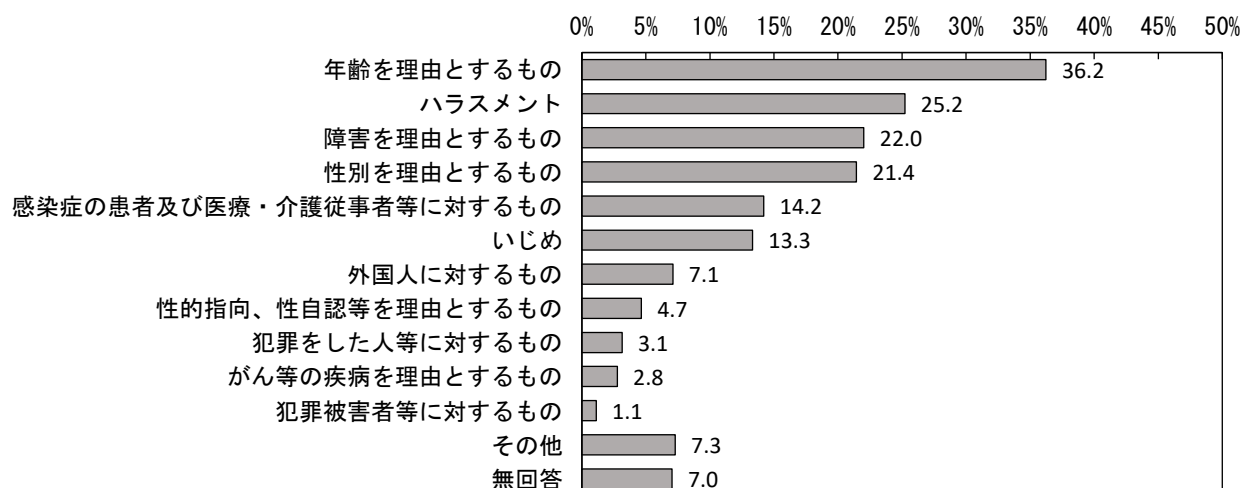
【年代別】



(2) 感じる差別等の種類

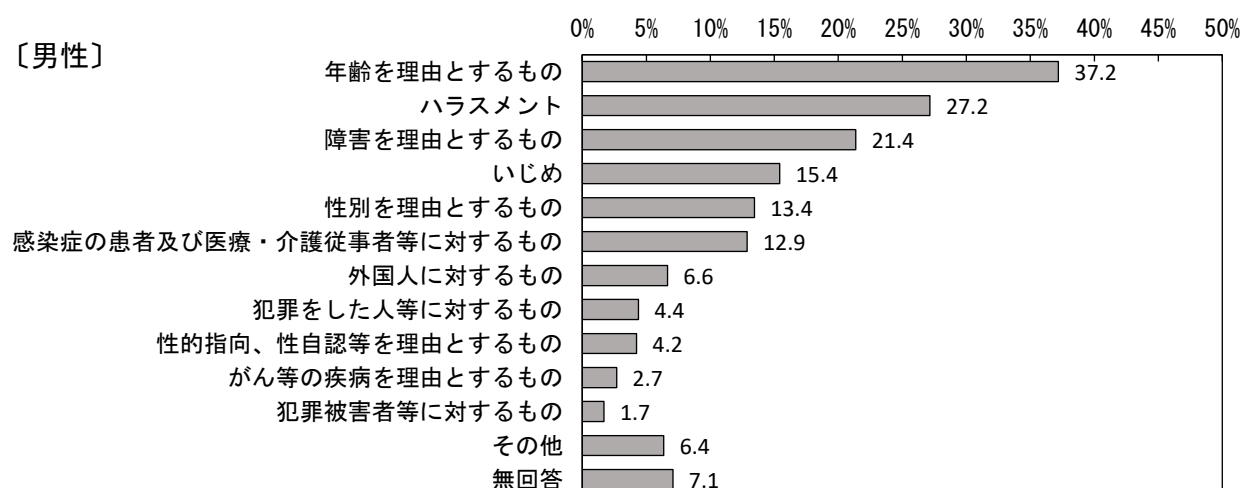
② ①で「1 よく感じることもある」、「2 たまに感じることもある」、「3 あまり感じることはない」を選んだ方にお聞きます。どのような差別等を感じることがありますか（〇はいくつでも）。

【全体】

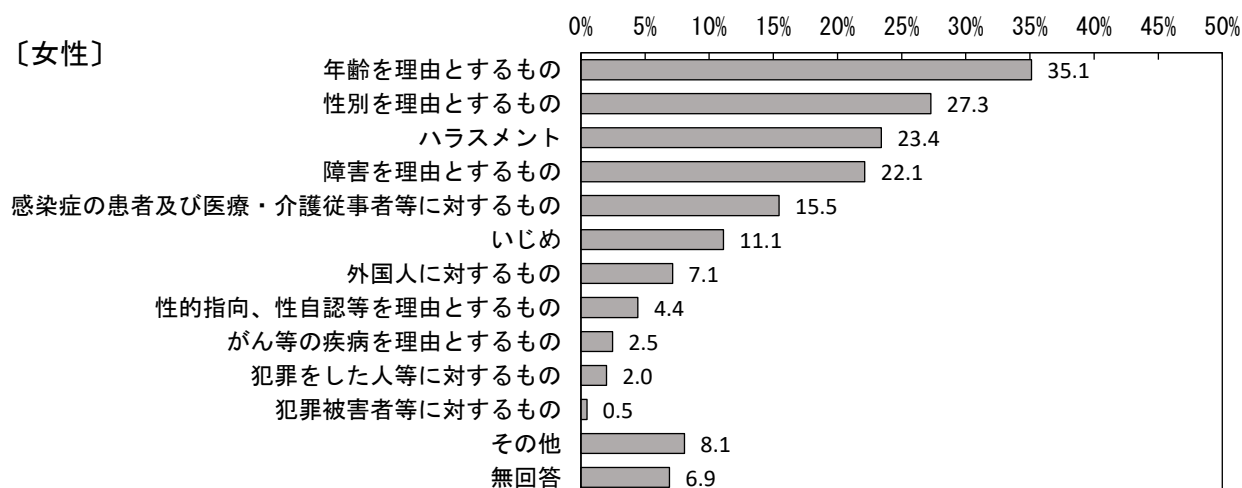


【性別】

〔男性〕

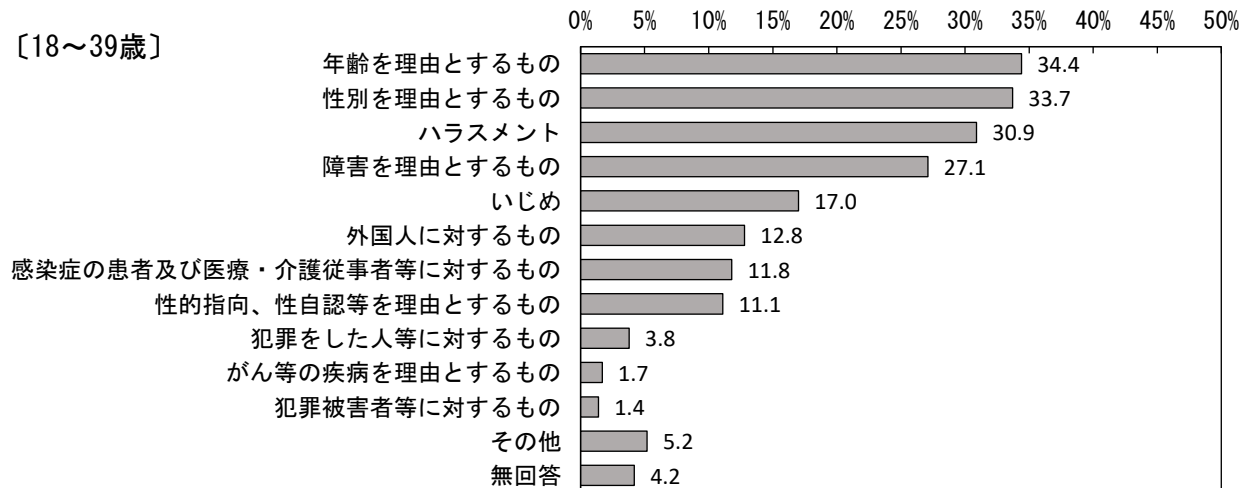


〔女性〕

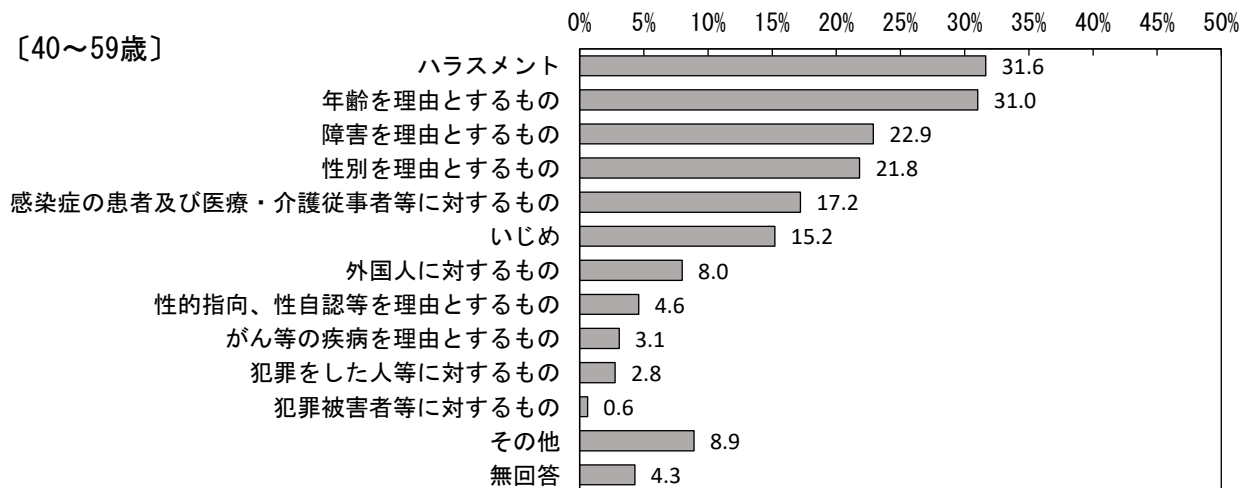


【年代別】

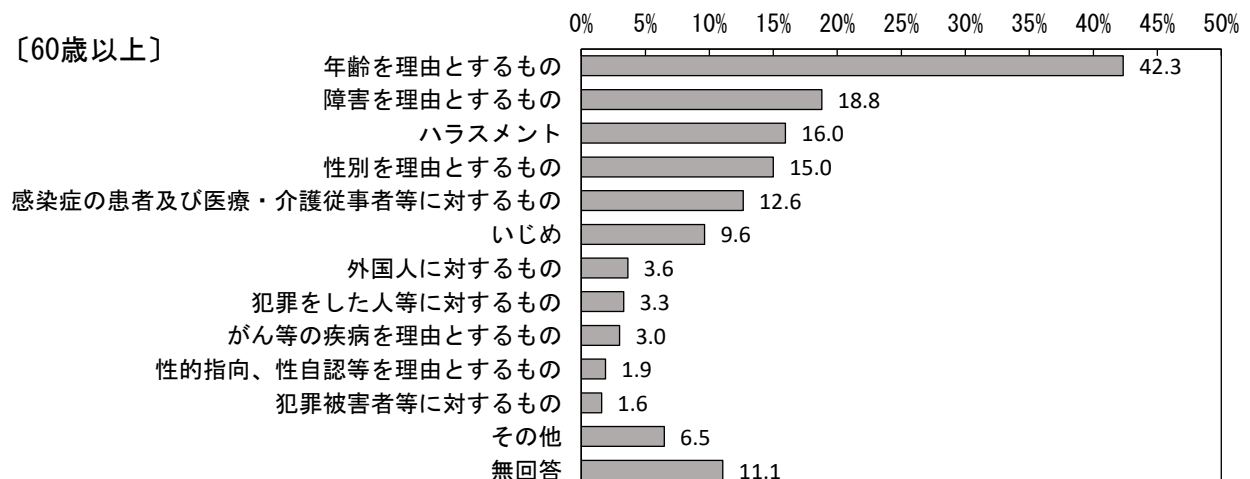
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕

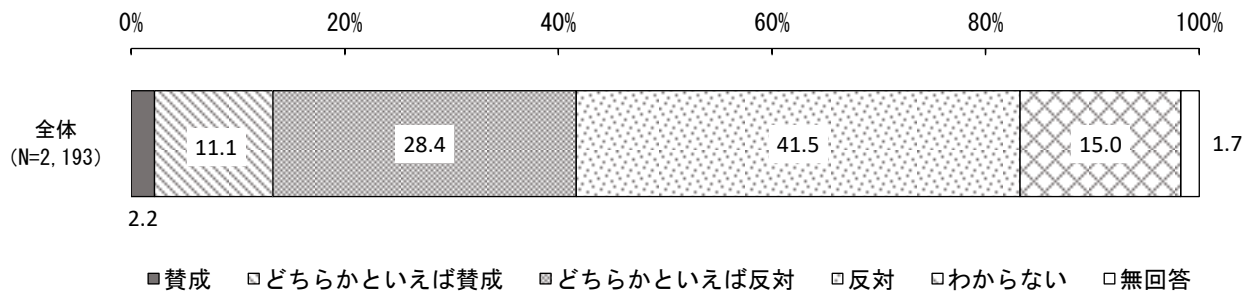


4 男女共同参画について

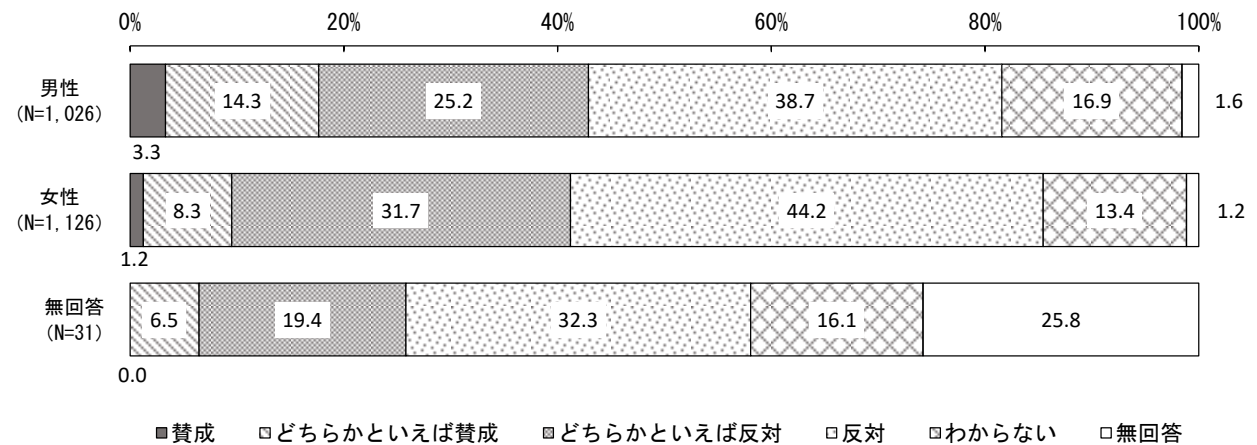
「男は仕事、女は家庭」の考え方

① 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか（○は1つ）。

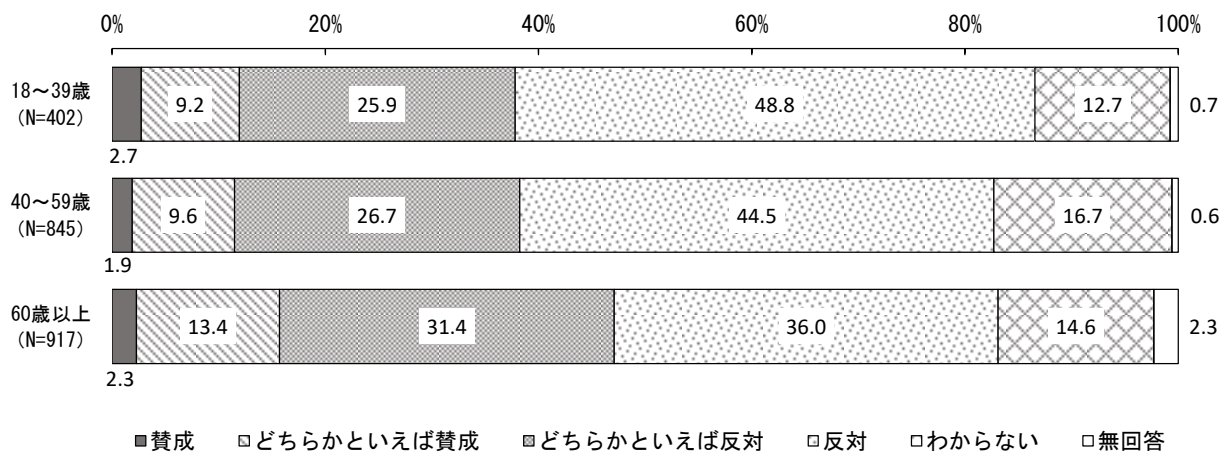
【全体】



【性別】



【年代別】



5 社会活動・地域活動について

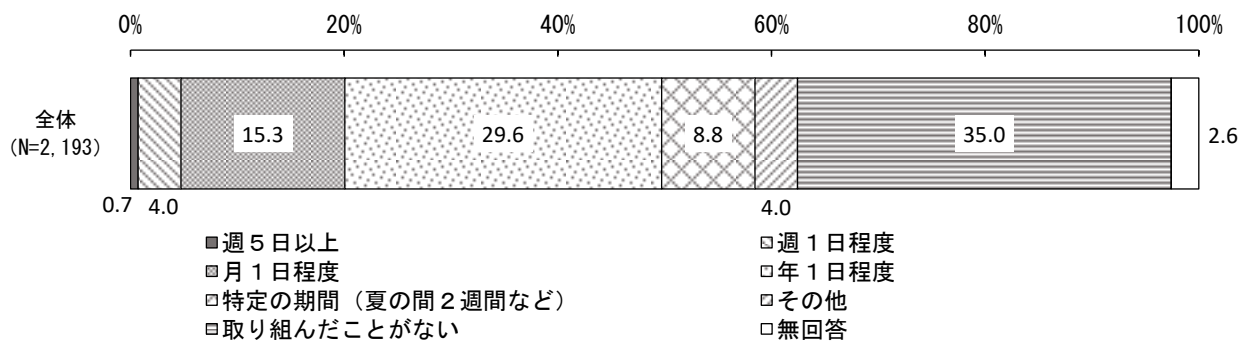
社会活動・地域活動への取組の頻度

① あなたが、ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」(※)に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか(○は1つ)。

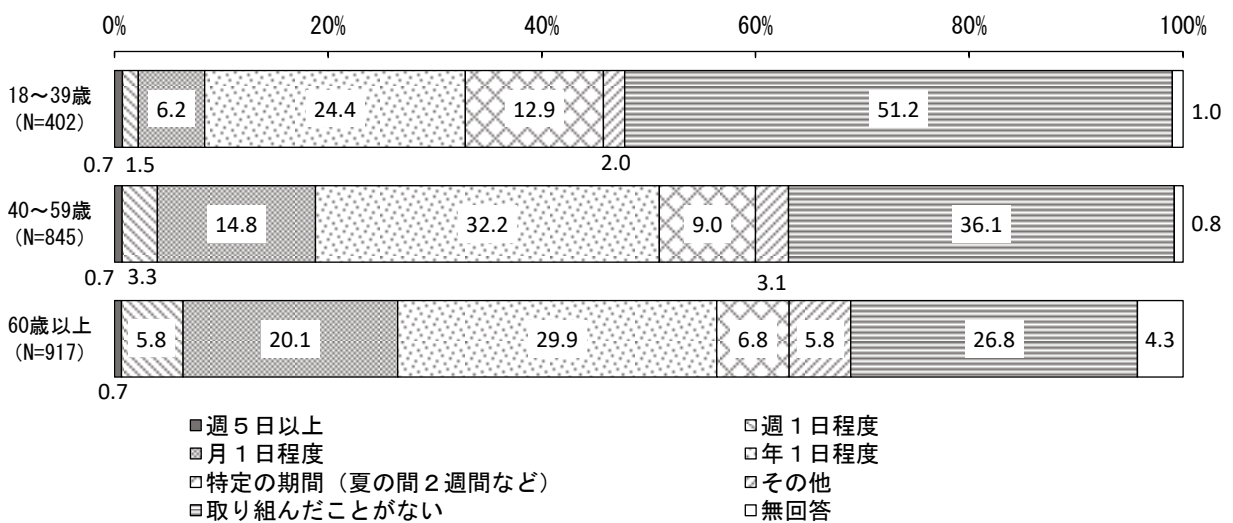
※「社会活動・地域活動」の具体例

地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い等

【全体】



【年代別】

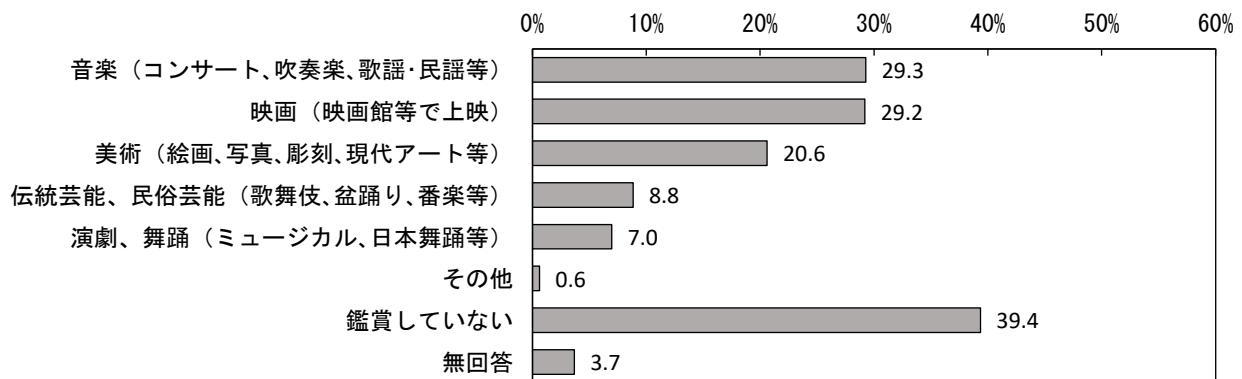


6 文化芸術の鑑賞・活動について

(1) 文化芸術の鑑賞の頻度

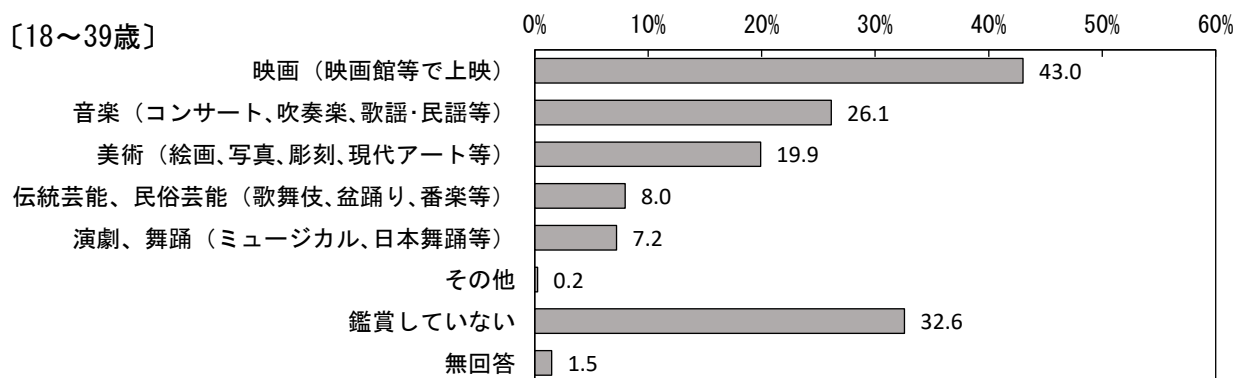
① あなたは、ここ1年間に文化施設等に出向いて直接鑑賞した文化芸術はありますか（〇はいつでも）。

【全体】

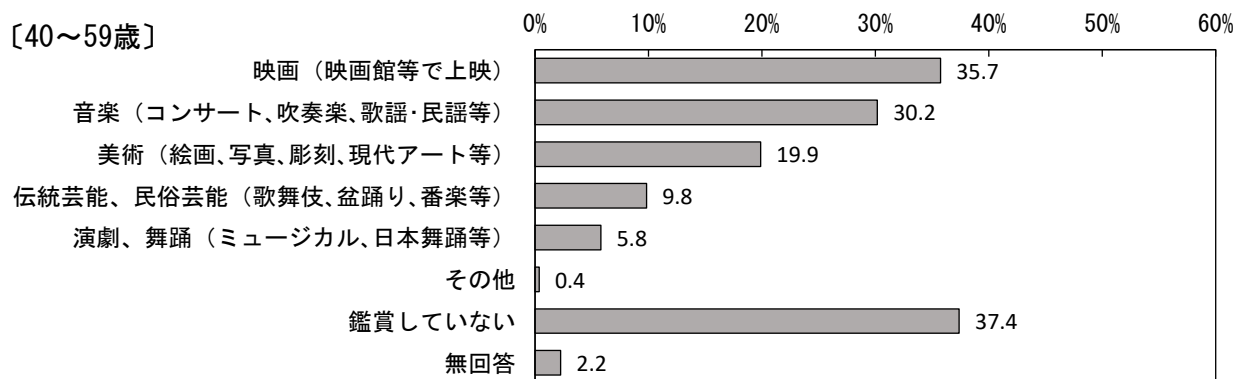


【年代別】

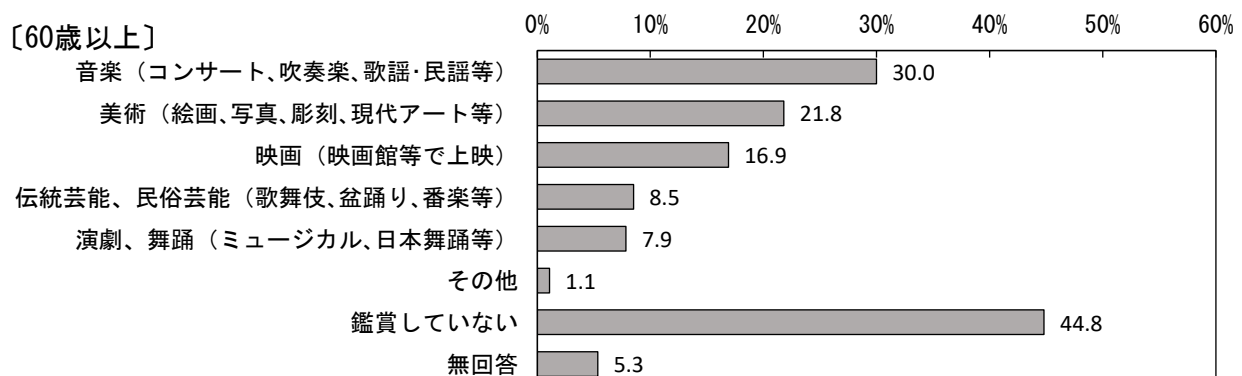
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



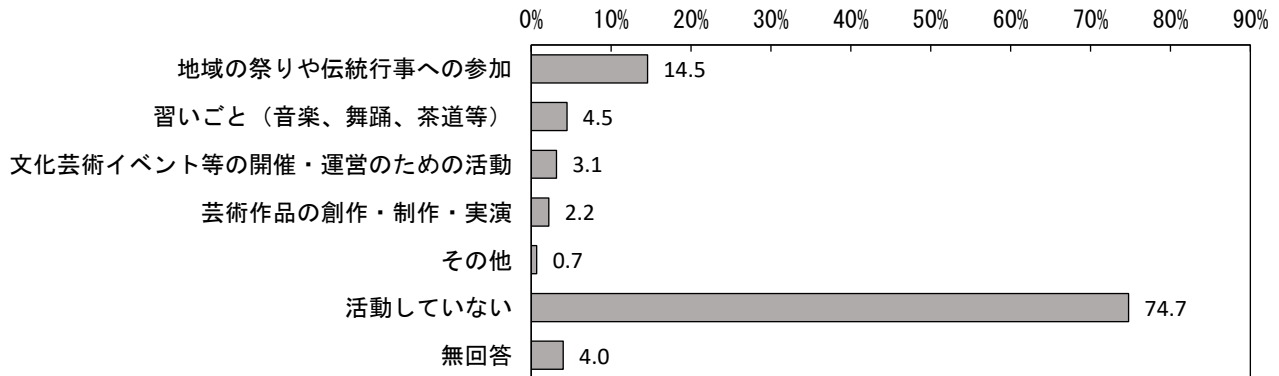
〔60歳以上〕



(2) 文化芸術の活動の頻度

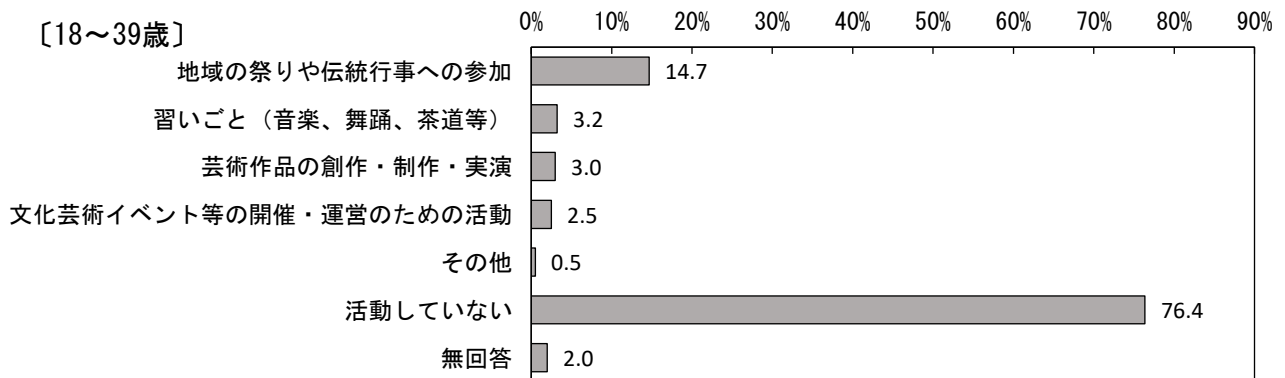
② あなたは、ここ1年間に芸術作品の創作、文化イベントへの出演・参加、文化事業でのボランティア活動などを行いましたか（〇はいくつでも）。

【全体】

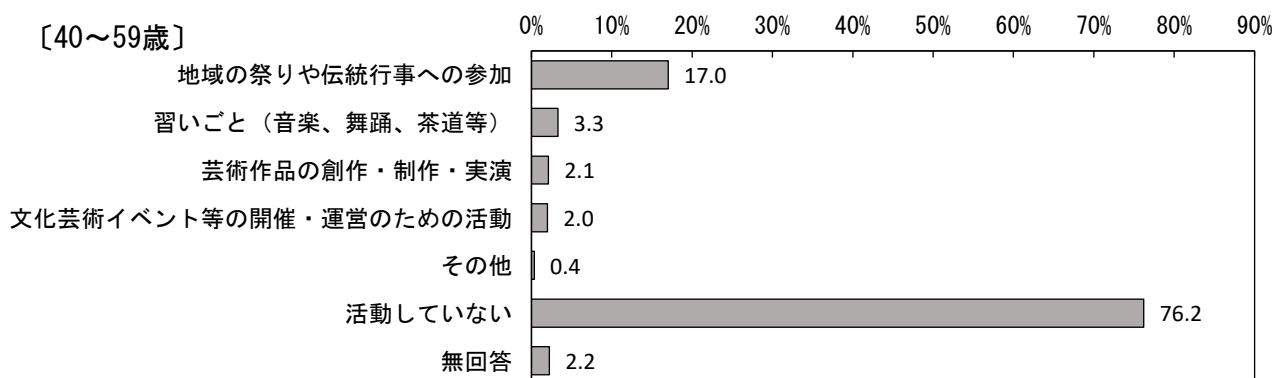


【年代別】

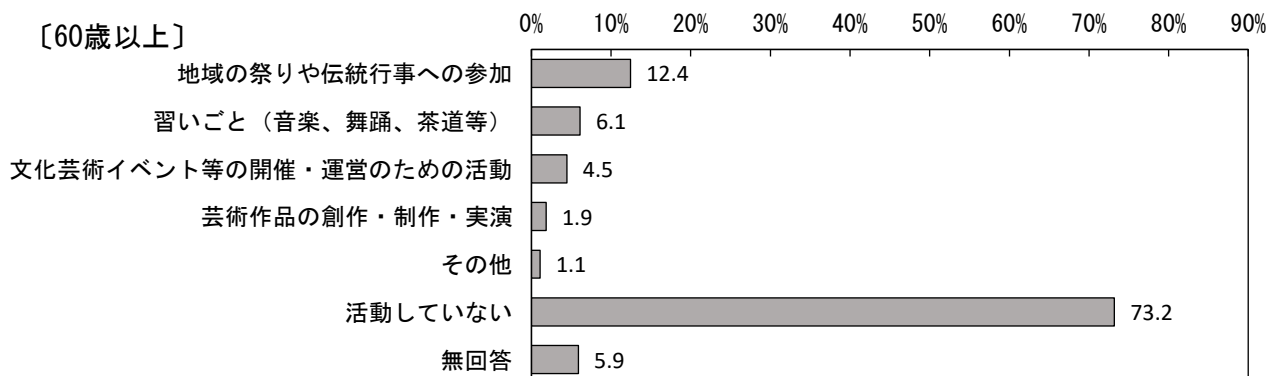
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕



7 読書活動について

(1) 読書への興味

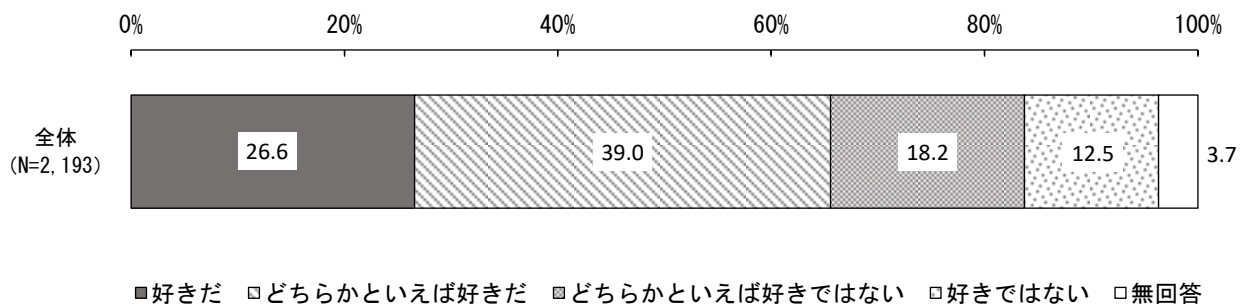
① あなたは読書（※）が好きですか（○は1つ）。

※読書には、新聞及び雑誌（電子媒体の記事（注1）を含む。）のほか、子どもへの読み聞かせ、オーディオブック（注2）も含まれます。

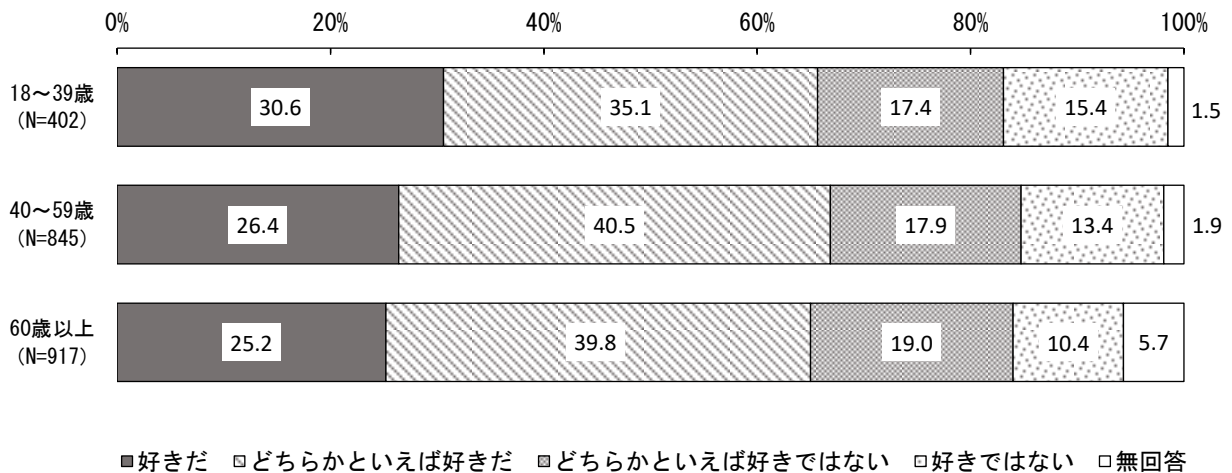
（注1）電子媒体の記事とは、新聞社や出版社等がインターネット上に掲載しているニュースや雑誌記事等のことです。

（注2）オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したCDやカセット、インターネット上で提供されている音声コンテンツのことです。

【全体】



【年代別】



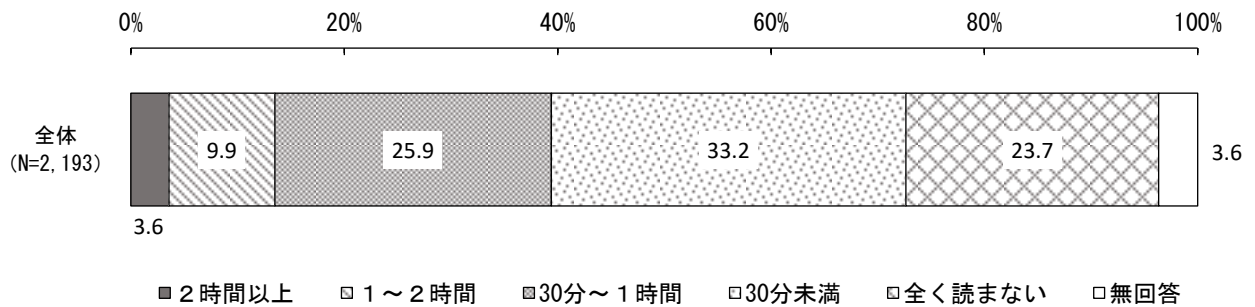
（２）１日の平均読書時間

② あなたは１日平均（※）どれくらい読書をしていますか（○は１つ）。

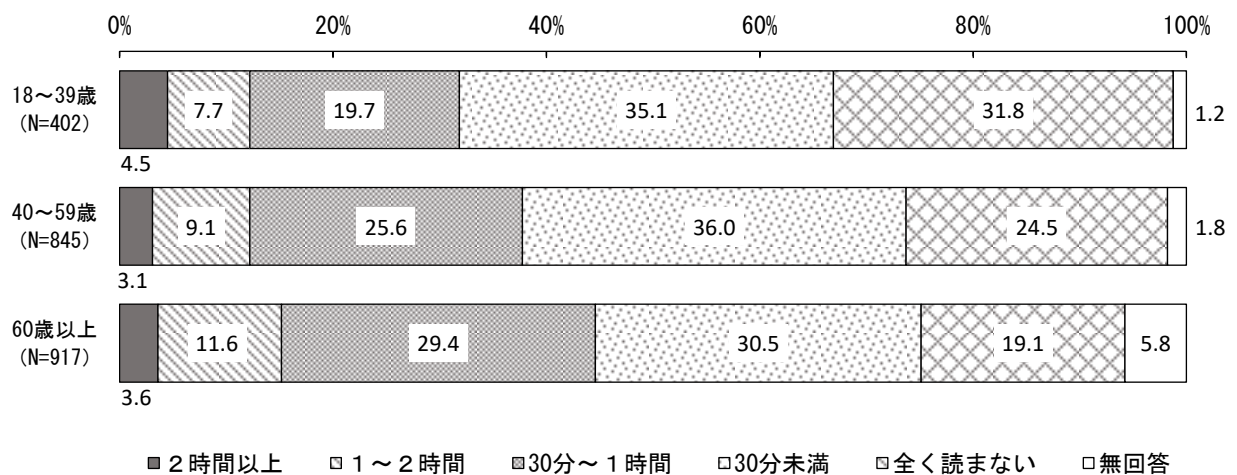
※子どもへの読み聞かせ時間も含みます。

※休日まとめ読みの場合は、１日平均に置き換えてください。

【全体】



【年代別】

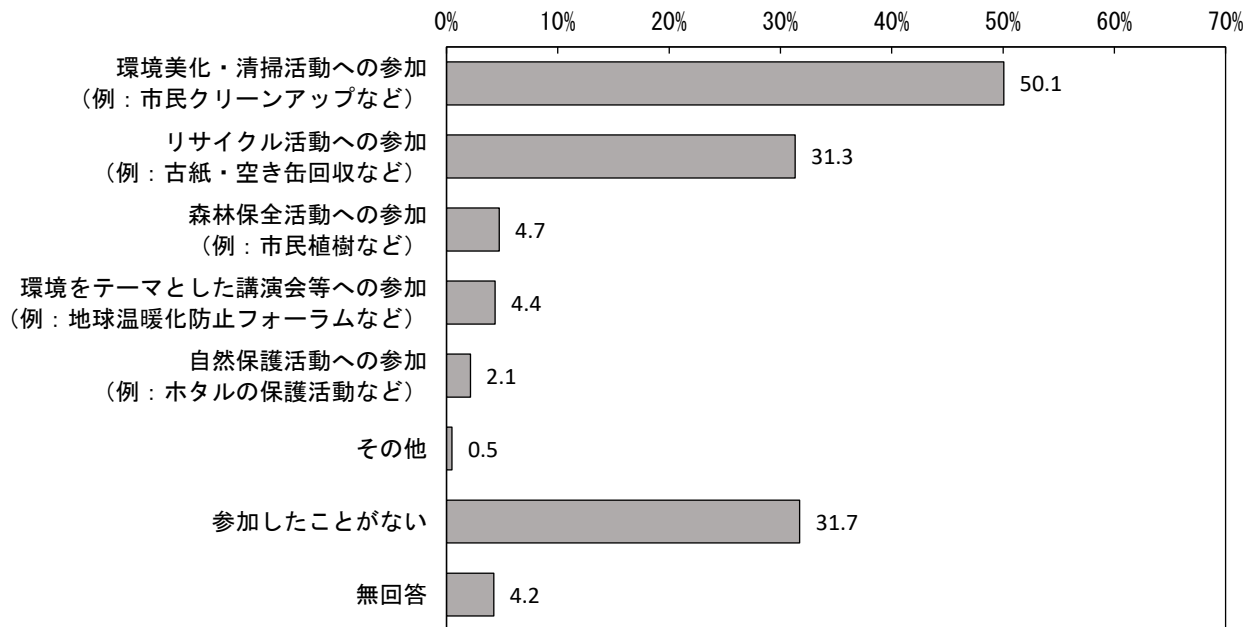


8 環境保全活動について

環境保全活動への参加状況

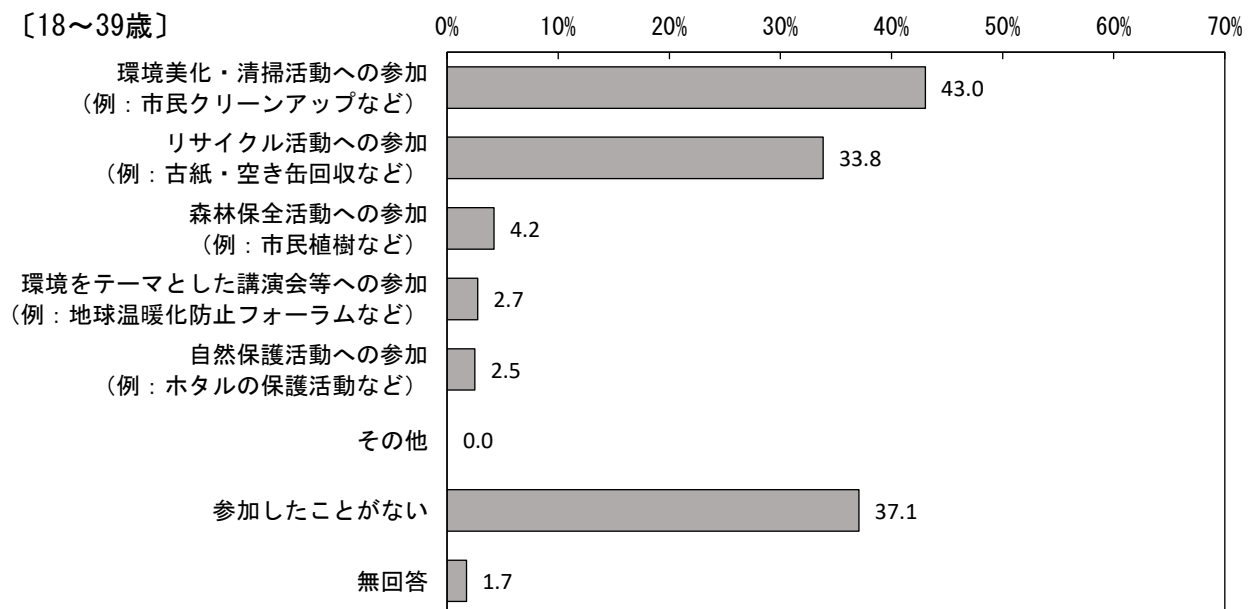
① あなたは、これまで環境保全活動に参加したことがありますか（〇はいくつでも）。

【全体】

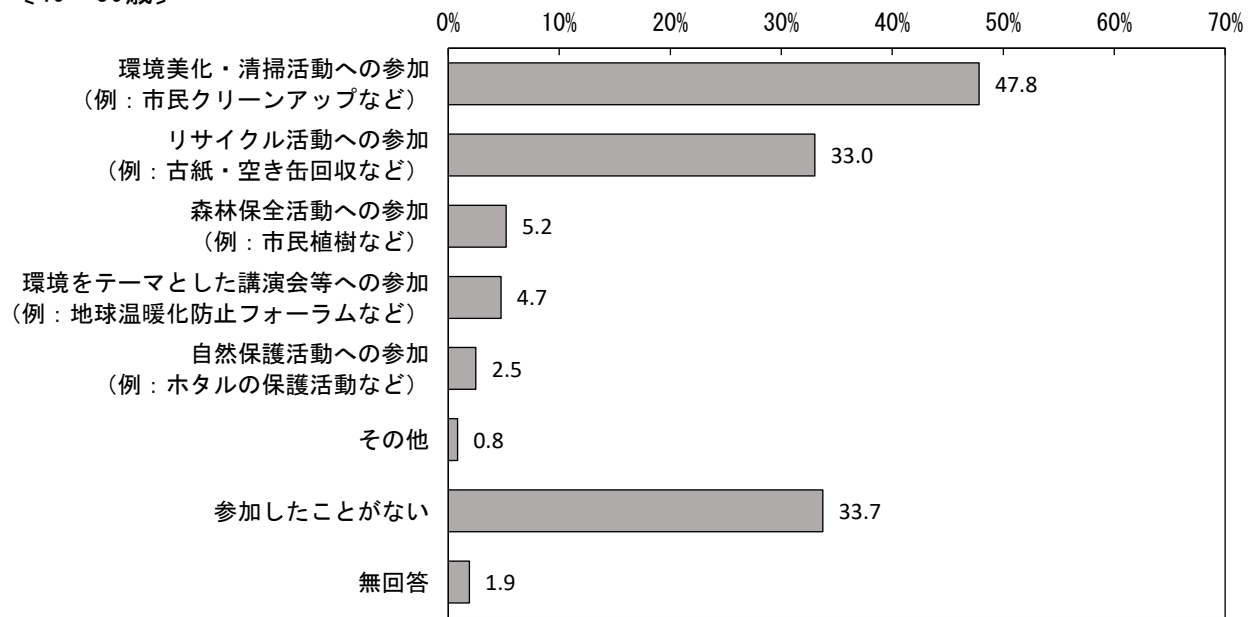


【年代別】

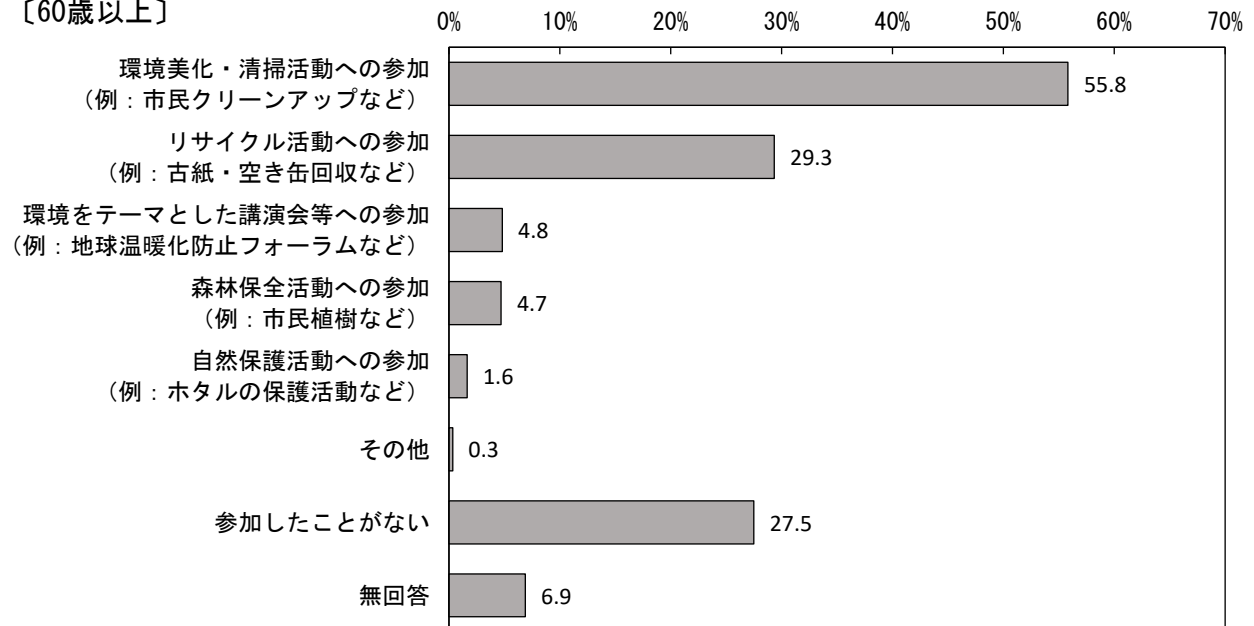
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕

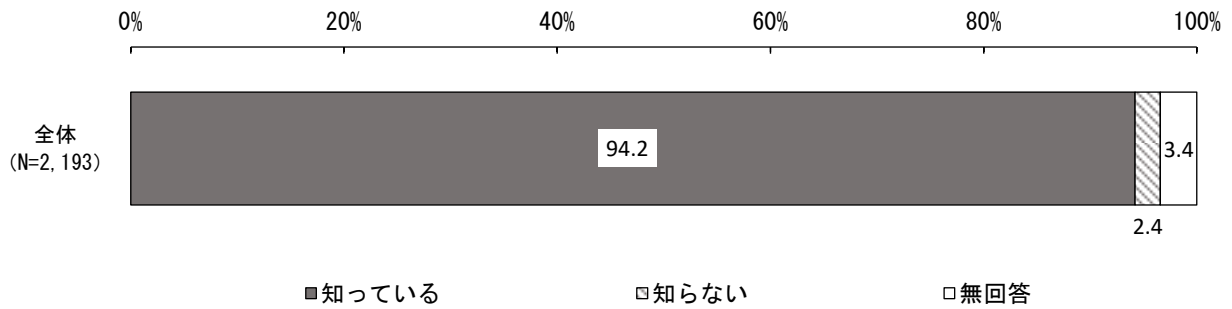


9 食品ロス問題について

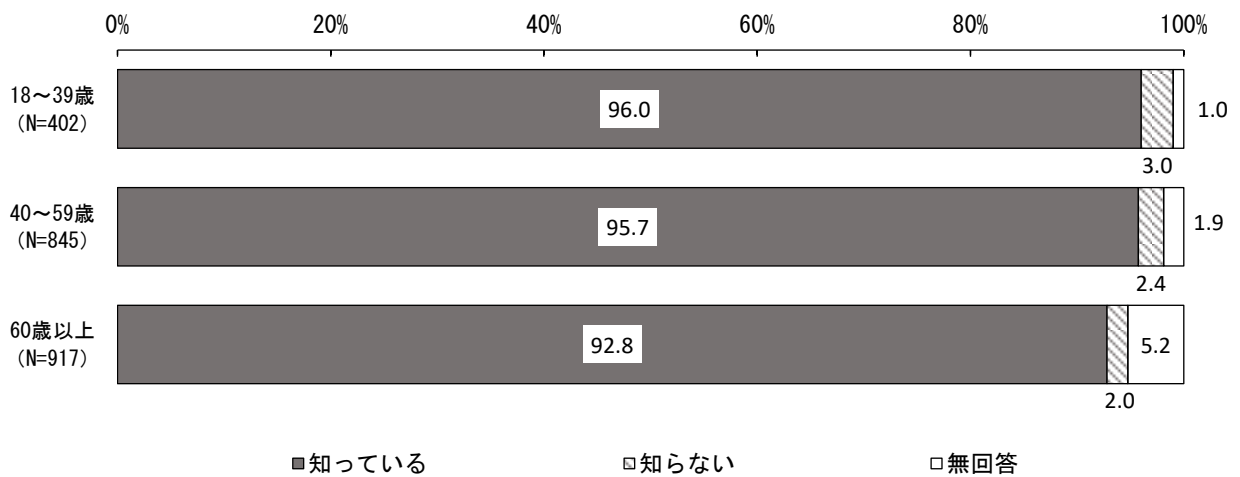
(1) 食品ロスに関する認知度

- ① あなたは、食品ロス（※）が社会問題となっていることを知っていますか（○は1つ）。
※食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられる食品

【全体】



【年代別】



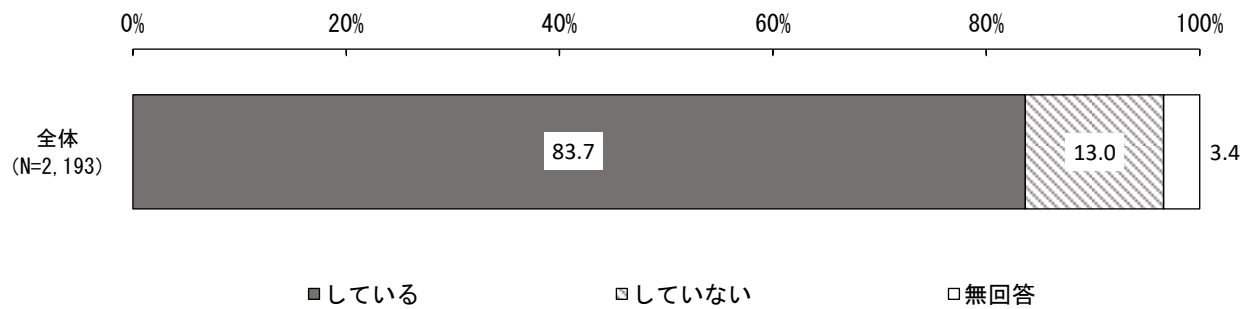
（２）食品ロスへの取組

② あなたは、食品ロスの削減に向けた取組をしていますか（○は１つ）。

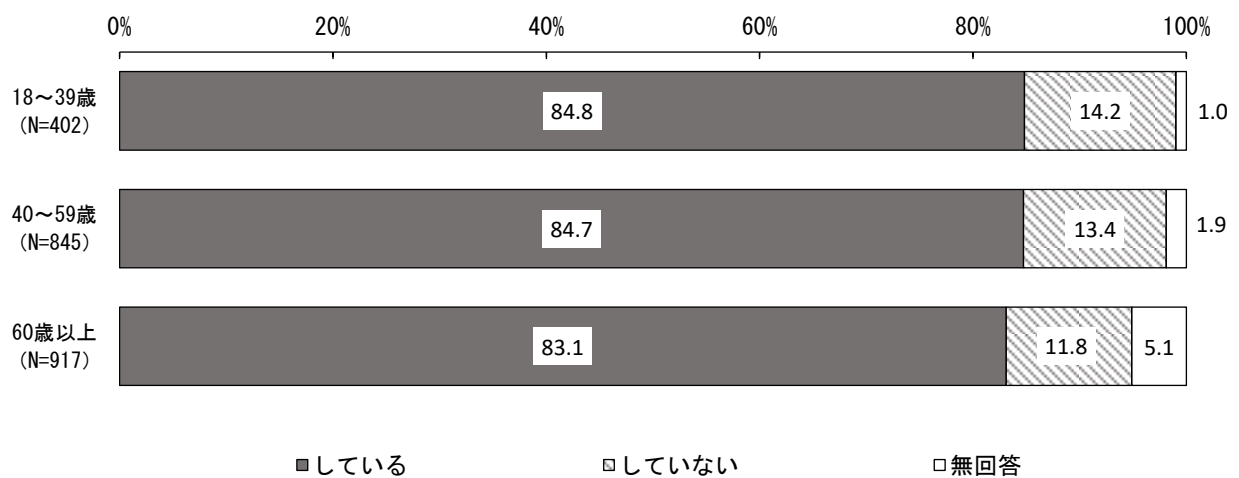
※削減に向けた取組の具体例

料理を作り過ぎない、出された料理は残さず食べる、外食の際は食べきれる量を注文、買い物の際は賞味期限や消費期限の近い商品を購入 等

【全体】



【年代別】



10 自転車の安全で適正な利用について

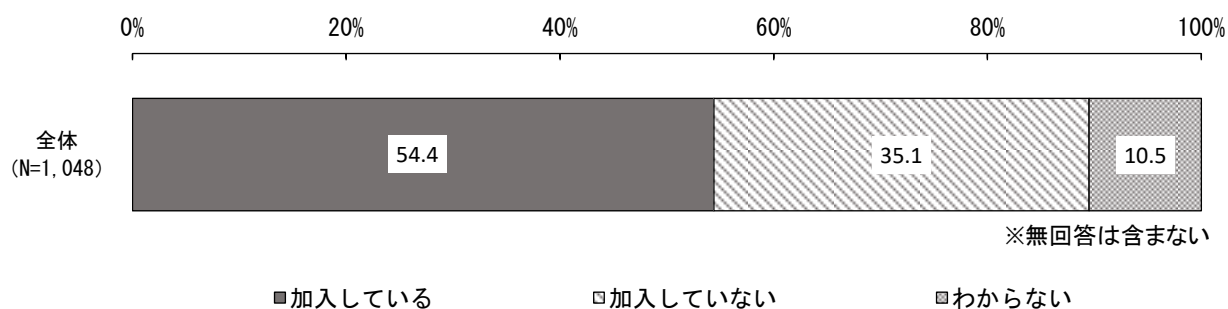
自転車損害賠償責任保険等への加入状況

① 自転車を利用している人にお聞きします。あなたは「自転車損害賠償責任保険等（※）」に加入していますか（○は1つ）。

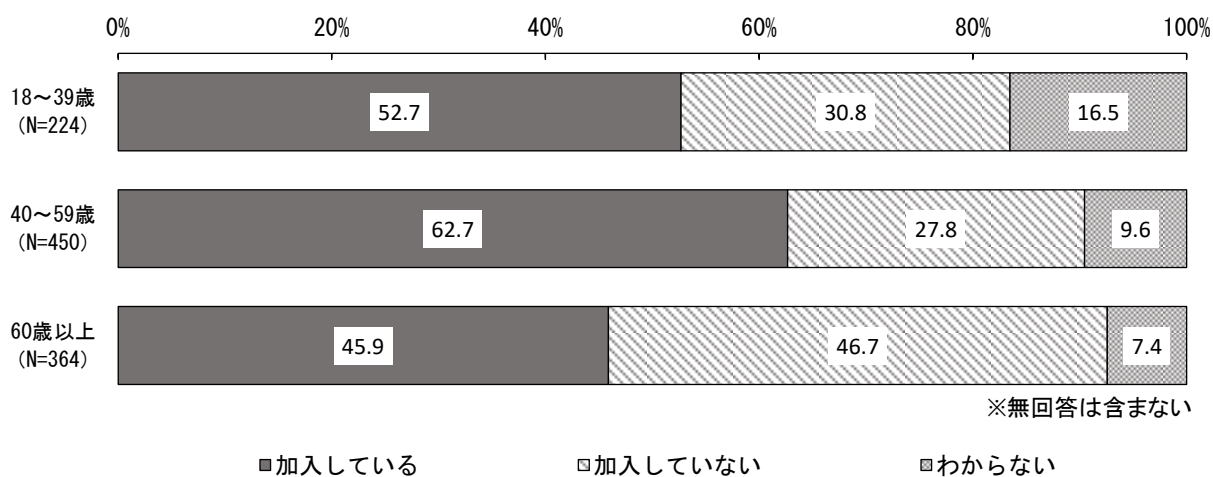
※自転車を運転中の事故により、他人にケガを負わせてしまった場合等に備える保険。

※自転車保険単独のもの、自動車保険・火災保険・傷害保険の特約として付いている個人賠償責任保険、共済、職場の団体保険、点検・整備を受けた自転車に貼られる「TSマーク」に付帯した保険等。

【全体】



【年代別】

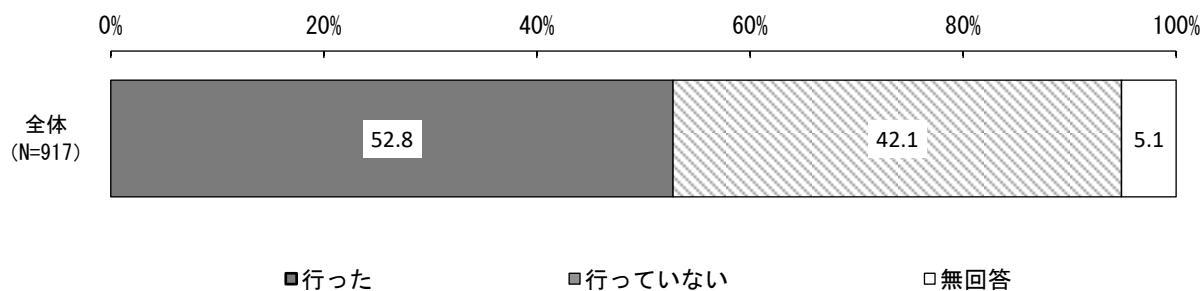


11 高齢者の社会参加について

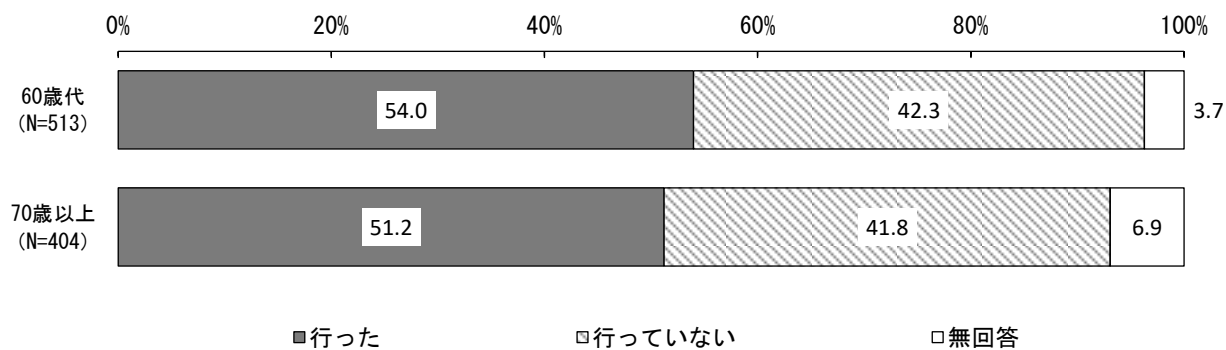
60 歳以上の方の仕事や社会活動等への参加状況（令和 5 年度）

① 60 歳以上の方にお聞きします。あなたは、令和 5 年度に仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む。）を行いましたか（どちらかに○）。

【全体】



【年代別】



第4章 県政への自由意見について

県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。（問5）

【集計の方法】

回答を内容によりA～Nの14項目に分類した。同一の回答者が複数の意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。

1 自由意見の項目別件数

項番	項 目	件数
A	商工業・雇用・労働に関すること	165
B	農林水産業に関すること	44
C	観光に関すること	37
D	文化・スポーツに関すること	29
E	道路・交通ネットワークに関すること	74
F	移住・定住に関すること	39
G	結婚・出産・子育てに関すること	113
H	女性・若者の活躍に関すること	20
I	地域社会の維持・活性化に関すること	14
J	健康・医療・福祉に関すること	77
K	教育・人づくりに関すること	37
L	防災減災に関すること	24
M	生活環境・自然環境に関すること	97
N	県政全般に対する意見・その他	326
合 計		1,096

2 主な自由意見

741 人から 1,096 件の意見があり、一部を抜粋して掲載する。なお、表記ゆれや言い回しの調整、誤字の修正等の校正をしているため、掲載文は回答の原文とは異なる場合がある。

A. 商工業・雇用・労働に関すること

- 最近新しい会社等も増えていて、一部の若者が新しい取組を進めていることは素晴らしいと思う。その一方で、奇をてらった取組だけが注目されるため、そのような取組が正しいかのように扱われることに違和感がある。現在の若者は、職種はもちろんだが、働きがいや働きやすさにより注目すると感じるため、その点に着目した施策が行われることを強く期待している。(女性／20 歳代／秋田地域)
- 柔軟な働き方、いろいろなことにチャレンジできる環境整備をしてほしい。(女性／20 歳代／北秋田地域)
- もっと県内企業への就職活動に力を入れてほしい。県内限定の就活サイトを見たことがあるが、ほとんど更新されていなかった。賃金の引き上げも大事だが、県内企業の認知度向上ももっと気にかけてほしい。(男性／20 歳代／秋田地域)
- いろいろな職種において、人手不足を解消してほしい。人手不足のため、休みたい時に休みが取れない、有給休暇も取れない。(女性／30 歳代／秋田地域)
- 多種多様な企業を増やすことにより、職業の選択肢を広げてほしい。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 若者への支援もちろん大切だが、就職氷河期世代への支援にも力を入れていただきたい。頑張っても、この世代は取り残されているように感じる。(女性／40 歳代／仙北地域)
- 若者が働ける企業のための支援（賃金向上、評価制度、研修の実施）に積極的に取り組んでほしい。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 個人事業主に対しても、手厚い支援がほしい。(男性／40 歳代／由利地域)
- 県内にある大学の学部・学科で教えている内容に近い分野のビジネスモデルを持つ企業の誘致を県にお願いしたい。新社会人の離職率軽減にもつながり、県外からの人口の流入も見込め、県内産業の発展及び人材の育成等につながると思う。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 若者と高齢者が共に働くことができる地元企業に対して支援してほしい。高齢者が増えていくので、就労機会を増やし、若者へ技術を伝達していくことができる環境をつくり、秋田を発展させてほしい。(男性／50 歳代／北秋田地域)

- 発電事業だけでなく、その電気を利用して多くの人が働くことができる企業を誘致してほしい。
(女性／60 歳代／秋田地域)
- 洋上風力発電や地熱発電などに力を入れていて、素晴らしいと思うが、電気料金が安くならないのはなぜか。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 風力発電のため、海岸の景色が変わった。時代の流れとは思いますが、県外の大手企業のみが秋田から利益を持っていくことがないように、参入する県内企業、労働者を多くして、現場の利益も十分に確保してもらいたい。(女性／70 歳以上／秋田地域)
- 高齢者にも安心して働ける職場が必要ではないかと思う。(女性／70 歳以上／北秋田地域)
- 企業誘致活動を強力に進めていただき、若者の多様な職業選択に資する結果を期待したい。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- 学卒者が県内にとどまれるような企業誘致をしてほしい。(男性／70 歳以上／雄勝地域)

B. 農林水産業に関すること

- 耕作放棄地がたくさんあるので、何とかしてもらいたい。(女性／20 歳代／仙北地域)
- 農業などの後継者が不足している。(男性／20 歳代／仙北地域)
- “サキホコレ”の宣伝が上手にいけないと感じる。時機をみて、袋のリニューアルを行って、もう一度大々的なキャンペーンを行ったらよいと考えている。もっと売れないと、多くの生産者に広まらないと思う。(男性／40 歳代／北秋田地域)
- 秋田県産の農産物等のPRをもっとしてほしい。(女性／60 歳代／仙北地域)
- 林業の振興に特に力を入れてほしい。「三大美林」といわれた秋田スギの活用が地域の活性化、雇用の創出につながり、若者の定着も期待できるのではないかと。山林の多い秋田県、木材を利用した事業が県の財政にもよい結果をもたらすのではないかと。(女性／70 歳以上／平鹿地域)

C. 観光に関すること

- 「泊ってみたいと思えるホテル」を増やしてほしい。隣県との違い(差)はここではっきり出ていると思う。東北をいろいろまわったが、遊べるスポットがなくても、泊まる価値のあるホテルがあるだけで思い出に残るところがたくさんあった。(女性／30 歳代／秋田地域)

- 県内に観光資源はたくさんあるが、やはりまだ認知度不足に感じる。更に国内外にPRしていくことと、県内の特に有名な観光地を整備する支援をしてほしい。(女性／40 歳代／北秋田地域)
- 観光誘致に関して、一定の年齢層をターゲットにしている感じがするので、都会の若者が興味を示すようなこともしてほしい。SNSを使ってアピールしてほしい。(女性／40 歳代／仙北地域)
- 観光地へのアクセスと、県外観光客が来ても、楽しめる施設の整備をしてほしい。他県も参考にしてほしい。(男性／40 歳代／仙北地域)

D. 文化・スポーツに関すること

- 地方でもイラストや描画などの芸術作品を見ることのできるイベントを開催してほしい。(女性／20 歳代／北秋田地域)
- 秋田は自然豊かなので、それを生かしたスポーツ施設を整備し、秋田でしかできない、秋田中心でならやれる状況を作るといいと思う。特に、トライアスロン、トレイルランニング、クロカン(走る方)、スポーツ自転車コースなどはそこまで整備しなくてもすごいものが作れるはず。(男性／40 歳代／北秋田地域)
- 学生のスポーツ強化、また、その環境づくりをしてほしい。野球場、サッカー場などの整備をしてほしい。(女性／60 歳代／雄勝地域)

E. 道路・交通ネットワークに関すること

- 奥羽本線の特急列車存続のための取組をしていただきたい。奥羽本線の秋田ー青森間は新幹線も通っておらず、特に東能代と大館の間は特急列車がないと大変不便である。(男性／10 歳代／北秋田地域)
- 交通手段の少なさ、減便などで生活に不自由さを抱えている人が多くみられる。改善してほしい。(女性／30 歳代／秋田地域)
- 秋田県民は車がないと移動できない。もっと公共交通を利用しやすく整備してほしい。(男性／40 歳代／平鹿地域)
- 車を所有していない人、観光客がもっと利用できるような地域交通の整備が必要である。(女性／50 歳代／鹿角地域)

- 地域によっては、移動手段が少なく不便さを感じている方が多いのではないかと感じる。人件費や雇用の問題もあると思うが、ニーズに合わせた効率的な運用の実施があればよい。(女性／50 歳代／北秋田地域)
- 公共交通が減少しているので、免許返納後の移動手段として、気軽に利用できる手段を知りたい。(女性／60 歳代／由利地域)
- 公共交通機関にしても経営的な面は理解できるが、老人の切り捨てに感じる。(免許のない人にとって) バスの小型化に取り組むなど、もっと考えることがあると思う。(男性／60 歳代／秋田地域)

F. 移住・定住に関すること

- 高校・大学と専門性を高めた若者の県外流出をいかに抑えていくかが課題である。(男性／50 歳代／雄勝地域)
- 自然豊かな秋田の良さをもっと全国にPRしてほしい。若い人の県外流出をなるべく減らし、高校生や大学生の卒業後の県内就職ができるように企業側と努力してほしい。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 若い夫婦の移住を進めてほしい。空き家がたくさんあるので、安く住めて、転職がスムーズ・教育が充実し、安心して子どもがのびのび生活できる環境を整備してほしい。(女性／60 歳代／由利地域)
- 若者たちの定住に向けて、きちんと取り組んでほしい。(男性／60 歳代／仙北地域)

G. 結婚・出産・子育てに関すること

- 子どもが遊べる施設を増やす。公園や遊具を充実させてほしい。(男性／20 歳代／雄勝地域)
- 出産や子育ての金銭的負担を減らす補償の拡充を検討してほしい。(男性／20 歳代／秋田地域)
- 今、発達障害グレーゾーンの子どもの育てている。周りの人に相談できないので、とても苦しい。そういう子たちの触れ合える場を作ってもらえたらうれしい。(女性／30 歳代／山本地域)
- 制度だから休める、時短できる、というのはとてもありがたいが、その制度を利用したときに、会社がまわらないこともあり、会社にとっても何かプラスになることがあれば、こちらも気兼ねなく制度を利用することができる。(女性／30 歳代／秋田地域)

- 出産にかかる費用、子育てにかかる費用ができるだけ少なくなるようにしてほしい。(女性／30 歳代／仙北地域)
- 子育て中であっても正社員として働きやすい環境を整えてほしい。急な呼び出し等で何度も早退や欠勤が増え、居づらくなり退職するしかない状態になる。その後の転職活動の際も、小さい子がいることで、正社員としての勤務が難しいとパートでなければ就業場所が決まらない。パートになると生活が苦しくなる。(女性／30 歳代／山本地域)
- 子どもの遊ぶ場所が少なくなっていると感じる。もう少しそういった場が増えるといいと思う。(男性／30 歳代／雄勝地域)
- 子どもが遊べる大型施設、遊具、遊園地を作してほしい。雨の日に行ける場所が少ない。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 子どもの遊び場が少ない。他県には、外遊びと中遊びが一緒にできる場所、しかも無料の場所がたくさんあり、支援員もいて安心して遊ばせることができる。そんな場所を県内にも作してほしい。(女性／50 歳代／雄勝地域)
- 若者が働きやすく、結婚し安心して子どもを産み育てることができるような秋田になってほしい。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 安心して子どもを産み育てていける環境を整備してほしい。(男性／60 歳代／仙北地域)

H. 女性・若者の活躍に関すること

- 若者が芸術、文化的活動を継続できるように、助成金などのサポートやコンペの企画を推進してほしい。(男性／20 歳代／秋田地域)
- もう少し若者を利用し、秋田を発展、活性化させてほしい。(女性／30 歳代／秋田地域)
- まだまだ男性が仕事、女性が家庭という風潮が強く、女性の仕事・家庭の負担が大きく感じる。男女共同参画はとても良いことだと思うが、今のままではただただ女性の負担が増えるだけなので、男性の家事育児参加をもっと進めるような広報や施策もしてほしい。(女性／30 歳代／雄勝地域)

I. 地域社会の維持・活性化に関すること

- マイノリティに対しての理解が足りない。当事者だが、自分自身でもそう思うし、周りもそういう意識なく生きている人が多いと思う。理解する機会が少なすぎるのだと思う。(女性／30 歳代／秋田地域)
- コンパクトシティ化に取り組むこと。過疎地域でインフラを維持、整備することは財政面で難しくなっていくと思われる。集落毎に移住を進め、住民サービスを維持することが望ましい。防災上の観点からも同じことが言える。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 人口が減る中、財政も考慮すると、インフラ含めて全ての人、地域を対象にするのは難しいのではないかな。ある程度、コンパクトシティを目指すなり、取捨選択が必要なのではないかな。(男性／40 歳代／秋田地域)

J. 健康・医療・福祉に関すること

- 精神を病み、自ら命を断とうとする若者が多いため、健康な心の状態を保てるような環境づくりや支援に力を入れてもらいたい。(男性／20 歳代／由利地域)
- 地域の医療格差はかなり進んでいる。医者不足、病床の減少など、個人クリニックすらも少なく、受診したい診療科が近くにないこともよくある。(女性／30 歳代／北秋田地域)
- 救急車が来るのがどんどん遅くなっている。救急車の適正利用の啓発や、台数を増やすなり職員を増やすなりするべき。(男性／30 歳代／北秋田地域)
- 福祉施設で働いている職員の意見を聞いてくれる場がほしい。(女性／40 歳代／由利地域)
- 高齢者が多い地域の医療を充実させてほしい。病院を新しくしても医師が不足している。緊急時対応してもらえない。(女性／50 歳代／仙北地域)
- 障害者や高齢者のニーズが満たされていないと感じる。相談できる場所やヘルパーなど、もっと気軽に利用できる環境を整えば良いと思う。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 医師と看護師の人員不足と残業が多すぎる働き方について、もっと取り組むべきだと考える。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 職場で精神的に病んで休む若者が多くなっており、自殺する若者もいる。原因を究明して対策する必要がある。(男性／60 歳代／北秋田地域)

K. 教育・人づくりに関すること

- 県内大学の更なる充実に取り組んでほしい。(女性／10 歳代／仙北地域)
- 子どもがのびのびと学校で学べるような環境整備（いじめ対策等）をしてほしい。(女性／20 歳代／北秋田地域)
- 大学進学の際に県内には学びたい学科がなく、千葉に引っ越したため、大学の学科を拡充してほしい。(男性／20 歳代／仙北地域)
- 就学前教育の充実を図るために、現場での取組がなされていると思うが、保育園では職員の手薄さを感じる。ゆとりがないと不適切保育につながりかねない。保育環境の改善に向けた取組をしてほしい。(女性／50 歳代／北秋田地域)
- 子どもの学力が全国でトップクラスを続けていることは喜ばしいことであり、関係者の多大な尽力に敬意を表する。ただ、地域の教育力の低下や、経済的に貧しい家庭では家庭の教育力が低下する一方であると感じている。子どもの教育と一緒に、大人の教育にも目を向けていただければと思う。(男性／70 歳以上／山本地域)

L. 防災減災に関すること

- 洪水や河川の氾濫が発生した時に避難できない危険な場所にある避難所が多く、場所や整備について対策を行ってほしい。(女性／30 歳代／秋田地域)
- 昨年の水害被災者で、県や市町村の支援を知らない人が多かったので、被災者に対する支援金・補助金などの周知を徹底してほしい。また、申請から受け取るまでの期間を短くしてほしい。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 防災・減災について強力に推進してほしい。(男性／60 歳代／秋田地域)

M. 生活環境・自然環境に関すること

- クマ対策について、SNS で県外の人たちが否定的な意見をたくさん投稿しているのを見たが、怪我人が出ているし、怖い思いをしている人もいる。また、児童の送り迎えをする親も本当に大変である。結果が出るまでクマ対策を実行してほしい。(女性／20 歳代／北秋田地域)
- 雪が多いので、除雪車を増やすか、稼働時間を増やす。住宅街にももっと来てほしい。(男性／20 歳代／雄勝地域)

- ネット社会なのに、携帯電話の通信エリア圏外が多いので、山奥でもつながるようにしてほしい。(男性／40 歳代／北秋田地域)
- 動物が好きで、野良猫を見ると、とてもかわいそうになる。避妊手術、去勢手術の支援があれば良いと思う。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 空き家の管理。老朽化して、強風の時など倒壊の恐れがあり心配である。(女性／50 歳代／由利地域)
- クマ、イノシシ対策を早急に行ってほしい。安心して野山を歩けないし、作物も荒らされ残念に思う。人間だけの世界ではないが、何とかしてほしい。(女性／60 歳代／山本地域)
- 冬は雪が多いので、除雪を早くやってほしい。(男性／60 歳代／北秋田地域)
- 秋田県内の一部の道路は、穴だらけの箇所が多すぎる。もう少し走りやすい、歩きやすい道路整備を行ってほしい。(男性／60 歳代／仙北地域)
- クマ対策について早急に取り組んでほしい。(男性／70 歳以上／秋田地域)
- これからクマへの対応は非常に厳しくなるであろうし、被害も拡大していくと思う。懸賞金や猟友会への恩賞、補助の拡大、若手や新規の人も入りやすいようにして育成にも力を入れてほしい。むしろ、クマ駆除で生活できるだけの賃金があれば、やりたいという若者は多いのではないだろうか。(男性／70 歳以上／秋田地域)

N. 県政全般に対する意見・その他

- 県が取り組んでいる事業等に対し、県民がもっと関心を持てるようPRするべきである。(女性／20 歳代／雄勝地域)
- 秋田県の良さを県外にもっとPRしてほしい。(女性／20 歳代／仙北地域)
- 市民や県民がもっと自分事として市政や県政に関心を持つ社会にしなければならないと思う。(男性／20 歳代／北秋田地域)
- 助成金、補助金等があるが、調べるが大変であったり、情報が届いておらず活用できている人が少ないように感じる。将来的に活用が見込まれる人にも情報が分かりやすく届くと良い。(女性／30 歳代／雄勝地域)
- 日々社会問題として取り上げられている若者の県外流出、高齢化、人口減少等に対する対策を今以上に頑張してほしい。(男性／30 歳代／北秋田地域)

- 新しい事業や目新しい取組に注目・注力することに抵抗はないが、その後それらの事業がどのように継続されているかが重要だと思っているので、広報紙やHP等で過去に取り上げた内容の「その後」を紹介してほしい。(男性／30 歳代／秋田地域)
- 秋田には素敵な自然や風景が沢山あるので、分かりやすい（誰が見ても行きたくなる）写真でアピールしてほしい。(女性／40 歳代／由利地域)
- 秋田の強みを強化して欲しい。素朴さ、温かさ、景色など都会にない部分、魅力を引き出すためのサポート力が弱いと思う。どれにもこれにも手を出すのではなく、初めは伸びそうなところを伸ばし、後から他も引き上げていく気持ちで、県の力を伸ばしてほしい。今だけでなく、未来を生きる子どもたちにつないでいける計画を強くお願いしたい。(女性／40 歳代／平鹿地域)
- “秋田には何もない”と感じる県民がいるのは、今の暮らしに満足していないところがあるからではないか。県外から新しく人を呼び込むことはもちろん大事だと思うが、今の県民の暮らしを守り、できれば質を向上させる取組もお願いしたい。(女性／40 歳代／北秋田地域)
- 秋田県に住んでいて楽しいと思うことを増やせたらいいと思う。(女性／40 歳代／秋田地域)
- 新しい施設（県立体育館など）を建てる時には、クラウドファンディングなどを利用し、民間の力も借りてほしい。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 少子化や若者の県外流出は、秋田県だけの課題ではない。「人の取り合い」をしても解決できないと思う。人がいない中で何に取り組むか考えるべきだと思う。(女性／50 歳代／仙北地域)
- 若者が言いたいことを言える秋田県にしてほしい。若者の言葉に耳を傾け、受け入れてあげてほしい。(女性／50 歳代／仙北地域)
- 格好良いこと、流行していることではなく、地元で生活している人が真に求めている、又は必要と思われる施策をお願いしたい。(男性／50 歳代／由利地域)
- 秋田県の自慢できること、いいところを発信してほしい。(女性／60 歳代／由利地域)
- 魅力ある秋田県のため、何か特色ある、一点集中型の政策を実行してほしい。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 様々な取組については理解するが、どのような成果が上がり、県民生活に貢献しているのかを具体的に広く提示していただきたい。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 年を取った人にも分かりやすい情報を出してほしい。(女性／70 歳以上／北秋田地域)

●秋田の観光、自然、食品、歴史をもっともっとPRしてほしい。(男性／70 歳以上／秋田地域)

●秋田の良さを県外にアピールすることは大事だが、県民にもアピールして自信を持てるようにしてほしい。(男性／70 歳以上／秋田地域)

付属資料：調査票



令和6年度 県民意識調査

令和6年5月

◇ 調査の目的

この調査は、令和4年度からの4年間に、県が取り組むべき政策等を取りまとめた県政運営の指針である「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」に関する取組について、県民の皆様の満足度やご意見等を伺い、各種政策の立案等に反映させることを目的としています。

◇ 回答に当たってのお願い

- ・この調査には、宛名のご本人がお答えください。
- ・※ご本人が何らかの事情により回答できない場合、代理の方の回答や連絡は不要ですので、封筒及び調査票は破棄していただいて構いません。
- ・回答を一つだけ選ぶ質問と、複数選ぶ質問があります。

6月3日（月）までにご回答をお願いします。

インターネットで回答



※インターネット回答の場合は、調査票の返送は不要です。

電子回答IDは「県民意識調査への御協力をお願い」文書の左下に記載しています。

アクセスはこちらから

「秋田県 電子申請・届出サービス」

https://apply.e-tumo.jp/pref-akita-u/offer/offerList_initDisplay.action

紙の調査票で回答

調査票に回答を記入し、三つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、投函してください。

なお、返信用封筒に住所、氏名等の記入は不要です。

※返信用封筒の宛先は、秋田県が調査を委託した「株式会社フィデア情報総研」となっております。

◇ 調査票の取扱い

- ・調査結果は全て統計的に処理しますので、回答内容について個人が特定されることはありません。電子回答IDは、重複回答を防止するために付しているものであり、回答者個人を特定する趣旨のものではありません。



©2015 秋田県んだっち

【問い合わせ先】

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

秋田県企画振興部 総合政策課 計画・評価チーム

電話：018(860)1217(直通)

FAX：018(860)3873

メール：seisaku@pref.akita.lg.jp

問1 県では、『～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン』に基づき、様々な取組を進めています
が、次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。

ご自身の実感に近いものを「5」（十分）～「1」（不十分）の5段階から選んでお答えください。
「わからない」場合は「N」を選んでください。

また、よろしければ、選んだ理由についてお聞かせください。

回答例	生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。	5	4	3	2	1	N
-----	--------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由] (任意)

〔 ●●は～～となっているが、△△と感じており、■■■と思うから。 〕

以下、回答の記入をお願いします。

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

産業・雇用戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
1	生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。	5	4	3	2	1	N

[理由] (任意)

〔 〕

2	輸送機、新エネルギー、情報、医療分野等の成長産業への参入が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
---	-------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由] (任意)

〔 〕

3	地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。	5	4	3	2	1	N
---	-----------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由] (任意)

〔 〕

4	立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
---	-----------------------	---	---	---	---	---	---

[理由] (任意)

〔 〕

産業の振興に関する取組の状況

1 産業構造の変化に対応した

県内産業の競争力の強化

- ・新分野進出、規模拡大による生産性及び賃金水準の向上や事業継続を図るため、中小企業のM&Aや事業承継(第三者承継)などを促進
- ・DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進に向けて、IoTやAI等のデジタル技術の普及啓発を行うとともに、その導入を促進
- ・地域経済を牽引するリーディングカンパニー創出に向けて企業の取組を支援
- ・企業の海外展開に向けた活動経費を支援
- ・県技術専門学校などにおける職業訓練の実施などにより、在職者の学び直しを支援

◎M&A成約企業数

24件(R2) ⇒ 37件(R4)

◎技術専門学校における 在職者訓練の受講者数

489人(R2)
⇒ 558人(R4)



生産工程のスマート化に
向けた研究開発

2 地域資源を生かした成長産業の発展

- ・輸送機産業の電動化に対応するため、人材開発や研究開発、設備導入等を支援
- ・本県の多様で豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを生かし、新エネルギー関連産業への県内企業の参入等を促進
- ・県内情報関連産業を牽引する企業の創出に向け、県内ICT企業の成長戦略に基づく取組を支援
- ・医療機関のニーズに沿った新製品の開発や医療福祉関連産業への県内企業の参入を促進

◎輸送用機械器具製造業の製造品出荷額

1,212億円(R2) ⇒ 1,472億円(R4)

◎風力発電設備の導入量(累積)

648,549kW(R2) ⇒ 801,139kW(R5)



提供:秋田洋上風力発電(株)
能代港洋上風力発電所(能代市)

3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化

- ・伝統的工芸品の販路開拓、新商品開発、原材料の確保等の取組を支援
- ・商業・サービス業者等の業態転換、新分野進出、新商品・新サービスの開発等の取組を支援
- ・建設産業の持続的な発展に向け、人材確保や業界全体のイメージアップなど総合的な支援を実施
- ・リサイクル施設の整備や研究開発支援等により、リサイクル産業の創出・育成を促進

◎商業事業者の販売額

3,453億円(R2)
⇒ 3,548億円(R4)

◎ICT活用工事の実施件数

28件(R2) ⇒ 43件(R4)



秋田県中小企業
応援キャラクター
「がんぱっくん」

4 産業振興を支える投資の拡大

- ・積極的な誘致活動等により、成長産業の企業や若者定着の受け皿として期待される企業を誘致
- ・洋上風力発電の拠点の形成に向けたふ頭用地等の整備を推進

◎企業の誘致件数及び誘致済企業等による施設・設備の拡充件数

25件(R2) ⇒ 32件(R4)

◎洋上風力発電における港湾の利用件数(累積)

2件(R2) ⇒ 2件(R5)



大手製材会社進出の能代工業団地

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

農林水産戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
5	経営力の高い担い手等が活躍し、我が国の食料供給に貢献している。	5	4	3	2	1	N

[理由](任意)

()

6	「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。	5	4	3	2	1	N
---	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

7	蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
---	-------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

8	農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。	5	4	3	2	1	N
---	---	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

農林水産業の振興に関する取組の状況

5 農業の食料供給力の強化

- ・農業経営の法人化や生産規模の拡大を目指す意欲的な経営体を育成
- ・県外からの移住者や新規学卒者・Uターン者など、多様なルートと幅広い年代からの新規就業者を確保・育成

◎農業法人数(認定農業者)

788 法人(R2) ⇒ 845 法人(R4)

◎新規就農者数 252 人(R2) ⇒ 271 人(R4)

- ・スマート農業の普及拡大による生産の効率化や、持続性が高い環境保全型農業、災害に強い産地づくりの取組拡大を推進
- ・水田の大区画化や排水対策を図るほ場整備を実施

◎環境保全型農業の取組面積

4,204ha(R2) ⇒ 4,485ha(R4)

◎ほ場整備面積(累積)

90,981ha(R2) ⇒ 92,504ha(R4)

- ・園芸メガ団地や大規模な畜産団地を整備
- ・「えだまめ」や「しいたけ」など、全国トップクラスとなる園芸品目の産地づくりを支援
- ・「秋田牛」や「比内地鶏」のブランド力強化に向けた取組を推進

◎メガ団地等大規模園芸拠点の整備数(累積)

41 地区(R2) ⇒ 53 地区(R5)

◎秋田牛の出荷頭数

2,844 頭(R2) ⇒ 2,972 頭(R4)

- ・「サキホコレ」のブランド確立をはじめとした秋田米の戦略的な生産・販売の推進

◎サキホコレの作付面積

80ha(R3) ⇒ 1,302ha(R5)

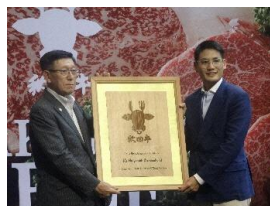
- ・国内外に通用するトップブランド農産物の創出
- ・台湾・タイへの秋田牛やリンゴの輸出を促進
- ・6次産業化による県産農産物の付加価値の向上

◎農産物の輸出額

2.9 億円(R2) ⇒ 4.3 億円(R4)



ほ場整備による
水田の大区画化



秋田牛トップセールス

6 林業・木材産業の成長産業化

- ・資源の循環利用を図るため、低コスト再造林を推進
- ・ICT を活用したスマート林業の普及などにより、低コストな素材供給体制づくりを促進
- ・住宅や非住宅建築物への県産材利用と輸出の促進

◎再造林面積

332ha(R2)
⇒ 561ha(R4)

◎素材生産量(燃料用含む)

1,425 千 m^3 (R2)
⇒ 1,571 千 m^3 (R4)



植栽作業

7 水産業の持続的な発展

- ・漁業体験や技術習得研修の実施による新規就業者の確保・育成
- ・トラフグ等の種苗放流やサーモン等の蓄養殖の取組を推進
- ・加工品の開発や漁師直売・オンライン販売の取組を支援

◎新規漁業就業者数(60歳未満)

10 人(R2) ⇒ 10 人(R4)

◎蓄養殖等に取り組む 漁業経営体数(累積)

17 経営体(R2)
⇒ 55 経営体(R4)



漁業体験研修

8 農山漁村の活性化

- ・農家民宿・レストランの起業や、そばなどの地域資源を生かした多様な農村ビジネス創出の取組を促進
- ・農山漁村での都市住民との交流活動や新たな兼業スタイル「半農半X」の取組を促進
- ・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、草刈りや景観作物の植栽など地域住民による共同活動を支援

◎農村関係人口

6,518 人(R2)
⇒ 10,448 人(R4)

◎農地保全活動面積

101,908ha(R2)
⇒ 103,256ha(R4)



そば打ち体験交流

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

観光・交流戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
9	秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由](任意)

()

10	食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。	5	4	3	2	1	N
----	--------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

11	国内外に秋田ならではの文化の魅力が伝えられている。	5	4	3	2	1	N
----	---------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

12	スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。	5	4	3	2	1	N
----	------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

13	国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通が整備されている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

観光・文化・スポーツの振興に関する取組の状況

9 「何度でも訪れたいあきた」の創出

- ・デジタルプロモーションや冬季観光キャンペーン、秋田の冬の観光の魅力発信により、県外からの誘客を拡大
- ・台湾からの秋田空港直行便の運航継続のほか、タイや欧州など誘客が期待できる国・地域への情報発信により、海外からの誘客を推進
- ・宿泊施設におけるデジタル技術の導入や高付加価値化など観光産業の生産性向上を促進

◎観光地点等入込客数 (延べ人数)

1,836 万人(R2)
⇒ 2,517 万 8 千人(R4)



10 「美酒・美食のあきた」の創造

- ・日本酒や発酵食品等の更なる高品質化とブランド力の強化を促進
- ・食品事業者への支援により競争力を強化
- ・商談会等の実施により、国内外への販路を拡大

◎加工食品・日本酒の 輸出金額

6 億 6,800 万円(R2)
⇒ 10 億 8,400 万円(R4) 展示会への出展(大阪)



12 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

- ・ジュニア層の強化を競技力向上の柱に据えた一貫指導体制を確立
- ・トップスポーツチームなどのスポーツコンテンツを活用した情報発信等によるスポーツツーリズムの推進
- ・スポーツ合宿やトップスポーツ大会の開催支援により交流人口を拡大
- ・新県立体育館の整備・運営を行う事業者の募集・選定手続きに着手

◎成人の週1回以上の スポーツ実施率

58.5%(R2)
⇒ 51.1%(R4)



新県立体育館(イメージ)

11 文化芸術の力による魅力ある地域の創生

- ・あきた芸術劇場ミルハスにおいて質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供と地域のにぎわいを創出
- ・青少年音楽コンクールやあきたの文芸など県民の発表機会の提供と優れた文化活動や作品等に対する顕彰により文化芸術活動を推進
- ・次代を担う人材の育成と文化団体の活動支援
- ・地域に根ざした秋田ならではの文化の魅力発信と伝統芸能イベントや東北の祭りをモチーフとしたミュージカルの実施により交流人口を拡大

◎文化事業への来場者数

5 万 4,435 人(R2) ⇒ 27 万 7,888 人(R4)



あきた芸術劇場ミルハス開館1周年記念公演

13 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

- ・日本海沿岸東北自動車道「遊佐象潟道路」、「二ツ井今泉道路」及び東北中央自動車道「横堀道路」、「真室川雄勝道路」の整備を促進
- ・重要港湾秋田港と秋田自動車道秋田北 IC を結ぶ「秋田港アクセス道路」の事業を推進

◎県内高速道路の供用率

92%(R2) ⇒ 92%(R4)

- ・羽田発着枠政策コンテストによる大館能代空港の3往復運航が実現
- ・秋田新幹線新仙岩トンネルについて、国への積極的な要望活動等を実施し、実現に向けた取組を推進
- ・市町村と連携し、JRローカル線や三セク鉄道、乗合バスの持続的な運行を確保

◎秋田県と県外間の旅客輸送人員数(自動車を除く)

136 万 8 千人(R2)
⇒ 308 万 7 千人(R4)



国内定期便(大館能代空港)

あなたの満足度(1つ選び番号に○をしてください)

未来創造・地域社会戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
14	秋田への移住者が増加するほか、 若者の県内定着・回帰が進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由](任意)

()

15	結婚し、安心して出産・子育てができる 社会になっている。	5	4	3	2	1	N
----	---------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

16	女性や若者が様々な分野において、 その能力や個性を発揮して活躍している。	5	4	3	2	1	N
----	---	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

17	優しさと多様性に満ちた秋田において、 協働等を通じて安心して生活できる地域 社会となっている。	5	4	3	2	1	N
----	---	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

18	地域住民、事業者、行政等と一緒に なって、地球温暖化対策に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

19	デジタル化の推進等により充実した 行政サービスが提供されている。	5	4	3	2	1	N
----	-------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

若者の定着や地域の活力維持に関する取組の状況

14 新たな人の流れの創出

- ・高校生向けの県内企業の職場見学や企業ガイダンス、大学生等向けの合同企業説明会などの開催、学生と県内社会人が秋田で働き・暮らすこと等を語り合う交流会の開催
- ・高校生や県内外の大学生・保護者等に対する、情報誌やWebによる秋田暮らしの魅力の発信、県内就職者への奨学金返還助成の実施
- ・市町村等と連携した移住相談や、あきたまるとAターンフェアの開催により、「暮らし」と「仕事」の情報を総合的に提供
- ・リモートワークによる移住とワーケーションを促進

◎Aターン就職者数

1,120人(R2)
⇒ 1,084人(R4)



移住・定住総合ポータルサイト
(<https://www.a-iju.jp>)

15 結婚・出産・子育ての希望がかなう

社会の実現

- ・あきた結婚支援センターの運営支援を通じて結婚を希望する独身者をサポート
- ・市町村が地域の実情やニーズに応じて行う子ども・子育て支援事業に対して支援
- ・保育料や副食費への助成など、子育て世帯への経済的支援
- ・家族向け家事・育児支援セミナー等を開催し、男性の家事・育児参画を促進

◎婚姻件数

2,686組(R2) ⇒ 2,447組(R4)

◎出生数

4,499人(R2) ⇒ 3,992人(R4)

16 女性・若者が活躍できる社会の実現

- ・女性自身の意識改革と、企業経営者の理解促進のための啓発や、女性の地域活動への参画拡大に向けた気運の醸成
- ・「あきた女性活躍・両立支援センター」による普及啓発や相談対応、一般事業主行動計画策定等の指導・助言、アドバイザー派遣等の企業支援

◎民間事業所の女性管理職割合(課長相当職以上)

19.3%(R2) ⇒ 21.1%(R4)

◎民間事業所における男性の育児休業取得率

10.7%(R2) ⇒ 17.9%(R4)

17 変革する時代に対応した地域社会の構築

- ・集落機能を維持するため、複数集落単位で地域の将来をデザインする「コミュニティ生活圏」の形成を支援
- ・地域課題の解決に向けた多様な主体との連携・協働を推進

◎社会活動・地域活動に参加した人の割合

57.3%(R2)
⇒ 60.0%(R4)



地域の将来についての検討会

18 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

- ・県や10市町村におけるカーボンニュートラル宣言のほか、省エネ家電購入支援、事業者省エネ診断、脱炭素経営セミナーなど、温暖化対策を推進
- ・エコフェス、学生CO2削減コンテストを開催
- ・飲食店で食べきれなかった食品の持ち帰り事業の実施
- ・廃プラスチックに係る資源循環モデルの実証試験を実施

◎温室効果ガス排出抑制計画書の目標達成事業者の割合

79.3%(R2) ⇒ 75.0%(R4)

◎廃棄物の最終処分量(公共関与分)

94千t(R2) ⇒ 98千t(R4)

19 行政サービスの向上

- ・県民の利便性向上のため、電子申請・届出サービス等を用いた行政手続のオンライン化を推進
- ・県民や企業等が二次利用しやすい形式(エクセル等)によるデータ公開を進めるため、オープンデータカタログサイトを充実

◎行政手続の電子化率

59.6%(R3) ⇒ 70.4%(R4)

◎オープンデータ化した県有データ数

87件(R2) ⇒ 187件(R4)

あなたの満足度(1つ選り番号に○をしてください)

健康・医療・福祉戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
20	県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、生きがいをもって元気に生活している。	5	4	3	2	1	N

[理由](任意)

()

21	どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。	5	4	3	2	1	N
----	--------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

22	高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

23	相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会となっている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由](任意)

()

健康づくりや医療・福祉の充実に関する取組の状況

20 健康寿命日本一の実現

- ・市町村や経済団体、保健医療団体、報道機関など、多様な主体と連携した健康づくり県民運動を推進
- ・「秋田スタイル健康な食事」メニュー認証制度の普及啓発などにより、「減塩」や「野菜・果物摂取」を推進
- ・アプリを活用した企業対抗型ウォーキングイベントの開催により、運動習慣の定着化を促進
- ・秋田県版健康経営優良法人認定制度の普及による県内企業における健康経営の促進
- ・かかりつけの医師等と連携した受診勧奨などにより、健(検)診受診を促進

◎健康寿命

男性 71.21 年、女性 74.53 年 (H28)
⇒ 男性 72.61 年、女性 76.00 年 (R1)



秋田県版健康経営優良法人ロゴマーク



あきた健康応援大使とあきた健康チャレンジ大使による健康づくりに関する情報発信

22 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

- ・介護職員の処遇改善や人材育成等に積極的な事業所を県が認証する「介護サービス事業所認証評価制度」の普及を推進
- ・支援者研修会、県民公開講座の実施、民間支援団体等との意見交換会を通じたひきこもり当事者の身近な地域における相談支援体制の整備を促進

◎介護施設等の介護職員数

23,283 人 (R2) ⇒ 22,878 人 (R4)

21 安心で質の高い医療の提供

- ・がん診療連携拠点病院等を中心とした、がん診療提供体制を強化
- ・脳卒中等の急性疾患発生時に、専門医が不在の地域でも迅速で正確な診断が受けられるよう、病院間の急性期診療ネットワーク整備を支援
- ・各地域における在宅医療の提供体制を整備
- ・訪問看護ステーションによる安定的な看護サービスの提供を支援

◎脳血管疾患による人口 10 万人当たり年齢調整死亡率

34.7 (R2) ⇒ 33.0 (R4)

◎がんによる人口 10 万人当たり

75 歳未満年齢調整死亡率
76.8 (R2) ⇒ 77.3 (R4)

23 誰もが安全・安心を実感できる

地域共生社会の実現

- ・民・学・官・報の連携による自殺予防街頭キャンペーン等の普及啓発活動を推進
- ・学校でのSOSの出し方講座、教職員のSOSの受け方研修会などを実施
- ・若者を中心に多くの県民が利用しているSNSによる相談体制の強化

◎自殺による人口 10 万人当たり死亡率

18.0 (R2) ⇒ 22.6 (R4)

- ・子どもの貧困対策に取り組む支援者のネットワークを強化し、子ども食堂等の立ち上げを支援
- ・児童相談所の体制強化に継続的に取り組むほか、毎年11月の児童虐待防止推進月間に合わせた街頭キャンペーンを実施
- ・里親制度の普及啓発から、里親の育成、養育開始後のサポートまでを包括的に支援する体制を整備し、里親委託を促進

◎里親委託率

17.6% (R2)
⇒ 23.4% (R4)



秋田県里親PRキャラクター

教育・人づくり戦略に関する項目		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
24	学校教育を通じて、ふるさとを愛し、社会で活躍しようとする心が育まれている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

[]

25	学校教育を通じて、ICTを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由]（任意）

[]

26	学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由]（任意）

[]

27	学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由]（任意）

[]

28	県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。	5	4	3	2	1	N
----	---------------------------------------	---	---	---	---	---	---

[理由]（任意）

[]

29	県民がライフステージや生活スタイルに応じて、生涯にわたり学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。	5	4	3	2	1	N
----	--	---	---	---	---	---	---

[理由]（任意）

[]

教育・人づくりに関する取組の状況

24 秋田の将来を支える高い志にあふれる

人材の育成

- ・起業体験やボランティア活動など、地域の活性化に貢献する体験活動や地域の伝統を受け継ぐ活動を推進
- ・県立高校などに職場定着就職支援員を配置し、就職支援、県内就職の促進、職場への定着支援などの取組を実施

◎高校生の県内就職率

72.5% (R2)

⇒ 71.6% (R5)



産業教育フェアでの販売体験

25 確かな学力の育成

- ・主体的に問題発見・解決する「探究型授業」の充実を図るため、学校訪問等により授業改善を推進
- ・少人数学習によるきめ細かな教育や社会人等外部人材の活用による専門性の高い教育を展開
- ・学校と地域の協働活動を推進する人材の育成や、地域と連携した安全教育活動を展開
- ・ICT活用による質の高い学びの推進及び教職員のICT活用指導力向上を図るための研修を実施

◎学んだことを振り返って次の学習につなげることができる児童生徒の割合(小6・中3)

86.5% (R3) ⇒ 82.9% (R5)

26 グローバル社会で活躍できる人材の育成

- ・英語コミュニケーション能力の育成に向け、外国語指導助手(ALT)や外部試験を活用
- ・小学校3年生から高校3年生までを対象に県内各地でイングリッシュキャンプを開催

◎英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合

39.1% (R1) ⇒ 44.4% (R4)



イングリッシュキャンプ

27 豊かな心と健やかな体の育成

- ・スクールカウンセラー等の専門家の配置により教育相談体制を充実
- ・地域人材を活用し、授業の充実を図るとともに部活動を支援

◎自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合(小6・中3)

86.0% (R1)

⇒ 86.0% (R5)

◎運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合(小5・中2)

65.9% (R1)

⇒ 62.9% (R5)



地域人材を活用した体育授業

28 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

- ・各大学等の多様な資源を活用し、地域社会や産業の課題解決に向けた取組を推進
- ・高校教育と大学教育の連携など学生の確保に向けた多様な取組を推進

◎県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究・受託事業数

144件 (R2) ⇒ 160件 (R4)

◎県内高卒者の県内大学・短大・専修学校等への進学率

33.7% (R2) ⇒ 33.0% (R4)

29 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

- ・県民の生涯学習に取り組む機会の確保や読書活動の充実に向けた支援
- ・本県の優れた文化芸術を発信し、鑑賞・創作体験等の機会を提供
- ・地域の歴史・文化を生かしたまちづくりに向け、文化財の総合的な保存・活用の方針などを示した「秋田県文化財保存活用大綱」を策定

◎県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館の利用者

169,596人 (R2)

⇒ 265,290人 (R4)



中高生を対象とした読書イベント

問2 県では、人口減少問題を克服し、多くの人を惹きつける秋田の実現に向け取り組んでいます
が、次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。

ご自身の実感に近いものを「5」（十分）～「1」（不十分）の5段階から選んでお答えください。
「わからない」場合は「N」を選んでください。

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

		十分	十分 おおむね	ふつう	やや 不十分	不十分	わからない
1	県内の「賃金水準が向上」している。	5	4	3	2	1	N
2	「カーボンニュートラル（※）」の実現に向けた取組が進んでいる。 ※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を減らし、「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。	5	4	3	2	1	N
3	県民生活の様々な場面において、「デジタル化」が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
4	「若者・女性の県内定着・回帰」が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
5	「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。	5	4	3	2	1	N

問3 県の重要課題について、お伺いします。

今後の県政を推進していく上で、あなたが重要課題として県に力を入れてほしいことは何ですか。下から5つまで選択して番号を記入してください。

--	--	--	--	--

◆産業の振興

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| 1 経営規模拡大や賃上げの取組への支援 | 26 若者のチャレンジへの支援 |
| 2 県内企業のデジタル技術の活用促進 | 27 多様性が認められ、安心して生活できる地域コミュニティの維持 |
| 3 地域経済をけん引する企業の創出・育成 | 28 温暖化防止活動やリサイクル等の推進 |
| 4 柔軟な働き方の導入や学び直しの支援による人材確保・育成 | 29 充実した行政サービスを提供できる効率的な行政運営 |
| 5 輸送機・新エネルギー・情報・医療分野等の成長分野への参入促進 | |
| 6 地域に根付く産業の振興 | |
| 7 企業誘致などの企業立地等の促進 | |

◆農林水産業の振興

- | | |
|--------------------------------|--|
| 8 農林水産業の多様な担い手の確保 | |
| 9 スマート農業や環境保全型農業の普及と水田の大区画化の推進 | |
| 10 野菜や果樹、花き、畜産物等の生産拡大 | |
| 11 サキホコレのブランド確立をはじめとした戦略的な米生産 | |
| 12 農産物のブランド化と流通・販売体制の整備 | |
| 13 再造林の促進と林業・木材産業の振興 | |
| 14 安定的な漁業生産による水産業の発展 | |
| 15 農山漁村での交流活動による活力向上 | |

◆観光・文化・スポーツの振興

- | | |
|------------------------------|--|
| 16 国内外からの観光誘客の強化 | |
| 17 オリジナル商品の開発や販路拡大による食品産業の振興 | |
| 18 文化芸術の担い手の確保と文化による振興 | |
| 19 スポーツの振興による地域の活力向上 | |
| 20 鉄道や航空・地域交通などの整備 | |
| 21 道路ネットワークの整備 | |

◆若者の定着や地域の活力維持

- | | |
|------------------------|--|
| 22 若者の移住促進や関係人口の拡大 | |
| 23 高校生や大学生の県内就職の促進 | |
| 24 結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備 | |
| 25 女性の活躍推進や男女共同参画の推進 | |

◆健康づくりや医療・福祉の充実

- | |
|----------------------------|
| 30 健康寿命の延伸に向けた取組の推進 |
| 31 医療提供体制の整備 |
| 32 介護・福祉サービスの充実 |
| 33 自殺予防対策の推進 |
| 34 貧困や虐待等、複雑な事情を抱える子どもへの支援 |
| 35 引きこもり状態にある人への支援 |

◆教育・人づくり

- | |
|----------------------------|
| 36 ふるさと教育やキャリア教育の充実 |
| 37 デジタル社会等に対応した専門教育の充実 |
| 38 学力向上に向けた取組の充実 |
| 39 教員の指導力や学校施設など教育環境の整備 |
| 40 英語教育と国際教育の充実 |
| 41 健やかな体や豊かな人間性を育む教育の充実 |
| 42 大学等の地域貢献活動の強化 |
| 43 生涯学習機会や良質な文化芸術に親しむ機会の充実 |

◆安全・安心な生活環境の確保

- | |
|------------------------|
| 44 災害リスクに対する防災・減災対策の推進 |
| 45 地域防災活動の充実 |
| 46 犯罪や交通事故の少ない地域づくり |
| 47 食品や水道などの安全・安心の確保 |
| 48 動物愛護活動の推進 |
| 49 快適で安らげる生活基盤の整備 |
| 50 自然環境保全対策の推進 |

問4 県の特定課題について、お伺いします。

以下の質問について、当てはまる選択肢の番号に○をつけてください。

県の広報活動について

① あなたは、県の施策・事業等を何から知ることが多いですか（○はいくつでも）。

- 1 県が発行する広報紙（全戸配布広報紙・新聞広告等）
- 2 県のウェブサイト（「美の国あきたネット」等）
- 3 県政広報番組（テレビ、ラジオ）
- 4 新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組
- 5 ソーシャルメディア（X（旧ツイッター）、フェイスブック、LINE、YouTube、ブログ 等）
- 6 その他（ ）

② あなたは、広報紙やウェブサイト、テレビ、ラジオ、ソーシャルメディア等による広報活動は十分に
行われていると思いますか（○は1つ）。

- 1 十分行われている 2 ある程度行われている
3 あまり行われていない 4 行われていない
5 どちらともいえない

家庭での防災活動について

① あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄(※)(家族人数×3日分)をしていますか(○は1つ)。

※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管している冷蔵庫内の食料品等や、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰なども含まれます。

- 1 3日分以上の備蓄をしている 2 備蓄はしているが、2日分以下である
3 備蓄はしていない

② あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか（○はいくつでも）。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 地域の防災訓練への参加 | 2 災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握 |
| 3 最寄りの緊急避難場所等の確認 | 4 緊急避難場所等への避難経路の確認 |
| 5 災害時の家族への連絡方法の取り決め | 6 非常時持ち出し品の用意 |
| 7 家具等の固定 | 8 その他() |

差別等について

① あなたは、ご自身や身の回りで差別等を感じることはありますか(○は1つ)。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 よく感じることもある | 2 たまに感じることもある |
| 3 あまり感じることはない | 4 まったく感じることはない |

② ①で「1」～「3」を選んだ方にお聞きます。どのような差別等を感じることはありますか(○はいくつでも)。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 性別を理由とするもの | 2 障害を理由とするもの |
| 3 感染症の患者及び医療・介護従事者等に対するもの | 4 がん等の疾病を理由とするもの |
| 5 性的指向、性自認等を理由とするもの | 6 外国人に対するもの |
| 7 年齢を理由とするもの | 8 犯罪被害者等に対するもの |
| 9 犯罪をした人等に対するもの | 10 ハラスメント |
| 11 いじめ | 12 その他() |

男女共同参画について

① 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか(○は1つ)。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 賛成 | 2 どちらかといえば賛成 |
| 3 どちらかといえば反対 | 4 反対 |
| 5 わからない | |

社会活動・地域活動について

① あなたが、ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」(※)に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか(○は1つ)。

※「社会活動・地域活動」の具体例

地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い 等

- | | |
|-------------------|---------|
| 1 週5日以上 | 2 週1日程度 |
| 3 月1日程度 | 4 年1日程度 |
| 5 特定の期間(夏の間2週間など) | |
| 6 その他(具体的に |) |
| 7 取り組んだことがない | |

文化芸術の鑑賞・活動について

- ① あなたは、ここ 1 年間に文化施設等に出向いて直接鑑賞した文化芸術はありますか（○はいくつでも）。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 音楽（コンサート、吹奏楽、歌謡・民謡等） | 2 美術（絵画、写真、彫刻、現代アート等） |
| 3 演劇、舞踊（ミュージカル、日本舞踊等） | 4 伝統芸能、民俗芸能（歌舞伎、盆踊り、番楽等） |
| 5 映画（映画館等で上映） | 6 その他（ ） |
| 7 鑑賞していない | |

- ② あなたは、ここ 1 年間に芸術作品の創作、文化イベントへの出演・参加、文化事業でのボランティア活動などを行いましたか（○はいくつでも）。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1 芸術作品の創作・制作・実演 | 2 習いごと（音楽、舞踊、茶道等） |
| 3 地域の祭りや伝統行事への参加 | 4 文化芸術イベント等の開催・運営のための活動 |
| 5 その他（ ） | 6 活動していない |

読書活動について

- ① あなたは読書（※）が好きですか（○は1つ）。

※読書には、新聞及び雑誌（電子媒体の記事（注1）を含む。）のほか、子どもへの読み聞かせ、オーディオブック（注2）も含まれます。

（注1）電子媒体の記事とは、新聞社や出版社等がインターネット上に掲載しているニュースや雑誌記事等のことです。

（注2）オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したCDやカセット、インターネット上で提供されている音声コンテンツのことです。

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 好きだ | 2 どちらかといえば好きだ |
| 3 どちらかといえば好きではない | 4 好きではない |

- ② あなたは1日平均（※）どれくらい読書をしていますか（○は1つ）。

※子どもへの読み聞かせ時間も含まれます。

※休日まとめて読みの場合は、1日平均に置き換えてください。

- | | |
|-----------|---------|
| 1 2時間以上 | 2 1～2時間 |
| 3 30分～1時間 | 4 30分未満 |
| 5 全く読まない | |

環境保全活動について

① あなたは、これまで環境保全活動に参加したことがありますか（○はいくつでも）。

- 1 環境美化・清掃活動への参加（例：市民クリーンアップなど）
- 2 自然保護活動への参加（例：ホテルの保護活動など）
- 3 森林保全活動への参加（例：市民植樹など）
- 4 リサイクル活動への参加（例：古紙・空き缶回収など）
- 5 環境をテーマとした講演会等への参加（例：地球温暖化防止フォーラムなど）
- 6 その他（
- 7 参加したことがない

食品ロス問題について

① あなたは、食品ロス(※)が社会問題となっていることを知っていますか(○は1つ)。

※食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられる食品

- 1 知っている 2 知らない

② あなたは、食品ロスの削減に向けた取組をしていますか（○は1つ）。

※削減に向けた取組の具体例

料理を作り過ぎない、出された料理は残さず食べる、外食の際は食べきれる量を注文、買い物の際は賞味期限や消費期限の近い商品を購入 等

- 1 している 2 していない

自転車の安全で適正な利用について

① 自転車を利用している人にお聞きます。あなたは「自転車損害賠償責任保険等(※)」に加入していますか(○は1つ)。

※自転車を運転中の事故により、他人にケガを負わせてしまった場合等に備える保険。

※自転車保険単独のもの、自動車保険・火災保険・傷害保険の特約として付いている個人賠償責任保険、共済、職場の団体保険、点検・整備を受けた自転車に貼られる「TSマーク」に付帯した保険等。

- 1 加入している 2 加入していない
3 わからない

高齢者の社会参加について

① 60歳以上の方にお聞きます。あなたは、令和5年度に仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む。）を行いましたか（どちらかに○）。

- 1 行った 2 行っていない

問5 県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

問6 あなたご自身について、お伺いします。

回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞かせください。
(当てはまる選択肢の番号1つに○をつけてください。)

① 性別

1 男性 2 女性 3 その他

② 年齢

1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳
5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70 歳以上

③ 18歳未満の子どもの有無

1 現在 18 歳未満の子どものを養育している 2 していない

④ ご出身

1 秋田県の出身 2 秋田県以外の出身

⑤ お住まいの地域

1 鹿角地域(鹿角市、小坂町)
2 北秋田地域(大館市、北秋田市、上小阿仁村)
3 山本地域(能代市、藤里町、三種町、八峰町)
4 秋田地域(秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村)
5 由利地域(由利本荘市、にかほ市) 6 仙北地域(大仙市、仙北市、美郷町)
7 平鹿地域(横手市) 8 雄勝地域(湯沢市、羽後町、東成瀬村)

⑥ 主な仕事の業種(主とする業種1つに○)

1 農業 2 林業 3 漁業 4 建設業 5 製造業 6 情報通信業 7 運輸業・郵便業
8 卸売業・小売業(観光関連) 9 卸売業・小売業(観光関連以外)
10 宿泊業 11 飲食サービス業 12 学術研究・学校教育・学習支援
13 医療・保健 14 福祉 15 公務(1～14 以外) 16 その他の業種
17 学生 18 無職

これで調査は終わりです。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

この調査票を三つ折りにし、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、6月3日(月)までに投函してください。

令和 6 年度 県民意識調査報告書

令和 6 年 8 月

発 行 秋田県 企画振興部 総合政策課
〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目 1 番 1 号
TEL 018-860-1217 FAX 018-860-3873

調査機関 株式会社フィデア情報総研
〒010-0951 秋田県秋田市山王三丁目 4 番 23 号
TEL 018-883-0200 FAX 018-883-0209

